

弘前大学短期留学プログラム

授業科目シラバス

SYLLABUS OF INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

2024年度（前期・後期）

2024 I SEMESTER

2024 II SEMESTER

HIROSAKI UNIVERSITY

1 Bunkyo-cho, Hirosaki, JAPAN 036-8560

URL:<http://www.hirosaki-u.ac.jp>

目 次

2024 年度 授業日程	1
2024 年度 授業時間割表【前期】	2
2024 年度 授業時間割表【後期】	3
2024 年度弘前大学短期留学プログラム 日本語・日本事情関連科目等一覧	4
弘前大学総合教育棟配置図	6
弘前大学短期留学プログラム 日本語・日本事情関連科目に関する細則	8
弘前大学短期留学プログラム規程	12

前期 (I SEMESTER)

1. 日本語初級 2 (口頭表現 A) / Basic Japanese 2 (Oral Expression A)	15
2. 日本語初級 2 (筆記表現 A) / Basic Japanese 2 (Written Expression A)	17
3. 日本語初級 3 (口頭表現 A) / Basic Japanese 3 (Oral Expression A)	19
4. 日本語初級 3 (筆記表現 A) / Basic Japanese 3 (Written Expression A)	21
5. 日本語中級 1 (総合 A) / Intermediate Japanese 1 (Integrated Course A)	23
6. 日本語中級 2 (総合 A) / Intermediate Japanese 2 (Integrated Course A)	25
7. 日本語中級 (聴解 A) / Intermediate Japanese (Listening A)	27
8. 日本語中級 (口頭表現 A) / Intermediate Japanese (Oral Expression A)	29
9. 日本語中上級 (読解 A)【A1】 / Upper Intermediate Japanese (Reading A)【A1】	31
10. 日本語中上級 (作文 A)【A3】 / Upper Intermediate Japanese (Writing A)【A3】	32
11. 日本語中上級アカデミックジャパニーズ (聴解 A)【A5】 / Upper Intermediate Academic Japanese (Listening A)【A5】	33
12. 日本語中上級 (文法 A)【A7】 / Upper Intermediate Japanese (Grammar A)【A7】	35
13. 日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーション A【A9】 / A Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-A【A9】	36
14. 日本語上級 (読解 A)【B1】 / Advanced Japanese (Reading A)【B1】	38
15. 日本語上級アカデミックジャパニーズ (講義の聴解・論文の書き方 A)【B3】 / Advanced Academic Japanese (Listening and Writing A)【B3】	40
16. サークル活動に見る日本社会 ① / Insights in Japanese society through circle activity ①	42
17. 芸術 - 津軽のアートとナラティブ - 【教養】 / Art and narrative of the Tsugaru region	43
18. 日本美術史 / Japanese Art History	45
19. 青森エクスカッション - Cultural anthropology of Exhibition - 【教養】 / Japanese Local Food Culture and Dietary Practices	47
20. 文学 - 日本の絵本の世界 - 【教養】 / The world of Japanese picture books	49
21. 文学 - 日本の戦争文学 - 【教養】 / Japanese war literature	51
22. 芸術 - 茶室の美学 - 【教養】 / The Aesthetics of the Japanese Tea Room	53
23. インターンシップ A - リンゴ栽培、商品開発、マーケティング - / Internship A - Apple cultivation, product development, marketing -	55
24. インターンシップ A - 観光 PR - / Internship A - Tour Promotion -	57
25. インターンシップ A - シティ・プロモーション - / Internship A - City Promotion -	59
26. インターンシップ A - Web マーケティング - / Internship A - Web marketing -	61
27. インターンシップ A - 地域ツーリズム - / Internship A - Regional Tourism -	63
28. インターンシップ A - ホスピタリティ経営 - / Internship A - Regional Tourism -	65
29. TESOL - ティーチング・プラクティス I A / TESOL - Teaching Practice I A	67
30. 児童教育 - ティーチング・プラクティス I B / Childhood Education - Teaching Practice I B	68
31. 地域観光と地域プロモーション A / Tourism and Regional Promotion A	70
32. 自主研究 I A / Seminar I A	72
33. 自主研究 I B / Seminar I B	73
34. 自主研究 I C / Seminar I C	74
35. 自主研究 I D / Seminar I D	76

後期 (II SEMESTER)

1. 日本語初級 1 (口頭表現) / Basic Japanese 1 (Oral Expression)	77
2. 日本語初級 1 (筆記表現) / Basic Japanese 1 (Written Expression)	79
3. 日本語初級 2 (口頭表現 B) / Basic Japanese 2 (Oral Expression B)	81
4. 日本語初級 2 (筆記表現 B) / Basic Japanese 2 (Written Expression B)	83
5. 日本語初級 3 (口頭表現 B) / Basic Japanese 3 (Oral Expression B)	85
6. 日本語初級 3 (筆記表現 B) / Basic Japanese 3 (Written Expression B)	87
7. 日本語中級 1 (総合 B) / Intermediate Japanese 1 (Integrated Course B)	89
8. 日本語中級 2 (総合 B) / Intermediate Japanese 2 (Integrated Course B)	91
9. 日本語中級 (聴解 B) / Intermediate Japanese (Listening B)	93
10. 日本語中級 (口頭表現 B) / Intermediate Japanese (Oral Expression B)	95
11. 日本語中上級 (読解 B) 【A2】 / Upper Intermediate Japanese (Reading B) 【A2】	97
12. 日本語中上級 (作文 B) 【A4】 / Upper Intermediate Japanese (Writing A) 【A4】	98
13. 日本語中上級アカデミックジャパニーズ (聴解 B) 【A6】 / Upper Intermediate Academic Japanese (Listening B) 【A6】	99
14. 日本語中上級 (文法 B) 【A8】 / Upper Intermediate Japanese (Grammar B) 【A8】	101
15. 日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーション B 【A10】 / A Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-B 【A10】	102
16. 日本語上級 (読解 B) 【B2】 / Advanced Japanese (Reading B) 【B2】	104
17. 日本語上級アカデミックジャパニーズ (講義の聴解・論文の書き方 B) 【B4】 / Advanced Academic Japanese (Listening and Writing B) 【B4】	106
18. サークル活動に見る日本社会 ② / Insights in Japanese society through circle activity ②	108
19. 国際地域・社会・文化 - トランスナショナルリズムの音楽 - 【教養】 / International Area Studies/Society/Culture - Music in Transnationalism -	109
20. 現代日本学 - 日本文学とアイデンティティの形成 - 【教養】 / Modern Japanese literature and the formation of identity	111
21. 地域プロジェクト演習 - 津軽地域文化国際共修 - 【教養】 / Regional Project Seminar - Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru -	113
22. 現代日本学 - 日本の表象文化 - 【教養】 / Japanese Culture and Representation	116
23. 地域の社会・文化 - 津軽の近代文化史 - 【教養】 / Survey of the modern cultural history of Tsugaru	118
24. 地域の食と産業化 - Cultural anthropology of local food and dietary practices - 【教養】 / Japanese Local Food Culture and Dietary Practices	120
25. 現代日本学 - 現代日本文化論 - 【教養】 / Contemporary Japanese Culture	122
26. 国際地域・社会・文化 - 異文化間コミュニケーション - 【教養】 / Intercultural communication	124
27. 国際学生フォーラム 【人文】 / International Student Forum	126
28. 現代日本学 - 日本の女性による文学 - 【教養】 / Japanese women writers and their literature	127
29. インターンシップ B - リンゴ栽培、商品開発、マーケティング - / Internship B - Apple cultivation, product development, marketing -	129
30. インターンシップ B - 観光 PR - / Internship B - Tour Promotion -	131
31. インターンシップ B - シティ・プロモーション - / Internship B - City Promotion -	133
32. インターンシップ B - Web マーケティング - / Internship B - Web marketing -	135
33. インターンシップ B - 地域ツーリズム - / Internship B - Regional Tourism -	137
34. インターンシップ B - ホスピタリティ経営 - / Internship B - Regional Tourism -	139
35. TESOL - ティーチング・プラクティス II A / TESOL - Teaching Practice II A	141
36. 児童教育 - ティーチング・プラクティス II B / Childhood Education - Teaching Practice II B	142
37. 地域観光と地域プロモーション B / Tourism and Regional Promotion B	144
38. 自主研究 II A / Seminar II A	146
39. 自主研究 II B / Seminar II B	147
40. 自主研究 II C / Seminar II C	148
41. 自主研究 II D / Seminar II D	150
42. 国際共修ゼミナール 【農生】 / Introductory fieldwork on livelihoods in Aomori	151
43. 地球温暖化と防災 【理工】 / Global warming and disaster prevention	154
44. 日本の歌と文化 【教育】 / Japanese Songs and Culture	156

2024年度 授業日程

前期（網かけ期日は授業日）								後期（網かけ期日は授業日）									
	日	月	火	水	木	金	土	備 考		日	月	火	水	木	金	土	備 考
2024 年 4月		1	2	3	4	5	6	1～10日 ガイダンス・履修相談等 5日 入学式 11日 前期授業開始日	10月			1	2	3	4	5	1日 秋季入学式 後期授業開始日 2日 月曜日の授業 15日 月曜日の授業 17日 金曜日の授業 18日 午後～20日 総合文化祭(仮) 18・21日 全日休講日(仮) 25日 全日休講日(仮) 26・27日 総合型選抜入試(仮)
	7	8	9	10	11	12	13			6	7	8	9	10	11	12	
	14	15	16	17	18	19	20			13	14	15	16	17	18	19	
	21	22	23	24	25	26	27	(4月中旬～6月下旬 定期健康診断)		20	21	22	23	24	25	26	
	28	29	30							27	28	29	30	31			
5月				1	2	3	4	2日 月曜日の授業	11月						1	2	
	5	6	7	8	9	10	11			3	4	5	6	7	8	9	
	12	13	14	15	16	17	18			10	11	12	13	14	15	16	
	19	20	21	22	23	24	25			17	18	19	20	21	22	23	
	26	27	28	29	30	31		31日 開学記念日		24	25	26	27	28	29	30	
6月							1		12月	1	2	3	4	5	6	7	
	2	3	4	5	6	7	8			8	9	10	11	12	13	14	
	9	10	11	12	13	14	15			15	16	17	18	19	20	21	
	16	17	18	19	20	21	22			22	23	24	25	26	27	28	26日 冬季休業前授業最終日
	23	24	25	26	27	28	29			29	30	31					
	30																
7月		1	2	3	4	5	6		2025 年 1月				1	2	3	4	6日 冬季休業後授業再開日 14日 月曜日の授業 15日 金曜日の授業 17日 全日休講日(仮) 18,19日 大学入学共通テスト(仮) *1月中の11・12時限は補講期間。原則、6～16日を専門教育科目、20～31日を教養教育科目
	7	8	9	10	11	12	13			5	6	7	8	9	10	11	
	14	15	16	17	18	19	20	16日 月曜日の授業 *7月中の11・12時限は補講期間。原則、1～12日を専門教育科目、16～31日を教養教育科目		12	13	14	15	16	17	18	
	21	22	23	24	25	26	27			19	20	21	22	23	24	25	
	28	29	30	31						26	27	28	29	30	31		
8月					1	2	3	6日前期授業・試験終了日	2月							1	6日 金曜日の授業
	4	5	6	7	8	9	10	8日オープンキャンパス		2	3	4	5	6	7	8	6日 後期授業・試験終了日
	11	12	13	14	15	16	17	13～15日一斉休業		9	10	11	12	13	14	15	
	18	19	20	21	22	23	24			16	17	18	19	20	21	22	25,26日 個別学力検査(前期日程)(仮)
	25	26	27	28	29	30	31			23	24	25	26	27	28		
9月	1	2	3	4	5	6	7		3月							1	
	8	9	10	11	12	13	14			2	3	4	5	6	7	8	
	15	16	17	18	19	20	21			9	10	11	12	13	14	15	12日 個別学力検査(後期日程)(仮)
	22	23	24	25	26	27	28			16	17	18	19	20	21	22	
	29	30						30日 秋季学位記授与式		23	24	25	26	27	28	29	24日 学位記授与式
										30	31						
計	—	14	17	16	17	16	—	※○→国民の休日、振替休日	計	—	13	18	18	18	13	—	※○→国民の休日、振替休日

授業実施日の曜日振替調整後

	月	火	水	木	金
前期	15 +	15 +	15 +	15 +	15 +
	1	1	1	1	1

前期 75+5

	月	火	水	木	金
後期	15 +	15 +	15 +	15 +	15 +
	1	1	1	1	1

後期 75+5

※定期健康診断に伴い休講を措置した場合、7月・1月の補講期間に授業の実施を考慮するものとする。
 ※7月、1月の補講期間に関わらず、担当教員が学生と調整の上、適宜補講を実施するものとする。

2024年度前期 時間割(案) (2024.4～2024.9)

曜日	1・2時間(6:40～10:10)	3・4時間(10:20～11:50)	5・6時間(12:40～14:10)	7・8時間(14:20～15:50)	9・10時間(16:00～17:30)
月	日本語中上級アカデミックジャパニーズ(聴解A)【A5】 [山崎]	日本語初級2(口頭表現A)【山崎】	日本語中級(聴解A)【長尾】	インターンシップA-Webマーケティング-(サワダ)	インターンシップA-リング栽培、商品開発、マーケティング-(サワダ)
火		日本語初級3(筆記表現A)【田中】 日本語中級1(総合A)【長尾】 日本語中級2(総合A)【小笠原】 日本語中上級(作文A)【A3】【新川】	日本語中上級(聴解A)【A1】【新川】 芸術・津軽のアートとナラティブ-(サワダ)	日本美術史【諏訪】 TESOL-ティーチング・プラクティス1A [立田・サワダ]	日本語初級3(口頭表現A)【小山】 日本語初級3(口頭表現A)【小山】
水		日本語中級(口頭表現A)【小山】 日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーションA【A9】 [高橋]	青森エキスカスカーション-Cultural anthropology of Exhibition- [諏訪]	文学-日本の絵本の世界-(サワダ)	インターンシップA-地域ツーリズム-(サワダ)
木	地域観光と地域プロモーションA(能崎)	日本語初級2(筆記表現A)【田中】 日本語中級2(総合A)【小笠原】 日本語中上級(文法A)【A7】【新川】	文学-日本の戦国文学-(サワダ)	日本語初級2(口頭表現A)【小山】 日本語中級1(総合A)【長尾】 日本語上級アカデミックジャパニーズ (講義の聴解・論文の書き方A)【B3】 [高橋]	芸術-茶室の美学-(サワダ)
金	日本語上級(聴解A)【B1】【山崎】	日本語初級2(口頭表現A)【山崎】 日本語初級3(口頭表現A)【長尾】	インターンシップA-インディプロモーション- [サワダ] インターンシップA-観光PR-(サワダ)	児童教育-ティーチング・プラクティス1B(サワダ)	インターンシップA-ホスピタリティ経営-(サワダ)
その他	【日本語・日本事情関連科目】 自主研究1A(諏訪)(時間応相談) 自主研究1B(サワダ)(時間応相談) 自主研究1C(高橋)(時間応相談) 自主研究1D(澤田)【人社】(金曜9・10時間)				

■受講の注意

- 水曜5・6時間「青森エキスカスカーション-Cultural anthropology of Exhibition-」【諏訪】は、5月下旬または6月にフィールドワーク(2回)があります。受講する場合は、スケジュールを確保してから受講してください。
- 「インターンシップA-インディプロモーション-」、「インターンシップA-観光PR-」、「インターンシップA-地域ツーリズム-」、「インターンシップA-リング栽培、商品開発、マーケティング」【サワダ】は週末に受講を行います(主に土曜日ですが、場合によっては日曜日)。受講する場合は、スケジュールを確保してから受講してください。「インターンシップA-インディプロモーション-」と「インターンシップA-観光PR-」は事前指導とフィードバックを同じ日程(金曜日5・6時間)同じ講義室で行います。
- 火5・6「津軽のアートとナラティブ」【サワダ】は5月18日(土)にフィールドワークがあります。受講する場合はスケジュールを確保してください。

日本語初級(2, 3)

日本語中級

日本語中上級

日本語上級

教養教育科目

日本語・日本事情関連科目

2024年度後期 時間割(案) (2024.10~2025.3)

曜日	1・2時限(8:40~10:10)	3・4時限(10:20~11:50)	5・6時限(12:40~14:10)	7・8時限(14:20~15:50)	9・10時限(16:00~17:30)
月	日本語中上級アカデミックジャパニーズ【A6】 【山崎】	日本語初級1【口頭表現】【山崎】	日本語初級3【口頭表現B】【志喜屋】 日本語中級【聴解B】【長尾】	サークル活動に見る日本社会②【諏訪】 インターンシップB-Webマーケティング【サワダ】	国際地域・社会・文化・トランスナショナルリズムの音楽- 【諏訪】 インターンシップB-リಂಗゴ栽培・商品開発・マーケティング【サワダ】
火		日本語初級2【筆記表現B】【田中】 日本語中級1【総合B】【長尾】 日本語中級2【総合B】【小笠原】 日本語中上級【作文B】【A4】【新川】	日本語中上級【聴解B】【A2】【新川】 現代日本学・日本文学とアイデンティティの形成- 【サワダ】	地域プロジェクト演習-津軽地域文化国際共修- 【高橋】 日本語初級2【口頭表現B】【小山】	現代日本学・日本の表象文化- 【諏訪】 TESOL-ティーチャング・プラクティスⅡA 【立田・佐藤 剛】・サワダ
水		日本語初級3【筆記表現B】【小山】 日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーションB【A10】 【高橋】	地域の食と産業化-Cultural anthropology of local food and dietary practices- 【諏訪】 地域の社会・文化・津軽の近代文化史- 【サワダ】	地球温暖化と防災【谷田真】【理工】 国際地域・社会・文化・異文化間コミュニケーション- 【長尾】	国際学生フォーラム【サワダ】【人文】 国際共修ゼミナール【佐藤(孝)・石本】【農生】
木	地域観光と地域プロモーションB【高橋】	日本語初級【筆記表現】【田中】 日本語中級2【総合B】【小笠原】 日本語中上級【文法B】【A6】【新川】	現代日本学-現代日本文化論- 【諏訪】 現代日本学-日本の女性による文学-【サワダ】	日本語初級1【口頭表現】【小山】 日本語中級1【総合B】【長尾】 日本語中上級アカデミックジャパニーズ 【講義の聴解・論文の書き方B】【B4】 【高橋】	日本語初級3【口頭表現B】【志喜屋】 インターンシップB-地域ツーリズム- 【サワダ】
金	日本語上級【聴解B】【B2】【山崎】	日本語初級2【口頭表現B】【山崎】 日本語中級【口頭表現B】【小山】	インターンシップB-ディプロマーション- 【サワダ】 インターンシップB-観光PR-【サワダ】	児童教育・ティーチャング・プラクティスⅡB【サワダ】	インターンシップB-ホスピタリティ経営- 【サワダ】
その他	【日本語・日本事情関連科目】 自主研究ⅡA【諏訪】(時間応相談) 自主研究ⅡB【サワダ】(時間応相談) 自主研究ⅡC【高橋】(時間応相談) 自主研究ⅡD【澤田】【人社】(月曜7・8時限) 国際共修ゼミナール【佐藤・石本】【農生】(水曜5・6・7・8時限) 地球温暖化と防災【谷田真】【理工】(火曜9・10時限) 日本の歌と文化【小田】【教育】(水曜7・8時限)				

■受講の注意点

1. 月曜9・10時限「国際地域・社会・文化・トランスナショナルリズムの音楽-」【諏訪】は、受講相談した上で、受講してください。
2. 「インターンシップB-ディプロマーション」、「インターンシップB-観光PR-」、「インターンシップB-地域ツーリズム-」、「インターンシップB-リಂಗゴ栽培、商品開発、マーケティング-」【サワダ】は週末に実習を行います(主に土曜日ですが、場合にによっては日曜日)。
受講する場合は、スケジュールを確保してから受講してください。「インターンシップB-ディプロマーション」と「インターンシップB-観光PR-」は事前指導とフィードバックを同じ日程(金曜5・6時限)・同じ講義室で行います。
3. 火曜7・8時限「地域プロジェクト演習-津軽地域文化国際共修-」【高橋】は、〇月〇日(土)、〇月〇日(土)、〇月〇日(土)にワークショップ、フィールドワークがあります。受講する場合はスケジュールの確保をしてから受講してください。
4. 水曜7・8時限「日本の歌と文化」【小田】は12月のいずれかの土曜日に集中講義を行います。

日本語初級(1, 2, 3)

日本語中級

日本語中上級

日本語上級

教養教育科目

日本語・日本事情関連科目

2024年度 弘前大学短期留学プログラム 日本語・日本事情関連科目等一覧
The list of Japanese Language and Japanese culture classes for Hirosaki University short-term program in 2024

■前期 I semester

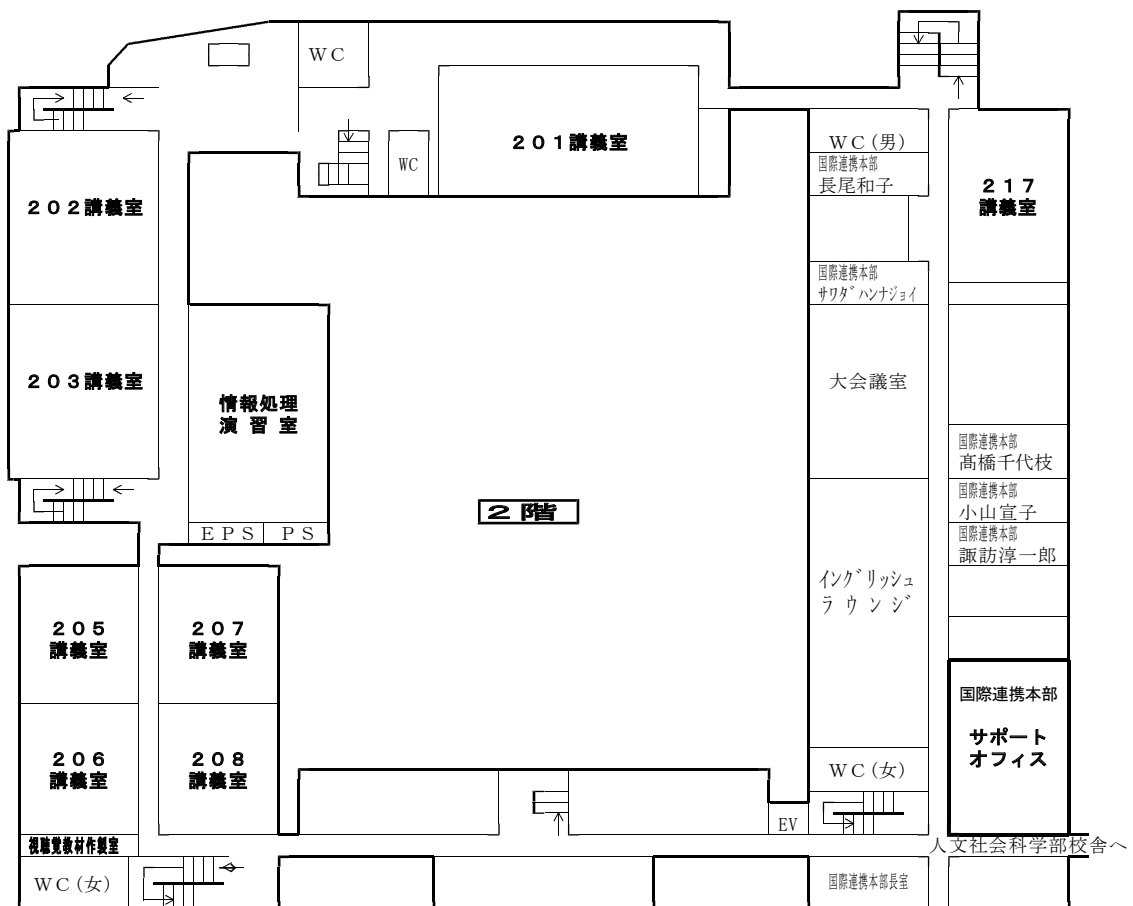
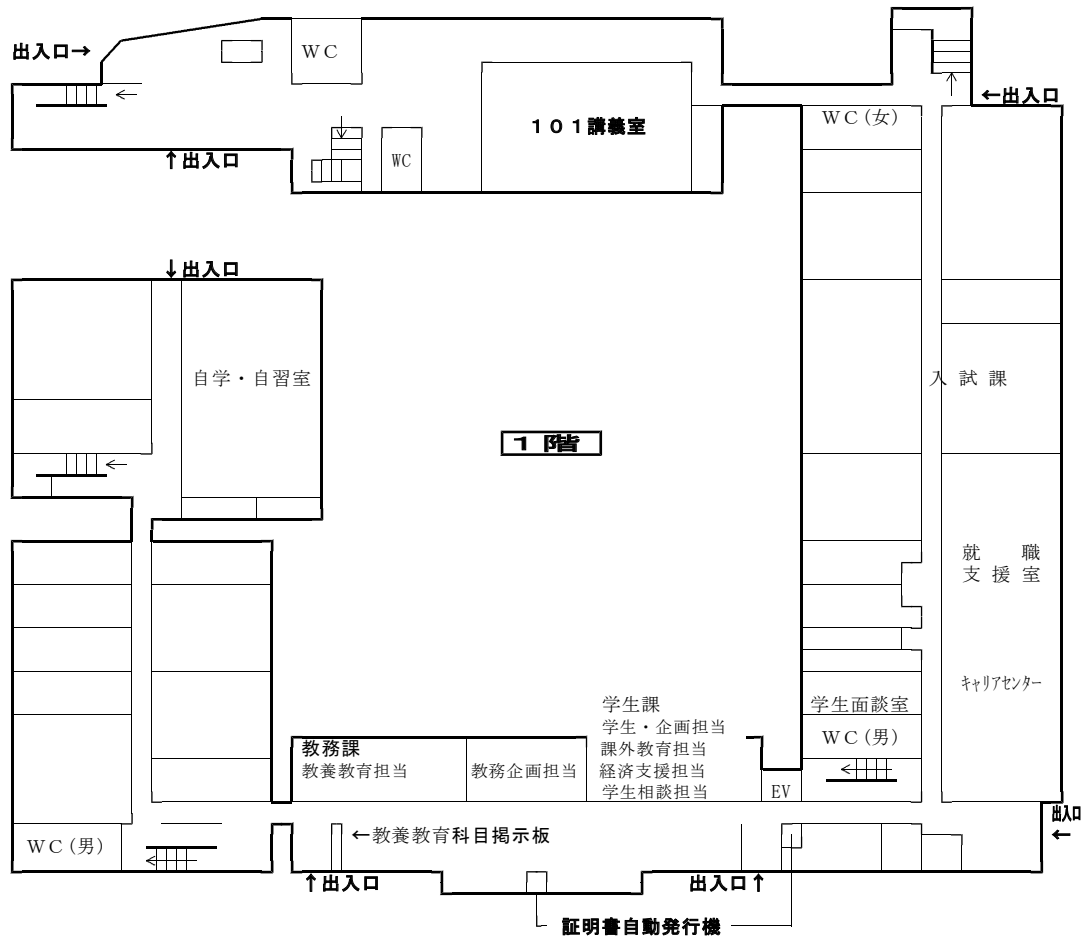
番号/No	科目名(日本語)/Subject(Japanese)	科目名(英語)/Subject(English)	曜日/The day of week	開講時/Date and time	担当教員/Lecturer	単位数/Credits	備考/Notes
1	日本語初級2(口頭表現A)	Basic Japanese 2 (Oral Expression A)	月・水・金/Mon・Tue・Fri	10:20 A.M. - 11:50 A.M. 2:20 P.M. - 3:50 P.M.	小山(木)・山崎(月・金)/Oyama・Yamazaki	6	
2	日本語初級2(筆記表現A)	Basic Japanese 2 (Written Expression A)	木/Thu	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	田中/Tanaka	2	
3	日本語初級3(口頭表現A)	Basic Japanese 3 (Oral Expression A)	月・火・金/Mon・Tue・Fri	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	小山(月・火)・長尾(金)/Oyama・Nagao	6	
4	日本語初級3(筆記表現A)	Basic Japanese 3 (Written Expression A)	火/Tue	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	田中/Tanaka	2	
5	日本語中級1(総合A)	Intermediate Japanese 1 (Integrated Course A)	火・水/Tue・Thu	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	長尾/Nagao	4	
6	日本語中級1(総合A)	Intermediate Japanese 2 (Integrated Course A)	火・水/Tue・Thu	10:20 A.M. - 11:50 A.M. 2:20 P.M. - 3:50 P.M.	小笠原/Ogatawara	4	
7	日本語中級(読解A)	Intermediate Japanese (Listening A)	月/Mon	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	長尾/Nagao	2	
8	日本語中級(口頭表現A)	Intermediate Japanese (Oral Expression A)	水/Wed	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	小山/Oyama	2	
9	日本語中上級(読解A)[A1]	Upper Intermediate Japanese (Reading A)[A1]	火/Tue	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	新川/Nishikawa	2	
10	日本語中上級(作文A)[A1]	Upper Intermediate Japanese (Writing A)[A1]	火/Tue	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	新川/Nishikawa	2	
11	日本語中上級アカデミック・ジャーナリズム(読解の理解・機能的書き方A)[A1]	Upper Intermediate Academic Japanese (Listening A)[A1]	月/Mon	8:40 A.M. - 10:10 A.M.	山崎/Yamazaki	2	
12	日本語中上級(文法A)[A1]	Upper Intermediate Academic Japanese (Grammar A)[A1]	木/Thu	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	新川/Nishikawa	2	
13	日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーションA[A1]	Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-A[A1]	水/Wed	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	高橋/Takahashi	2	
14	日本語上級(読解A)[B1]	Advanced Japanese (Reading A) [B1]	金/Fri	8:40 A.M. - 10:10 A.M.	山崎/Yamazaki	2	
15	日本語上級アカデミック・ジャーナリズム(読解の理解・機能的書き方A)[B1]	Advanced Academic Japanese (Listening and Writing A)[B1]	木/Thu	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	高橋/Takahashi	2	
16	サークル活動に基く日本社会 ①	Insights in Japanese society through circle activity ①	月/Mon	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	関野/Sone	2	使用言語: 英語/日本語 Taught in Japanese & English
17	芸術・演劇のアー・と・ナ・ティ・ブ (執筆)	Art and narrative of the Taiga region	火/Tue	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	サワダ/Sawada	2	使用言語: 英語/日本語 Taught in Japanese & English
18	日本美術史	Japanese Art History	火/Tue	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	関野/Sone	2	使用言語: 英語/日本語 Taught in Japanese & English
19	青森エキスカンションー Cultural anthropology of Exhibitionー (執筆)	Japanese Local Food Culture and Dietary Practices	水/Wed	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	関野/Sone	2	使用言語: 英語/日本語 Taught in Japanese & English
20	文学ー日本の絵本の世界ー (執筆)	The world of Japanese picture books	水/Wed	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	サワダ/Sawada	2	使用言語: 英語/日本語 Taught in Japanese & English
21	文学ー日本の戦争文学ー (執筆)	Japanese war literature	木/Thu	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	サワダ/Sawada	2	使用言語: 英語/日本語 Taught in Japanese & English
22	芸術ー茶室の美学ー (執筆)	The Aesthetics of the Japanese Tea Room	月/Mon	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	サワダ/Sawada	2	使用言語: 英語/日本語 Taught in Japanese & English
23	インターンシップAーリンゴ栽培、商品開発、マーケティングー	Internship AーApple cultivation, product development, marketingー	金/Fri	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	サワダ/Sawada	2	
24	インターンシップAー観光PRー	Internship AーTour Promotionー	金/Fri	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	サワダ/Sawada	2	
25	インターンシップAーシティ・プロモーションー	Internship AーCity Promotionー	月/Mon	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	サワダ/Sawada	2	
26	インターンシップAーWebマーケティングー	Internship AーWeb marketingー	金/Fri	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	サワダ/Sawada	2	
27	インターンシップAー地域ツーリズムー	Internship AーRegional Tourismー	月/Mon	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	サワダ/Sawada	2	
28	インターンシップAーホスピタリティ経営ー	Internship AーHospitality managementー	水/Wed	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	サワダ/Sawada	2	
29	TESOLーティーチング・プラクティス1A	TESOLーTeaching Practice 1 A	金/Fri	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	立田・サワダ/Tsukuda・Sawada	2	
30	児童教育ーティーチング・プラクティス1B	Childhood EducationーTeaching Practice 1 B	火/Tue	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	サワダ/Sawada	2	
31	地域観光と地域プロモーションA	Tourism and Regional Promotion A	金/Fri	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	薩嶋/Kashima	2	使用言語: 英語/日本語 Taught in Japanese & English
32	自主研究 1A	Seminar 1 A	木/Thu	8:40 A.M. - 10:10 A.M.	関野/Sone	2	使用言語: 英語/日本語 Taught in Japanese & English
33	自主研究 1B	Seminar 1 B	相談の上、決定		関野/Sone	2	使用言語: 英語/日本語 Taught in Japanese & English
34	自主研究 1C	Seminar 1 C	相談の上、決定		サワダ/Sawada	2	
35	自主研究 1D	Seminar 1 D	相談の上、決定		高橋/Takahashi	2	
			金/Fri	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	澤田/Sawada(人文)	2	

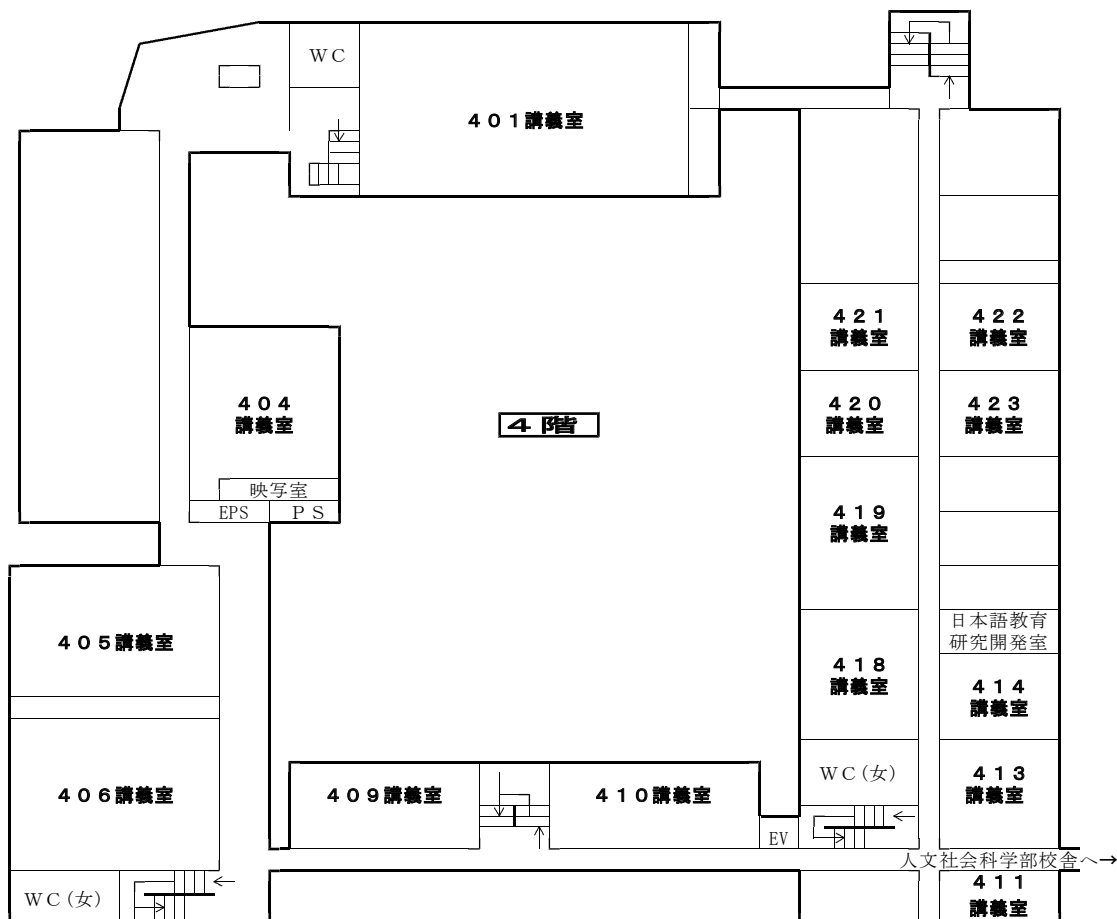
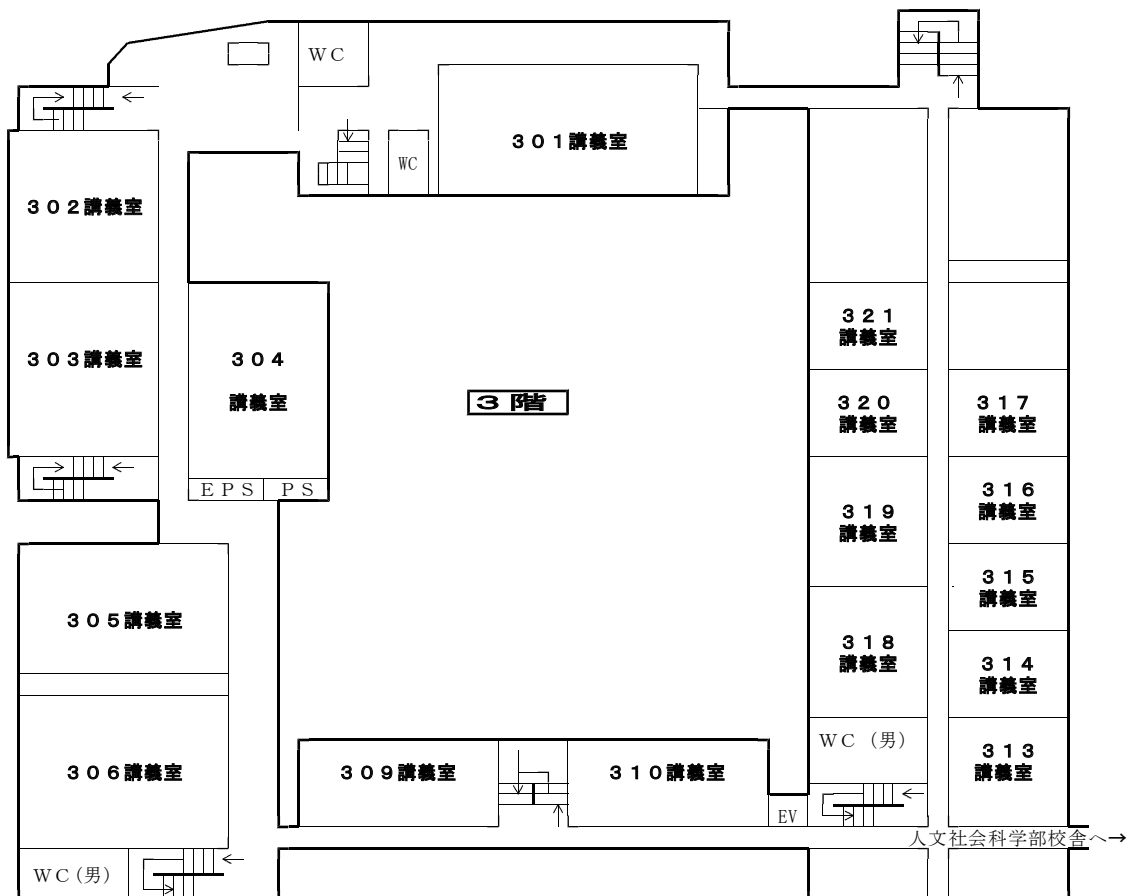
■後期 II semester

番号/No	科目名(日本語)/Subject(Japanese)	科目名(英語)/Subject(English)	曜日/The day of week	開講時間/Class time	担当教員/Lecturer	単位数/Credits	備考/Notes
1	日本語初級1(口頭表現)	Basic Japanese 1 (Oral Expression)	月・水/Mon-Thu	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	小山(木)/Yama, Yumazaki	4	
2	日本語初級1(筆記表現)	Basic Japanese 1 (Written Expression)	水/Thu	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	田中/Tanaka	2	
3	日本語初級2(口頭表現)	Basic Japanese 2 (Oral Expression)	火・金/Fri-Sat	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	小山(火)/Yama, Yumazaki	4	
4	日本語初級2(筆記表現)	Basic Japanese 2 (Written Expression)	火/Tue	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	田中/Tanaka	2	
5	日本語初級3(口頭表現)	Basic Japanese 3 (Oral Expression)	月・水/Mon-Thu	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	志喜屋/Shiikiya	4	
6	日本語初級3(筆記表現)	Basic Japanese 3 (Written Expression)	水/Wed	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	小山/Oyama	2	
7	日本語中級1(総合)	Intermediate Japanese 1 (Integrated Course)	火・水/Tue-Wed	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	長尾/Nago	4	
8	日本語中級2(総合)	Intermediate Japanese 2 (Integrated Course)	火・水/Tue-Wed	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	小笠原/Ogasawara	4	
9	日本語中級(聴解)	Intermediate Japanese (Listening)	月/Mon	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	長尾/Nago	2	
10	日本語中級(読解)	Intermediate Japanese (Reading)	金/Fri	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	小山/Oyama	2	
11	日本語中級(文法)	Upper Intermediate Japanese (Grammar)	火/Tue	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	新川/Nikawa	2	
12	日本語中級(作文)	Upper Intermediate Japanese (Writing)	火/Tue	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	新川/Nikawa	2	
13	日本語中級アカデミック・ライティング	Upper Intermediate Academic Japanese (Listening)	月/Mon	8:40 A.M. - 10:10 A.M.	山崎/Yamazaki	2	
14	日本語中級アカデミック・ライティング	Upper Intermediate Academic Japanese (Grammar)	水/Wed	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	新川/Nikawa	2	
15	日本語中級アカデミック・ライティング	Upper Intermediate Academic Japanese (Writing)	水/Wed	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	高橋/Takahashi	2	
16	日本語中級アカデミック・ライティング	Advanced Academic Japanese (Reading)	金/Fri	8:40 A.M. - 10:10 A.M.	山崎/Yamazaki	2	
17	日本語中級アカデミック・ライティング	Advanced Academic Japanese (Writing)	水/Wed	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	高橋/Takahashi	2	
18	日本語中級アカデミック・ライティング	Advanced Academic Japanese (Writing)	月/Mon	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	高橋/Takahashi	2	
19	日本語中級アカデミック・ライティング	Advanced Academic Japanese (Writing)	月/Mon	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	高橋/Takahashi	2	
20	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Modern Japanese Literature and the formation of Identity	火/Tue	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	サワガ/Sawada	2	
21	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Regional Project Seminar—Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsuetsugu	火/Tue	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	高橋/Takahashi	2	
22	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Japanese Culture and Representation	火/Tue	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	高橋/Takahashi	2	
23	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Survey of the modern cultural history of Tsuetsugu	水/Wed	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	サワガ/Sawada	2	
24	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Japanese Local Food Culture and Dietary Practices	水/Wed	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	高橋/Takahashi	2	
25	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Contemporary Japanese Culture	水/Wed	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	高橋/Takahashi	2	
26	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Intercultural communication	水/Wed	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	高橋/Takahashi	2	
27	現代日本語・日本文化・現代日本文化	International Student Forum	水/Wed	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	高橋/Takahashi	2	
28	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Japanese women writers and their literature	水/Wed	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	高橋/Takahashi	2	
29	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Internship B—Apple cultivation, product development, marketing—	月/Mon	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	高橋/Takahashi	2	
30	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Internship B—Tour Promotion—	金/Fri	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	高橋/Takahashi	2	
31	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Internship B—City Promotion—	金/Fri	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	高橋/Takahashi	2	
32	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Internship B—Web marketing—	月/Mon	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	高橋/Takahashi	2	
33	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Internship B—Regional Tourism—	水/Wed	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	高橋/Takahashi	2	
34	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Internship B—Hospitality management—	金/Fri	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	高橋/Takahashi	2	
35	現代日本語・日本文化・現代日本文化	TESOL—Teaching Practice II A	火/Tue	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	高橋/Takahashi	2	
36	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Childhood Education—Teaching Practice II B	金/Fri	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	高橋/Takahashi	2	
37	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Tourism and Regional Promotion B	水/Wed	8:40 A.M. - 10:10 A.M.	高橋/Takahashi	2	
38	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Seminar II A	水/Wed		高橋/Takahashi	2	
39	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Seminar II B	水/Wed		高橋/Takahashi	2	
40	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Seminar II C	水/Wed		高橋/Takahashi	2	
41	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Seminar II D	水/Wed		高橋/Takahashi	2	
42	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Introductory fieldwork on livelihoods in Amori	水/Wed	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	高橋/Takahashi	2	
43	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Global warming and disaster prevention	火/Tue	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	高橋/Takahashi	2	
44	現代日本語・日本文化・現代日本文化	Japanese Songs and Culture	水/Wed	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	高橋/Takahashi	2	

総合教育棟 校舎配置図

(2024年4月1日現在)





○弘前大学短期留学プログラムの日本語・日本事情関連科目に関する細則

(平成 29 年 2 月 23 日細則第 34 号)

改正 平成 30 年 3 月 22 日細則第 17 号 令和元年 11 月 28 日細則第 39 号

令和 2 年 2 月 18 日細則第 8 号 令和 4 年 1 月 21 日細則第 2 号

令和 5 年 3 月 8 日細則第 7 号 令和 5 年 9 月 29 日細則第 14 号

令和 6 年 3 月 8 日細則第 6 号

(趣旨)

第 1 条 この細則は、弘前大学短期留学プログラム規程（平成 16 年規程第 10 号。以下「規程」という。）第 8 条第 3 項の規定に基づき、短期留学プログラムにおける日本語・日本事情関連科目の履修方法等に関し必要な事項を定める。

(日本語・日本事情関連科目)

第 2 条 日本語・日本事情関連科目の科目名及び単位数は、別表のとおりとする。

2 日本語・日本事情関連科目の開講時期、時間数、担当教員名等は、学年又は学期の初めに公示する。

第 3 条 削除

(履修等)

第 4 条 規程第 10 条の規定により履修手続を行い履修登録された日本語・日本事情科目は、時間割の変更による場合を除き、指定された期日以後において変更することができないものとする。ただし、当該履修登録は、指定された期日以後において別に定める期間に限り、所定の手続きを行うことにより取り消すことができる。

2 日本語・日本事情科目は、同一の時間に開講される複数の科目（規程第 8 条に掲げる授業科目を含む。）について、重複して履修登録することができない。

3 所定の単位を修得した日本語・日本事情科目は、再履修することができない。

(評価)

第 5 条 履修した日本語・日本事情科目の評価は、当該科目の担当教員が学習の状況、試験の成績等によって行う。

(試験)

第 6 条 試験は、授業が終了した学期末に実施する。ただし、科目によっては、その他適当な時期に行うことがある。

2 試験は、当該科目に係る開講時間の総時間数に対し、出席時間数が 3 分の 2 に達しない者にあつては、原則として受験資格を与えないものとする。

3 やむを得ない事情により試験を欠席した者にあつては、国際連携本部運営会議において審議の上、追試験を実施することがある。

- 4 追試験を受けようとする者は、当該科目の試験実施日を起算とする7日以内に追試験願いに、当該欠席の理由を証明するものを添付の上、国際連携本部長に提出しなければならない。
- 5 追試験は、当該追試験の実施に係る科目の第1項に規定する試験実施日を起算とする30日以内において期日を指定して行う。

(修得単位の取消し)

第7条 修得した単位は、取り消すことができないものとする。

(その他)

第8条 この細則に定めるもののほか、短期留学プログラムにおける日本語・日本事情関連科目の履修方法等に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この細則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成30年3月22日細則第17号)

- 1 この細則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 この細則の施行日の前日において現に在学する者についての別表2の適用については、なお、従前の例による。

附 則(令和元年11月28日細則第39号)

この細則は、令和元年11月28日から施行する。

附 則(令和2年2月18日細則第8号)

この細則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則(令和4年1月21日細則第2号)

この細則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則(令和5年3月8日細則第7号)

この細則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則(令和5年9月29日細則第14号)

- 1 この細則は、令和5年10月1日から施行する。
- 2 改正後の別表の規定にかかわらず、令和5年度秋学期における「日本語上級アカデミックジャパニーズ（聴解作文B）」は、「日本語上級アカデミックジャパニーズ（アカデミックライティング）」とする。

附 則(令和6年3月8日細則第6号)
この細則は、令和6年4月1日から施行する。

別表

[別紙参照]

別表（第2条関係）

分野	春学期（前期）		秋学期（後期）	
	科目名	単位数	科目名	単位数
日本語			日本語初級1（口頭表現）	4単位
			日本語初級1（筆記表現）	2単位
	日本語初級2（口頭表現A）	6単位	日本語初級2（口頭表現B）	4単位
	日本語初級2（筆記表現A）	2単位	日本語初級2（筆記表現B）	2単位
	日本語初級3（口頭表現A）	6単位	日本語初級3（口頭表現B）	4単位
	日本語初級3（筆記表現A）	2単位	日本語初級3（筆記表現B）	2単位
	日本語中級1（総合A）	4単位	日本語中級1（総合B）	4単位
	日本語中級2（総合A）	4単位	日本語中級2（総合B）	4単位
	日本語中級（聴解A）	2単位	日本語中級（聴解B）	2単位
	日本語中級（口頭表現A）	2単位	日本語中級（口頭表現B）	2単位
	日本語中上級（読解A）	2単位	日本語中上級（読解B）	2単位
	日本語中上級（作文A）	2単位	日本語中上級（作文B）	2単位
	日本語中上級アカデミックジャパニーズ（聴解A）	2単位	日本語中上級アカデミックジャパニーズ（聴解B）	2単位
	日本語中上級（文法A）	2単位	日本語中上級（文法B）	2単位
	日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーションA	2単位	日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーションB	2単位
	日本語上級（読解A）	2単位	日本語上級（読解B）	2単位
	日本語上級アカデミックジャパニーズ（講義の聴解・論文の書き方A）	2単位	日本語上級アカデミックジャパニーズ（講義の聴解・論文の書き方B）	2単位
キャリア	インターンシップA	2単位	インターンシップB	2単位
	TESOL－ティーチング・プラクティスⅠA	2単位	TESOL－ティーチング・プラクティスⅡA	2単位
	児童教育－ティーチング・プラクティスⅠB	2単位	児童教育－ティーチング・プラクティスⅡB	2単位
特別科目	サークル活動に見る日本社会①	2単位	サークル活動に見る日本社会②	2単位
	地域観光と地域プロモーションA	2単位	地域観光と地域プロモーションB	2単位
	日本美術史	2単位		
			国際共修ゼミナール	2単位
			地球温暖化と防災	2単位
			日本の歌と文化	2単位
課題研究	自主研究ⅠA	2単位	自主研究ⅡA	2単位
	自主研究ⅠB	2単位	自主研究ⅡB	2単位
	自主研究ⅠC	2単位	自主研究ⅡC	2単位
	自主研究ⅠD	2単位	自主研究ⅡD	2単位

○弘前大学短期留学プログラム規程

(平成 16 年 4 月 1 日制定規程第 10 号)

改正

平成 21 年 2 月 9 日

平成 25 年 4 月 19 日規程第 58 号 平成 28 年 9 月 28 日規程第 221 号

平成 29 年 2 月 22 日規程第 6 号 令和元年 11 月 28 日規程第 151 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、弘前大学学則(平成 16 年規則第 2 号。以下「学則」という。)に定めるもののほか、弘前大学(以下「本学」という。)と外国の大学との協定に基づき、外国の大学に在学する学生を短期間受入れる弘前大学短期留学プログラム(以下「短期留学プログラム」という。)の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(資格)

第 2 条 短期留学プログラムにより受入れすることのできる者は、大学間交流協定を締結している外国の大学(以下「協定校」という。)の学部在籍し、原則として 2 年次を修了している外国籍の学生(以下「短期留学生」という。)とする。

(身分)

第 3 条 短期留学生は、当該短期留学生の希望する専攻分野の教育研究を行う学部に所属する。

2 短期留学生は、学則第 49 条に規定する特別聴講学生とする。

(期間)

第 4 条 短期留学生の受入れ期間は、6 月以上 1 年以内とする。

(受入れ人数)

第 5 条 短期留学生の受入れ数は、20 名程度とする。

(入学時期)

第 6 条 短期留学生の入学時期は、原則として 4 月又は 10 月とする。

(学期)

第 7 条 短期留学生の学期は、次の 2 学期とする。

春学期 4 月 1 日から 9 月 30 日まで

秋学期 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

(カリキュラム及び履修方法等)

第 8 条 短期留学プログラムのカリキュラムは、学則第 12 条に規定する授業科目及び国際連携本部が開設する日本語・日本事情の分野に係る各科目(以下「日本語・日本事情関連科目」という。)により構成する。

2 前項に掲げる学則第 12 条に規定する授業科目の履修方法等は、当該授業科目に係る規程の定めるところによる。この場合において、履修に当たっては、事前に当該授業科目を担当する教員の承認を得るものとする。

3 日本語・日本事情関連科目の履修方法等は、別に定める。

(履修単位)

第9条 短期留学生の履修単位は、1学期につき14単位以上、年間48単位までとする。

(履修手続)

第10条 短期留学生は、日本語・日本事情関連科目について、学年又は学期において指定された期日までに、所定の履修科目届を国際連携本部長に提出しなければならない。

(実施)

第11条 短期留学プログラムは、弘前大学国際連携本部(以下「本部」という。)が実施する。

2 短期留学プログラムを円滑に運営するために必要な事項については、本部が別に定める。

(事務)

第12条 短期留学プログラムの実施に関する事務は、事務局付調整役(国際連携本部)が処理する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成21年2月9日)

この規程は、平成21年2月9日から施行する。

附 則(平成25年4月19日規程第58号)

この規程は、平成25年4月19日から施行し、改正後の規程は、平成25年4月1日から適用する。

附 則(平成28年9月28日規程第221号)

この規程は、平成28年10月1日から施行する。

附 則(平成29年2月22日規程第6号)

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(令和元年11月28日規程第151号)

この規程は、令和元年11月28日から施行する。

前期

(I Semester)

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級2 (口頭表現A) Basic Japanese 2 (Oral Expression A)																						
副題 subtitle																							
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University																						
単位 credit	6単位 (6 credits)																						
学期 semester	前期 (I Semester)																						
曜日 day 時限 period	月曜日 (Monday) : (10:20-11:50) 木曜日 (Thursday) : (14:20-15:50) 金曜日 (Friday) : (10:20-11:50)																						
授業形式 class format	Lecture, Practice, Activity																						
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小山宣子 (国際連携本部) Nobuko, OYAMA (Department of International Education and Collaboration), 山崎達郎 (非常勤講師) Tatsuro, YAMAZAKI																						
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	<ul style="list-style-type: none"> • To be proficient on basic patterns/expressions of Japanese • To be proficient on basic Japanese conversation in daily settings (equivalent to A1 and A2-1 of JF standard) 																						
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for the Conversational Grammar section. Although the primary focus is on developing conversation skills, time is also devoted to studying grammar and vocabulary in order to ensure a smooth transition to the initial stages of the Intermediate Level.																						
授業の内容予定 schedule of the class	<p>The topics for each lesson in the textbook are as follows: The examinations will be held after Lessons 6 and 11.</p> <table border="0"> <tr> <td>April 12, 15, 18, 19, 22</td> <td>LESSON 3 Making a Date</td> </tr> <tr> <td>April 25, 26, May 2, 9, 10</td> <td>LESSON 4 The First Date</td> </tr> <tr> <td>May 13, 16, 17, 20, 23</td> <td>LESSON 5 A Trip to Okinawa</td> </tr> <tr> <td>May 24, 27, 30, 31, June 3</td> <td>LESSON 6 A Day in Robert's Life</td> </tr> <tr> <td>June 6</td> <td>Intermediate Exam</td> </tr> <tr> <td>June 7, 10, 13, 14, 17</td> <td>LESSON 7 Family Picture</td> </tr> <tr> <td>June 20, 21, 24, 27, 28</td> <td>LESSON 8 Barbecue</td> </tr> <tr> <td>July 1, 4, 5, 8, 11</td> <td>LESSON 9 Kabuki</td> </tr> <tr> <td>July 12, 16, 18, 19, 22</td> <td>LESSON 10 Winter Vacation Plans</td> </tr> <tr> <td>July 25, 26, 29, August 1, 2</td> <td>LESSON 11 After the Vacation</td> </tr> <tr> <td>August 5</td> <td>Final Exam</td> </tr> </table> <p>One lesson is finished in five sessions. (Each session is a 90-minutes class period.)</p> <p>Session 1-4:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Vocabulary • Grammar drills <p>Session 5:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Practice of conversational expressions and speaking • Listening comprehension exercises 	April 12, 15, 18, 19, 22	LESSON 3 Making a Date	April 25, 26, May 2, 9, 10	LESSON 4 The First Date	May 13, 16, 17, 20, 23	LESSON 5 A Trip to Okinawa	May 24, 27, 30, 31, June 3	LESSON 6 A Day in Robert's Life	June 6	Intermediate Exam	June 7, 10, 13, 14, 17	LESSON 7 Family Picture	June 20, 21, 24, 27, 28	LESSON 8 Barbecue	July 1, 4, 5, 8, 11	LESSON 9 Kabuki	July 12, 16, 18, 19, 22	LESSON 10 Winter Vacation Plans	July 25, 26, 29, August 1, 2	LESSON 11 After the Vacation	August 5	Final Exam
April 12, 15, 18, 19, 22	LESSON 3 Making a Date																						
April 25, 26, May 2, 9, 10	LESSON 4 The First Date																						
May 13, 16, 17, 20, 23	LESSON 5 A Trip to Okinawa																						
May 24, 27, 30, 31, June 3	LESSON 6 A Day in Robert's Life																						
June 6	Intermediate Exam																						
June 7, 10, 13, 14, 17	LESSON 7 Family Picture																						
June 20, 21, 24, 27, 28	LESSON 8 Barbecue																						
July 1, 4, 5, 8, 11	LESSON 9 Kabuki																						
July 12, 16, 18, 19, 22	LESSON 10 Winter Vacation Plans																						
July 25, 26, 29, August 1, 2	LESSON 11 After the Vacation																						
August 5	Final Exam																						
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	2 regular examinations ---- 60% Homework -----25% Quizzes -----15% The final grade will be determined by adding up the above results.																						
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Study and memorize vocabulary using a recommended app. It is required to read the textbook before attending class. Review: After each class, homework assignments will be given. These may include exercises from the textbook and workbook, recordings of role-plays, and other related tasks. Note: As this is a 6-credit course, it is expected that you will dedicate about 10 hours per week to studying outside of class.																						

教材・教科書 text	1. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese I Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500) 2. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese I [Workbook] Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥1,800)
参考文献 references	References will be introduced in class as needed.
留意点・予備知識 remarks	The syllabus is written in English for convenience, but not all students can understand spoken English. Since there is often no common language that all students can understand, teachers try to explain everything in Japanese as much as possible during class. Students are also encouraged to use Japanese in the classroom as much as possible.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 (Wednesday) : 12:00-13:00
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	nobuko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom in principle. During class, Students are individually nominated and answer the questions. They may write words or sentences on paper. Homework assignments may be submitted through online platforms, such as Microsoft Teams.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級2 (筆記表現A) Basic Japanese 2 (Written Japanese A)
副題 subtitle	
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University
単位 credit	2単位 (2 credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	木曜日 (Thursday) : 10:20-11:50
授業形式 class format	Lecture, Practice, Activity
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	田中美由紀 (非常勤講師) Miyuki, TANAKA
授業としての具体的到達目標 goal of the class	・ To be proficient on reading and writing simple passage with Hiragana, Katakana and some basic Kanji.
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for the Reading and Writing section. Although the primary focus is on learning Kanjis and Reading, time is also devoted to Writing in order to ensure a smooth transition to the initial stages of the The topics and Kanjis for each lesson in the textbook are as follows
授業の内容予定 schedule of the class	<p>April 11 LESSON 2 カタカナ</p> <p>April 18, 25 LESSON 3 まいにちのせいかつ</p> <p>May 9, 16 LESSON 4 メアリーさんのしゅうまつ</p> <p>May 23, 30 LESSON 5 りょうこう</p> <p>June 6, 13 LESSON 6 私のすきなレストラン</p> <p>June 20, 27 LESSON 7 メアリーさんのてがみ</p> <p>July 4, 11 LESSON 8 日本の会社員</p> <p>July 18, 25 LESSON 9 ソラさんの日記</p> <p>August 1 Final Exam</p>
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	<p>Final examination -- 40%</p> <p>Homework ----- 30%</p> <p>Quizzes ----- 30%</p> <p>The final grade will be determined by adding up the above results.</p>
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	<p>Preparation: Study and memorize Kanji as possible in advance. It is required to read the textbook before attending class.</p> <p>Review: After each class, homework assignments will be given. These may include exercises from the textbook and workbook, and other related tasks.</p> <p>Note: As this is a 2-credit course, it is expected that you will dedicate about 3 hours per week to studying outside of class.</p>
教材-教科書 text	<p>1. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese I Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500)</p> <p>2. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese I [Workbook] Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥1,800)</p> <p>3. The compliant app of Kanji is recommended. (¥730)</p>
参考文献 references	References will be introduced in class as needed.
留意点・予備知識 remarks	The syllabus is written in English for convenience, but not all students can understand spoken English. Since there is often no common language that all students can understand, teachers try to explain everything in Japanese as much as possible during class. Students are also encouraged to use Japanese in the classroom as much as possible.
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	Ask your teacher before or after class in the classroom.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	

授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom. During class, students may write Kanjis, words or sentences on paper. Homework assignments may be submitted through online platforms, such as Microsoft Teams.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級3 (口頭表現A) Basic Japanese 3 (Oral Expression A)																						
副題 subtitle																							
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University																						
単位 credit	6単位 (6 credits)																						
学期 semester	前期 (I Semester)																						
曜日 day 時限 period	月曜日 (Monday) : (16:00-17:30) 火曜日 (Tuesday) : (16:00-17:30) 金曜日 (Friday) : (10:20-11:50)																						
授業形式 class format	Lecture, Practice, Activity																						
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小山宣子 (国際連携本部) Nobuko, OYAMA (Department of International Education and Collaboration), 長尾和子 (国際連携本部) Kazuko, NAGAO (Department of International Education and Collaboration)																						
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	<ul style="list-style-type: none"> • To be proficient on basic patterns/expressions of Japanese • To be proficient on basic Japanese conversation in daily settings (equivalent to A2 of JF standard) 																						
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for the Conversational Grammar section. Although the primary focus is on developing conversation skills, time is also devoted to studying grammar and vocabulary in order to ensure a smooth transition to the initial stages of the Intermediate Level.																						
授業の内容予定 schedule of the class	<p>The topics for each lesson in the textbook are as follows: The examinations will be held after Lessons 16 and 21.</p> <table border="0"> <tr> <td>April 15, 16, 19, 22, 23</td> <td>LESSON 13 Looking for a Part-time Job</td> </tr> <tr> <td>April 26, 30, May 2, 7, 10</td> <td>LESSON 14 Valentine's Day</td> </tr> <tr> <td>May 13, 14, 17, 20, 21</td> <td>LESSON 15 A Trip to Nagano</td> </tr> <tr> <td>May 24, 27, 28, 31, June 3</td> <td>LESSON 16 Lost and Found</td> </tr> <tr> <td>June 4</td> <td>Intermediate Exam</td> </tr> <tr> <td>June 7, 10, 11, 14, 17</td> <td>LESSON 17 Grumble and Gossip</td> </tr> <tr> <td>June 18, 21, 24, 25, 28</td> <td>LESSON 18 John's Part-time Job</td> </tr> <tr> <td>July 1, 2, 5, 8, 9</td> <td>LESSON 19 Meeting the Boss</td> </tr> <tr> <td>July 12, 16, 19, 22</td> <td>LESSON 20 Mary Goes Shopping</td> </tr> <tr> <td>July 23, 26, 29, 30, August 2</td> <td>LESSON 21 Burglar</td> </tr> <tr> <td>August 5, 6</td> <td>Final Exam</td> </tr> </table> <p>One lesson is finished in five sessions. (Each session is a 90-minutes class period.) Session 1-4: <ul style="list-style-type: none"> • Vocabulary • Grammar drills Session 5: <ul style="list-style-type: none"> • Practice of conversational expressions and speaking • Listening comprehension exercises </p>	April 15, 16, 19, 22, 23	LESSON 13 Looking for a Part-time Job	April 26, 30, May 2, 7, 10	LESSON 14 Valentine's Day	May 13, 14, 17, 20, 21	LESSON 15 A Trip to Nagano	May 24, 27, 28, 31, June 3	LESSON 16 Lost and Found	June 4	Intermediate Exam	June 7, 10, 11, 14, 17	LESSON 17 Grumble and Gossip	June 18, 21, 24, 25, 28	LESSON 18 John's Part-time Job	July 1, 2, 5, 8, 9	LESSON 19 Meeting the Boss	July 12, 16, 19, 22	LESSON 20 Mary Goes Shopping	July 23, 26, 29, 30, August 2	LESSON 21 Burglar	August 5, 6	Final Exam
April 15, 16, 19, 22, 23	LESSON 13 Looking for a Part-time Job																						
April 26, 30, May 2, 7, 10	LESSON 14 Valentine's Day																						
May 13, 14, 17, 20, 21	LESSON 15 A Trip to Nagano																						
May 24, 27, 28, 31, June 3	LESSON 16 Lost and Found																						
June 4	Intermediate Exam																						
June 7, 10, 11, 14, 17	LESSON 17 Grumble and Gossip																						
June 18, 21, 24, 25, 28	LESSON 18 John's Part-time Job																						
July 1, 2, 5, 8, 9	LESSON 19 Meeting the Boss																						
July 12, 16, 19, 22	LESSON 20 Mary Goes Shopping																						
July 23, 26, 29, 30, August 2	LESSON 21 Burglar																						
August 5, 6	Final Exam																						
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	2 regular examinations ----- 60% Homework ----- 25% Quizzes ----- 15% The final grade will be determined by adding up the above results.																						

準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	Preparation: Study and memorize vocabulary in advance. It is required to read the textbook before attending class. Review: After each class, homework assignments will be given. These may include exercises from the textbook and workbook, recordings of role-plays, and other related tasks. Note: As this is a 6-credit course, it is expected that you will dedicate about 10 hours per week to studying outside of class.
教材・教科書 text	1. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500) 2. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II [Workbook] Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥1,800)
参考文献 references	References will be introduced in class as needed.
留意点・予備知識 remarks	The syllabus is written in English for convenience, but not all students can understand spoken English. Since there is often no common language that all students can understand, teachers try to explain everything in Japanese as much as possible during class. Students are also encouraged to use Japanese in the classroom as much as possible.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 (Wednesday) : 12:00-13:00
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	nobuko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom in principle. During class, Students are individually nominated and answer the questions. They may write words or sentences on paper. Homework assignments may be submitted through online platforms, such as Microsoft Teams.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級3 (筆記表現A) Basic Japanese 3 (Written Expression A)
副題 subtitle	
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University
単位 credit	2単位 (2 credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	火曜日 (Tuesday) : 10:20-11:50
授業形式 class format	Lecture, Practiced, Activity
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	田中美由紀 (非常勤講師) Miyuki, TANAKA
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	・ To be proficient on reading and writing simple passage with Hiragana, Katakana and some basic Kanji.
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for the Reading and Writing section. Although the primary focus is on learning Kanjis and Reading, time is also devoted to Writing in order to ensure a smooth transition to the initial stages of the Intermediate Level.
授業の内容予定 schedule of the class	The topics and Kanjis for each lesson in the textbook are as follows April 16, 23 LESSON 13 日本のおもしろい経験 April 30, May 7 LESSON 14 悩みの相談 May 14, 21 LESSON 15 私が好きな所 May 28, June 4 LESSON 16 漫画「ドラえもん」 June 11, 18 LESSON 17 オノ・ヨーコ June 25, July 2 LESSON 18 大学生活 July 9, 23 LESSON 19 手紙とメール July 30 LESSON 20 猫の皿 August 6 Final Exam
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Final examination --- 40% Homework ----- 30% Quizzes ----- 30% The final grade will be determined by adding up the above results.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Study and memorize Kanji in advance. It is required to read the textbook before attending class. Review: After each class, homework assignments will be given. These may include exercises from the textbook and workbook, and other related tasks. Note: As this is a 2-credit course, it is expected that you will dedicate about 3 hours per week to studying outside of class.
教材-教科書 text	1. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500) 2. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II [Workbook] Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥1,800) 3. The compliant app of Kanji is recommended. (¥730)
参考文献 references	References will be introduced in class as needed.
留意点・予備知識 remarks	The syllabus is written in English for convenience, but not all students can understand spoken English. Since there is often no common language that all students can understand, teachers try to explain everything in Japanese as much as possible during class. Students are also encouraged to use Japanese in the classroom as much as possible.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Ask your teacher before or after class in the classroom.

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom. During class, students may write Kanjis, words or sentences on paper. Homework assignments may be submitted through online platforms, such as Microsoft Teams.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級 1 (総合A) Intermediate Japanese 1 (Integrated Course A)
副題 subtitle	
対象学生	初級（教室で200時間から250時間[1時間は60分]）を勉強し、内容を十分習得した学生。 日本語能力試験でN4程度の学生。CEFR A2に到達し、B1を目指す学生。
単位 credit	4単位 (4 Credits)
学期 semester	前期 (1 semester)
曜日 day 時限 period	火曜日 3・4時限 (10:20～11:50)、木曜日 7・8時限 (14:20～15:50)
授業形式 class format	講義と活動 (Lecture & Activities)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGA0, Kazuko (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	あるテーマやトピックについて日本語で学ぶことを通して、日本語の力と、内容を理解して思考する力の二つの力をつける。
授業の概要 course description	日本語を使った様々なタスクを行うのに必要な言語知識（語彙、文法・表現、漢字のことばなど）と言語スキル（メモの取り方、情報の集め方、発表の仕方など）を学ぶ。
授業の内容予定 schedule of the class	第1週/第2週/第3週 ガイダンス 第1課 習い事は役に立つ？（習い事の経験について自分の気持ちや考えを理由も織り交ぜながら、時系列で語ることができる） 第4週/第5週 第2課 漢字・ひらがな・カタカナ、どれで書く？（日本語の表記の歴史や使い分けについての説明文を読み、理解することができる） 第6週/第7週 第3課 昔話の世界を知ろう（昔話の流れを理解し、新しい結末を書く） 第8週 復習 中間テスト 第9週/第10週 第5課 違いについて考えてみよう（自分にとって身近な国・地域と日本を比べ、習慣や制度等を比較したまとまりある文章を書くことができる） 第11週/第12週 第6課 音楽の力（ラジオなどのメディアで音楽の思い出について語られているのを聞き、その主要な点が理解できる） 第13週/第14週 第7課 日本から世界へ（点字ブロックの誕生や発展について事実に基づいた説明文を読み、主題を理解することができる） 第15週/第16週 プロジェクト 本コースのテーマの中から1つ選び、日本語でインタビューをする、その結果をまとめて発表し、レポートを書く。
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	出席・積極的な授業参加10%、中間テスト30%、課題提出20% プロジェクト発表20%、プロジェクトレポート20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	教科書付属の教材「漢字のことば」練習シート、メインタスクの課題の一部、「文型・表現」練習シートを課題として行う。
教材・教科書 text	国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程著（2022）『タスクベースで学ぶ日本語 中級1』スリーエーネットワーク

参考文献 references	仲山淳子（2021）『日本語文法ブラッシュアップトレーニング』アルク
留意点・予備知識 remarks	テーマは身近なものからやや社会的なものへ、タスクも単純なものからやや複雑なものへと なっていきます。言語の形式にも注意しながら、自分の経験や考えをまとめる、自分た ちで考えた計画を説明する、調べたことを発表するといったことを積極的に日本語を使っ て行うようにしましょう。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業中に質問するか、メールかTeamsで予約を取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	プレタスク（背景知識を活性化するタスク・聞くタスク・読むタスクによるインプット メインタスクをする準備）⇄メインタスク（「聞く」「読む」「話す」「書く」「やりと り」）⇄文型・表現⇄ポストタスク（創造的・発展的な活動）⇄漢字の言葉⇄質問文を 使ったやりとり⇄振り返り
その他 other	シラバスの内容は流動的です。学生の進度や興味によりシラバスが変更される場合があり ます。

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級2 (総合A) Intermediate Japanese 2 (Integrated Course A)
副題 subtitle	
対象学生	昨年度 (2023年度) 後期に「日本語中級前半B」を受講した学生、または日本語能力試験のN3かCERFのB1程度のレベルにある学生。
単位 credits	4単位 (4 credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	火曜日 3・4 時限 (10:20~11:50) と 木曜日 3・4 時限 (10:20~11:50)
授業形式 class format	演習
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小笠原淑子 OGASAWARA, Yoshiko (非常勤講師)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	中上級に進むために必要な漢字・語彙「ごい」・文型・表現の習得に加え、読解力と作文力を高める。主体的に学んで行けるよう、情報収集能力と問題解決能力を身につける。
授業の概要 course description	1. プレタスクで自分の考えを話したり、テーマに関する説明文を読む。 2. メインタスクで情報を検索し、調べて考えたことを説明する。 3. ポストタスクでテーマに関する聞き取り、作文、発表等を行う。 4. 定期的に漢字と語彙の小テストを行い、定着を図る「はかる」。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回: オリエンテーション 第2回: 第1課 なぜその言葉? ①プレタスク 第3回: 第1課 なぜその言葉? ②メインタスク 第4回: 第1課 なぜその言葉? ③ポストタスク 第5回: 第1課 なぜその言葉? ④復習 第6回: 第2課 ユニバーサルデザインとは? ①プレタスク 第7回: 第2課 ユニバーサルデザインとは? ②メインタスク 第8回: 第2課 ユニバーサルデザインとは? ③ポストタスク 第9回: 第2課 ユニバーサルデザインとは? ④復習 第10回: 第3課 公共施設を利用している? ①プレタスク 第11回: 第3課 公共施設を利用している? ②メインタスク 第12回: 第3課 公共施設を利用している? ③ポストタスク 第13回: 第3課 公共施設を利用している? ④復習 第14回: 第1課~第3課 復習 第15回: 第4課 違う自分になりたい? ①プレタスク 第16回: 第4課 違う自分になりたい? ②メインタスク 第17回: 第4課 違う自分になりたい? ③ポストタスク 第18回: 第4課 違う自分になりたい? ④復習 第19回: 第5課 災害に対して準備している? ①プレタスク 第20回: 第5課 災害に対して準備している? ②メインタスク 第21回: 第5課 災害に対して準備している? ③ポストタスク 第22回: 第5課 災害に対して準備している? ④復習 第23回: 第6課 地球の環境、大丈夫? ①プレタスク 第24回: 第6課 地球の環境、大丈夫? ②メインタスク 第25回: 第6課 地球の環境、大丈夫? ③ポストタスク 第26回: 第6課 地球の環境、大丈夫? ④復習 第27回: 第7課 なぜそう見える? どう見せる? ①プレタスク 第28回: 第7課 なぜそう見える? どう見せる? ②メインタスク 第29回: 第7課 なぜそう見える? どう見せる? ③ポストタスク 第30回: 第7課 なぜそう見える? どう見せる? ④復習 第31回: 第4課~第7課 復習、1学期のまとめ
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	漢字・語彙「ごい」の小テスト: 30% 中間試験と期末試験: 40% その他 (文型・表現学習、作文、口頭発表など): 30%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	1) 次の授業で扱う箇所【かしよ】を前もって読み、漢字や語句を調べてくる。 2) 宿題や課題は、次の授業の活動に関わるので、必ず完成させて来る。 3) 漢字と語彙や新しい文型・表現を復習する。

教材・教科書 textbook	国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程〈2022〉 『タスクベースで学ぶ日本語 中級2』スリーエーネットワーク
参考文献 references	特になし
留意点・予備知識 remarks	間違いを恐〔おそ〕れずに、積極的に日本語を使うようにしてください。
授業内容に関する質問・ 疑義等 office hours	授業の前後に質問を受けます。個人面談が必要な場合は時間を設〔もう〕けます。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address	louloudi99@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	ペア・グループ活動を含む演習
その他 other	1) 週2回の授業です。火曜日と木曜日、両方出席しなければなりません。 2) シラバスの内容に変更が生じる場合はプリントと口頭でお知らせします。 3) 単位が必要な場合は3分の2以上出席しなければなりません。 4) 遅刻や早退は3回で一回の欠席としてカウントされます。

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級(聴解A) Intermediate Japanese (Listening A)
副題 subtitle	一般日本語中級 (前半・後半)
対象学生	初級 (教室で200時間から250時間[1時間は60分]) を勉強し、内容を十分習得した学生。 日本語能力試験でN4またはN3程度の学生。CEFR A2に到達し、B1を目指す学生。または、 B1の学生。
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (1 semester)
曜日 day 時限 period	月曜日 (Mon) 5・6時限 (12:40~14:10)
授業形式 class format	講義・活動(Lecture & Activities)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGA0, Kazuko (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題についての説明、スピーチが分かる。 ・まとまった内容を聞いて、流れを意識することができる。 ・わからないことがあっても、全体から類推して、情報が補える。
授業の概要 course description	大学での講義や研究発表を聞く力をつけるための練習をします。 聞く力だけではなく、聞いたことをまとめる力、要約を書く勉強もできます。 日本人大学生の話し方を聞き、その特徴を理解します。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第1課「富士山」 第2回 第2課「信号の話」 第3回 第3課「隠れキリシタン」 第4回 第4課「水族館」 第5回 第5課「ゴリラの食事」 第6回 第6課「東京の温泉」 第7回 第8課「札幌のお祭り」 第8回 中間テスト 第9回 第9課「津軽三味線」 第10回 第10課「メールの書き方」 第11回 第11課「アクセント」 第12回 第12課「からくり人形」 第13回 第13課「四つ葉のクローバー」 第14回 第14課「長寿の理由」 第15回 第15課「長崎の猫」 第16回 期末テスト
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業への積極的参加 10%、課題提出 30%、中間テスト 30% 期末テスト 30%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	予習 各課のテーマについてインターネットで調べておく 復習 問題Dの要約をTeamsに提出する
教材・教科書 text	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解[中級]』東京外国語大学 留学生日本語教育センター編著
参考文献 references	鎌田修監修 山森理恵・金庭久美子・奥野由紀子 (2021) 『リアルな会話で学ぶにほんご 初中級リスニング』The Japan Times.

留意点・予備知識 remarks	日本語能力試験N4以上の日本語能力が必要です。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業で質問するか、メールかTeamsで予約を取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義・課題・活動（グループディスカッション）
その他 other	シラバスの内容は流動的です。学生の進度や興味によりシラバスが変更される場合があります。

授業科目名 subject	にほんご ちゅうきゅうこうどう ひょうげん 日本語中級（口頭表現A）
〔英文名〕	Intermediate Japanese (Oral Expression A)
副題 subtitle	
対象学生	クラス分けテストで、中級に 分けられた学生。
単位 credit	2 単位
学期 semester	前期
曜 day 時限 period	水曜 (Wed) 3・4時限 (10:20-11:50)
授業形式 class format	講義とグループ活動・個人活動
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	おやま のぶこ 国際連携本部 Nobuko, OYAMA (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	<ul style="list-style-type: none"> 初級で習った文型を使って話せるようになります。 普通体と丁寧体を使い分けられるようになります。 聞いてわかりやすい発音で短いスピーチができるようになります。
授業の概要 course description	<ul style="list-style-type: none"> 初級で習った文型を使って、場面を中心にして会話の練習をします。 グループでロールプレイをします。 スピーチは自分で文を考えます。
授業の内容予定 schedule of the class	4/17 ガイダンス 第1課 新任のあいさつ 4/24 第2課 電話がこわい 5/ 1 第3課 ミスをして謝る 5/ 8 (補講) 4課 仕事が山積み 5/15 (ショートスピーチ) ふるさとの有名な人 5/22 総合タスク 5/29 第5課 飲みニケーション 6/ 5 (ショートスピーチ) おすすめの場所[私の町] 6/19 第6課 夏休みはいつ取る？ 6/26 第7課 いとこを空港まで迎えに 7/ 3 (ショートスピーチ) お祭り・イベント[私の町] 7/10 総合タスク2 5課～7課の復習 7/17 第8課 食欲の秋 7/24 (ショートスピーチ) おすすめの食べ物[私の町] 7/31 発表会
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	かだいていしゅつじょうきょう 課題提出状況（スクリプトと録音した音声提出する） 50% グループワーク参加 20% 発表 30%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	よしゅう 予習 きょうかしょ み たんご ぶんけい しら 教科書を見て、単語や文型を調べる。 ふくしゅう 復習 じゅぎょう れんしゅう おんせい ろくおん ていしゅつ 授業で練習した音声を録音して提出する。

教材・教科書 text	2020『 ^{しよちゆうきゆう} 初中級レベル ^{まな} ロールプレイで学ぶ ^{にほんご} ビジネス日本語』スリーエーネットワーク むらの ^{せつこ} 節子 ^{ほか} 他 1800円
参考文献 references	なし
留意点・予備知識 remarks	なし
^{じゆぎやないよう} 授業内容に関する質問・ ^{ぎぎ} 疑義等	水曜 ^じ 12時～ ^じ 13時
Office Hours	
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	nobuko@hirosaki-u.ac.jp
^{およ} 授業形態及び ^{じゆぎやほうほう} 授業方法 Class form and method	^{こうぎ} 講義と ^{かつどう} 活動
その他 other	^{ぜんき} 前期と ^{こうき} 後期は、 ^{なが} 流れはおなじですが、 ^{ちが} トピックは違います。 シラバスの ^{ないよう} 内容には ^{へんこう} 変更 ^え があり得ます。

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中上級（読解A）【A1】 Upper Intermediate Japanese (Reading A)
副題 subtitle	
対象学生	中級以上の留学生
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	火曜日 (Tue) 5・6時限 (12:40～14:10)
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	新川 以智子(非常勤)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日常生活や大学生活に必要な日本語の文章を正確に読んで理解するための語彙力と読解技術を身に付ける。
授業の概要 course description	読解ストラテジーに焦点をあて、文章の中のキーワードや主題、文章構造、定型表現を見つけ出すことで、早く正確に読解する練習をする。テキスト問題に加え、語彙リスト作成、タイトルつけなどの活動も行う。また様々な生教材から、教師や学習者が選択したものを読解する。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第3回 パート1 情報取得 第5回 パート1 接続語・指示語 第7回 パート1 比喩表現 第9～13回 パート2 第16回 修了課題 ★ 進行状況によって予定を変更する可能性あり 第2回 読むトレーニング基礎編 第4回 パート1 キーワード 第6回 パート1 数字 第8回 パート1 意外な意味を持つ言葉 第14～15回 応用読解
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	毎回の授業参加度 30% 課題 50% 修了テスト 20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	全体課題や担当課題があれば、期限までに準備または提出する。
教材・教科書 text	『読むトレーニング応用編 日本留学試験対応』三上京子・山形美保子・他 著 スリーエーネットワーク
参考文献 references	授業時に提示
留意点・予備知識 remarks	
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業内容に関する質問は授業内もしくは終了後に直接してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	

授業科目名 subject [英文名]	日本語中上級（作文A）【A3】 Upper Intermediate Japanese(Writing A)
副題 subtitle	
対象学生	中級以上の留学生
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	火曜日 (Tue) 3・4時限 (10:20～11:50)
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	新川 以智子（非常勤）
授業としての具体的到達目標 goal of the class	中上級の語彙・表現を習得し、より正確で適切な日本語作文を作成する力を向上させる。
授業の概要 course description	まずテキストを用いて、作文力・語彙力を高めるための技術を習得するための活動をし、途中から、自己PRのための作文完成に向けた活動を同時進行していく。最後にそれぞれの自己PR文の発表を行う。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第2回 読点の打ち方 第3回 呼応 第4回 書き言葉 第5回 和語と漢語 第6回 名詞化 第7回 ジャンルによる使い分け 第8回 長い文 第9回 上位概念 第10回 簡潔な表現など 第11回 含意・解釈 第12回 文献引用 第13回 接続詞 第14回 レポート構成 第15回 作文完成作業 第16回 作文発表と講評 ★進行状況などにより、変更する可能性あり
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	授業参加度 40% 課題 30% 最終作文30%
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	予習課題、復習課題がある場合は、期限までに準備、提出すること
教材・教科書 text	『上級日本語学習者対象 アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習』 鎌田美千子 仁科浩美著 スリーエーネットワーク
参考文献 references	随時 提示
留意点・予備知識 remarks	
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	授業内容に関する質問は、授業内もしくは授業終了後に直接質問するように
Eメールアドレス・HP アドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中上級アカデミックジャパニーズ（聴解A）【A5】 Upper Intermediate Academic Japanese (Listening A)
副題 subtitle	
対象学生	プレースメントテストで中上級（聴解）を指定された学生
単位 credit	2単位
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	月曜1・2時限（8:40～10:10）
授業形式 class format	対面授業
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	山崎 達郎（非常勤講師）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	講義形式の発表を聞いて、理解できる。 聞いた講義について、ノートが取れる。 理解した内容を、説明できる。 理解した内容を、短い文章にまとめることができる。
授業の概要 course description	中上級レベルの聴解のクラスです。講義形式の教材を聞き、まとまりのある内容を理解するとともに、理解した内容をまとめる（話す、書く）練習を行います。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回：授業案内、第1課「掃除」（1） 第2回：第1課「掃除」（2） 第3回：第2課「本屋」（1） 第4回：第2課「本屋」（2） 第5回：第3課「新幹線のおでこ」（1） 第6回：第3課「新幹線のおでこ」（2） 第7回：第4課「体験プレゼント」（1） 第8回：第4課「体験プレゼント」（2） 第9回：中間テスト、第5課「そば屋ののれん」（1） 第10回：第5課「そば屋ののれん」（2） 第11回：第6課「犬の肥満」（1） 第12回：第6課「犬の肥満」（2） 第13回：第7課「卵かけご飯」（1） 第14回：第7課「卵かけご飯」（2）、第8課「女性専用車両」（1） 第15回：第8課「女性専用車両」（2） 第16回：期末テスト、授業の振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	中間テスト：30% 期末テスト：30% クイズ：20% 課題、授業時のパフォーマンス：20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習：当日の授業範囲のCDを聞いてくること。 授業で行う発表の準備をすること。 復習課題：聞き取った内容について、要約を作成すること。
教材・教科書 text	東京外国語大学 留学生日本語教育センター編著『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聴解 [中上級]』2014、スリーエーネットワーク
参考文献 references	必要があれば、授業時に紹介します。
留意点・予備知識 remarks	プレースメントテストの結果に従って、授業登録をしてください。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業に関する質問等は、授業時に質問してください。

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	t.yamazaki@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>対面授業 授業方法：授業は以下のように進める予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 教材の聞き取り (2) 問題への解答 (3) 内容のまとめ（ノートのとり方） (4) ノートをもとにした再話 (5) 内容の要約
その他 other	学生には、積極的に授業に参加し、発言をすることを求めます。

授業科目名 subject [英文名]	日本語中上級（文法A）【A7】 Upper Intermediate Japanese (Grammar A)
副題 subtitle	
対象学生	中級以上の留学生
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	木曜日 (Thu) 3・4時限 (10:20～11:50)
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	新川 以智子(非常勤)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日本語文法の様々な機能を理解し、適切な場面で適切で正確な日本語の語彙と表現が使えるようになることを目標とする。
授業の概要 course description	日本語の文法を総合的に理解するために、日本語文の基本的構造を学び、各文法項目を適切に使用できる力をつけるための活動を行い、各回の課題によって理解を深めていく。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第2回 基本文型 第3回 格助詞 第4回 「はーが」 第5回 主題 第6回 指示詞 第7回 接辞 第8回 副詞・呼応 第9～10回 複合助詞 第11～12回 ヴォイス 第13回 接続詞 第14回 複文の表現 第15回 まとめ 第16回 テスト ★進行状況によって予定を変更する可能性あり
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業時の参加度40%、各回の課題達成度40%、修了テスト20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	課題が出されたら、期限までに提出すること。課題・テストは解説を聞いた後に、訂正して再提出。
教材・教科書 text	教科書はなし。資料は授業時にコピーして配布する。
参考文献 references	中級日本語文法要点整理ポイント20、日本語文法ハンドブック、考えて解いて理解する日本語教育の文法、他 授業内でも提示
留意点・予備知識 remarks	自分で考えて、疑問点を解決しようとする姿勢が望まれる。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業に関しての質問があれば、なるべく授業中にしてください。課題作成時の質問などは、Teamsのチャットで質問してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業・演習形式
その他 other	

授業科目名 subject [英文名]	日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーションA【A9】
副題 subtitle	Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-A
対象学生	留学生
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	水曜 3・4 時限
授業形式 class format	演習
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	高橋千代枝 (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	1. 日本の文化・生活にかかわる資料や文章を読み、日本についての理解を深める 2. 中上級～上級の日本語語彙・文法・表現能力を身に着け、場面によって適切な言葉遣いや態度で話せる「日本語使用者」となる 3. 自らテーマについて調べ、適切な日本語を用いてまとめ、ディスカッションやディベートの中で自分の意見を発表し、相手の意見を聞いて内容をまとめ、論理的に反論を述べたり、終着点を協働で見つけ出すことができる
授業の概要 course description	日本文化や生活にかかわる文章や資料を見て、自らテーマを見つけて出しそれについて調べ、スライドを用いて発表する。また、テーマによって授業中、ディスカッションやディベートをする場を設ける。その際、自分の意見を述べたり、相手の意見を聞いたりする態度や、冷静に分析する姿勢、異なる意見に耳を傾け互いに協力して問題解決の方法を考え出す方法を身につける。
授業の内容予定 schedule of the class	第1, 2回 オリエンテーション、Unit6 「知っておきたい日本の歴史」日本の歴史について自ら調べる・知る・まとめる・発表する、日本の大学生が持っている歴史観などを知る・ディスカッションして意見を述べる 第3, 4回 Unit8 「現代文化とポップカルチャー」自分の好きな日本のポップカルチャーについてわかりやすく説明する・紹介する・語る 第5, 6回Unit13 「産業構造と経済」日本の産業や経済について知る・調べる・まとめる、自国と比較して問題点を見つける・解決策を考える 第7, 8回Unit12 「教育と子供たち」日本の教育制度や子供を取り巻く社会問題について知る・調べる・まとめる。自国の教育制度や子供を取り巻く問題を振り返る・調べる、ディスカッション2 第9, 10回Unit10 「前進を続ける科学技術」日本の科学技術分野について知る・調べる、自国の科学技術の発展について振り返る・調べる・まとめる・発表する 第11, 12回Unit15 「多文化共生社会を目指して」 第13, 14, 15回 ここまでに勉強したテーマの中から、興味のあるトピックについてテーマを決め、グループで調べ学習、スライド作成、発表を行う
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業参加度10% 提出・発表40% 最終レポート50%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	日本の文化や生活、社会についての資料を読み、日本社会についての理解を深めつつ、自国や他国・世界との比較を通して問題点を見つけ、それに対する解決法を提言できること、自分の意見を適切な日本語を用いて述べるができるようになることを目標とします。授業中のディスカッションや教師とのやり取りの中で、積極的に自分の意見や考えを述べ、適切な日本語とはどのようなものか、意見を述べ合う際にはどのようなふるまいをすべきなのか、社会・世界の中にはどのような問題があるのかなどに常に考えを巡らせてください。授業前に必ず教科書の該当部分を読み、授業で話したことから自分でテーマを見つけ、そのテーマについて授業後調べ、まとめて提出する、そのまとめをもとに発表する、ディスカッションするという訓練をしていきます。

教材・教科書 text	『クローズアップ日本事情 1 5 日本語で学ぶ社会と文化』佐々木瑞枝著 The Japan times
参考文献 references	『中級 日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』黒崎紀子編著石塚久代ほか著 凡人社 『日本語文型辞典 改訂版』グループ・ジャマシイ くろしお出版 『新訂版 どんな時どう使う日本語表現文型辞典』友松悦子他 アルク
留意点・予備知識 remarks	日本語能力試験N2以上の日本語能力があることが望ましいが、積極的にディスカッションができればN3程度でも参加可能。It is preferable to have Japanese language proficiency at or above N2 of the Japanese Language Proficiency Test, but it is possible to participate even at N3 level if you can actively participate in discussions and groupwork.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	演習、アクティブラーニング
その他 other	

授業科目名 subject [英文名]	日本語上級（読解A）【B1】 Advanced Japanese (Reading A)
副題 subtitle	
対象学生	プレースメントテストで、上級（読解）を指定された学生
単位 credit	2単位
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	金曜 1・2時限
授業形式 class format	対面授業
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	山崎 達郎（非常勤講師）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	上級レベルの日本語の文章を、独力で読むことができるようになる。 上級レベルの語彙、文法、漢字を習得する。 読み取った内容をまとめ、自分のことばで説明できる。 日本社会の現状に対する認識を深める。
授業の概要 course description	上級レベルの読解の授業です。現代の日本社会に関する文章を読み、上級レベルの日本語能力を身につけるとともに、現代の日本社会についての理解を深めていきます。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回：授業案内、1. 遠距離結婚（1） 第2回：1. 遠距離結婚（2） 第3回：2. 「輝く女性」とは何なのか―「女性活躍」の現場―（1） 第4回：2. 「輝く女性」とは何なのか―「女性活躍」の現場―（2）、3. 父親の育児参加（1） 第5回：父親の育児参加（2） 第6回：4. 社内結婚、企業が後押し（1） 第7回：4. 社内結婚、企業が後押し（2）、5. 働き方―変わる・変える（1） 第8回：5. 働き方―変わる・変える（2） 第9回：中間テスト、6. なぜ少子化が社会問題なのか（1） 第10回：6. なぜ少子化が社会問題なのか（2）、7. 「買い物弱者」（1） 第11回：7. 「買い物弱者」（2） 第12回：8. 離れて暮らす親の見守り（1） 第13回：8. 離れて暮らす親の見守り（2）、9. ノーマライゼーションの地域をつくる（1） 第14回：9. ノーマライゼーションの地域をつくる（2）、10. 高齢社会は怖くない（1） 第15回：10. 高齢社会は怖くない（2） 第16回：6～10のまとめ、期末テスト
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	中間テスト：40% 期末テスト：40% 小テスト、課題、授業時の発表：20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習：当日の学習範囲の文章を事前に読んでくること。読んだ内容を説明できるようにしておくこと。また、テキストの問題の答えを考えてくること。 復習、課題：次の回に小テストを行うので、学習範囲に出てきた、新出語彙、文法項目、漢字を復習すること。 テキストの文章課題を書いてくること。
教材・教科書 text	宮原 彬（編著）『留学生のための時代を読み解く上級日本語 第3版』2018、スリーエーネットワーク
参考文献 references	必要があれば、授業時に紹介します。
留意点・予備知識 remarks	プレースメントテストの結果に従って、授業登録をしてください。

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業に関する質問等は、授業時に質問してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	t.yamazaki@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業 授業方法：授業は、以下のように進めることを予定しています。 (1) 当日の学習範囲の文章について、担当学生による内容の説明 (2) 発表内容に対する質疑応答 (3) 発表内容に関する検討 (4) 教師からの解説
その他 other	出席する学生には、最低1回発表の担当者となり、文章の内容について発表することを求めます。

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語上級アカデミックジャパニーズ（講義の聴解・論文の書き方A）【B3】
副題 subtitle	Advanced Academic Japanese Writing/Listening A
対象学生	留学生
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	木曜 7・8 時限
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	高橋千代枝（国際連携本部）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	<p>1) 適切に設計されたアカデミック場面における模擬講義を聞き、説得力のある論が展開されている文章構成とはどのようなものかを学ぶ</p> <p>2) 上級以上のアカデミック場面で使用される日本語の語彙・文法・表現を学び、段落と段落の関係やある程度の長さの文章の構造を分析的に見る能力を身につける</p> <p>3) 1)、2) で学んだアカデミック日本語を使い、日本語で大学のレポートや論文を書くために必要なライティングスキルを身につける</p> <p>4) 社会的、国際的なテーマについて、高度な日本語の表現を適切に使用して、大学の講義を聞いたり、議論をしたりでき、それらに基づいた論文やレポートが書けるようになる。</p>
授業の概要 course description	アカデミックレベルの日本語を使用した模擬講義を聞き、わからない語彙があっても前後の文脈から推測して大まかな内容をつかむ方法を身につけると同時に、大学の講義で使用される上級レベルの語彙・文法・表現を学びます。また、大学の講義のような、ある程度の長さがある長文を聞き、どのように論が展開されているか、段落と段落の関係はどうなっているかなどに着目して、長文の構成を分析的に見る視点を身につけます。以上のリスニングで学んだ長文の構成の仕方や、アカデミックレベルの日本語を使って、大学生に求められるレポート、論文の書き方を学びます。
授業の内容予定 schedule of the class	<p>第1回 オリエンテーション、【ライティング】ライティングの基礎Ⅰ（原稿用紙の使い方（縦書き・横書き）、文体、書きことば、段落の構成、「は」と「が」）</p> <p>第2回 【ラ】ライティングの基礎Ⅱ（文の基本、記号、引用）【リスニング】第1課「昼」①</p> <p>第3回 【リ】第1課「昼」②【ラ】一テーマを述べる－「国の特別なもの」</p> <p>第4回 【リ】第4課「知里幸恵さん」①</p> <p>第5回 【リ】第4課「知里幸恵さん」②【ラ】一理由・経過を述べる－「before/afterの文」</p> <p>第6回 【リ】第7課「フェアトレード」①【ラ】一判明していることを述べる－</p> <p>第7回 【リ】第7課「フェアトレード」②【ラ】一問題点を述べる－「少子高齢化」「新型コロナウイルス」</p> <p>第8回 中間テスト</p> <p>第9回 【リ】第6課「バイオミミクリ」①</p> <p>第10回 【リ】第6課「バイオミミクリ」②【ラ】一定義する－</p> <p>第11回 【ラ】一比較する－「意見文」</p> <p>第12回 【リ】第13課「子供の顔」①【ラ】一仕組みの説明－</p> <p>第13回 【リ】第13課「子供の顔」②【ラ】一因果関係－</p> <p>第14回 【ラ】一引用する－（データの利用、資料の引用）「論説文」</p> <p>第15回 期末テスト</p>
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業態度10%、提出物30%、最終レポート60%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	授業内で指示します

教材・教科書 text	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解[上級]』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著
参考文献 references	『大学生のための文章表現練習帳』坂東実子 国書刊行会 『改訂版 留学生のための 論理的な文章の書き方』二通信子他 スリーエーネットワーク 『新訂版 どんなときどう使う日本語表現文型辞典』友松悦子他 アルク 『日本語文型辞典 改訂版』グループジャマシイ くろしお出版
留意点・予備知識 remarks	※プレースメントテストで中上級以上、またはN2以上の日本語能力が必要です。 ※研究生や院生で、日本語で論文を書く予定がある人は受講を強くおすすめします。 ※受講生の日本語レベルや進度、興味関心によって内容を変更する可能性があります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	※2024年度は4月11日は休講になります。第1回は4月18日に行います。

授業科目名 subject 〔英文名〕	サークル活動に見る日本社会① Insights into Japanese Society through Circle Activity ①
副題 subtitle	
対象学生	Exchange Students
単位 credit	2
学期 semester	前期 Semester I
曜日 day 時限 period	月曜日 Monday 7・8時限目
授業形式 class format	講義・演習 Lecture and Action Research
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	諏訪 淳一郎 SUWA Jun'ichiro
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	サークル活動への参加を通じて日本の学生の暮らしと社会について深く理解していきます。 Through participant observation in student circles, students will deepen understanding about Japanese student life and social interactions.
授業の概要 course description	自分で選んだ弘前大学内のサークルなどの学生団体に所属し、活動の記録と考察をまとめたレポートを定期的に提出し、教員からのフィードバックを受けます。 Students will participate in a student circle activity of choice and submit reports and receive feedbacks.
授業の内容予定 schedule of the class	（状況により変更する場合があります。Subject too change.） 1. 日本の学生社会について Lecture: Social interaction of Japanese students 2. 所属サークルの発表 Present student circles 3. フィールド学習① Field Study 1 4. フィールド学習② 5. フィールド学習③ 6. 中間報告① Intermediary Report 1 7. フィールド学習④ 8. フィールド学習⑤ 9. フィールド学習⑥ 10. 中間報告② 11. フィールド学習⑦ 12. フィールド学習⑧ 13. フィールド学習⑨ 14. 最終報告 Final presentation 15. まとめ Conclusion
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	サークル活動レポート Reports 60%、発表 Presentations 40%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	授業中に指示します。 To be instructed in class.
教材・教科書 text	
参考文献 references	
留意点・予備知識 remarks	参加するサークルは第2回目の授業までに各自で見つけてください。 Student circle should be selected by the second week of course. サークル活動を途中でやめる時は必ず諏訪に相談してください。 Consult J. Suwa before you are thinking about quitting circle activity.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	日本語と英語 Japanese and English
その他 other	

授業科目名 subject [英文名]	芸術-津軽のアートとナラティブ-【教養】 Art and narrative of the Tsugaru region
副題 subtitle	芸術 - 津軽のアートとナラティブ-
対象学生	Japanese students and international students 日本人学生と留学生
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	Tuesday 火曜日 5・6 (12:40~14:10)
授業形式 class format	Lectures, fieldtrips, and practice レクチャー、フィールド、体験
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (Dept. of Int. Education and Collaboration 国際連携本部), Sekine Tatsuhito 関根達人 (Humanities and Social Sciences 人文社会科学部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○芸術ならびにその近接領域についての学識を得ること ○上記学問の知識や技能に基づいて、演奏表現や作品制作の実践や鑑賞を理解すること
授業の概要 course description	This course aims to enable students to deepen their understanding of the historical background of art forms from the Tsugaru region and the narratives they embody. They are introduced to Jomon and Ainu art forms, Tsugaru-nuri (Tsugaru lacquer-ware), Aizome and Koginzashi (indigo-dyeing and embroidery) and Neputa-e (paintings used for Neputa festival floats) as well as artists from the Tsugaru region and their works. 津軽地方のアートの歴史的背景とこめられたナラティブについて理解を深めます。縄文のアート、アイヌのアート、津軽塗、藍染め、こぎん刺し、ねぶた絵に加え津軽地方のアーティストと作品について学びます。
授業の内容予定 schedule of the class	1 : Introduction ・overview 概要 2 : Jomon art ① 縄文のアート① 3 : Jomon art ② 縄文のアート② 4 : Ainu art アイヌのアート 5 : Reflection ①/Tsugaru lacquer-ware① 振り返り①/津軽塗① 6 : Tsugaru lacquer-ware ②津軽塗② 7 : Tsugaru lacquer-ware ③津軽塗③ 8 : Kogin embroidery こぎん刺し① 9 : Indigo-dyeing 藍染 10 : Kogin embroidery こぎん刺し② 11 : Reflection ②/Artists from Tsugaru ①振り返り②/津軽地方の画家① 12 & 13 : Sannai Maruyama and Museum of Art Visit 14 : Neputa painting ① ねぶた絵① 15 : Neputa painting ② ねぶた絵② 16 : Final reflection③
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	評価は100%授業中に完成するレポートに基づいて行われます。 Evaluations will be based 100%on students'written work completed in class.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: students will be given reading assignments to prepare for classes. Review: they will be required to reflect on the content of classes in order to complete their written work. 予習: 授業に備えて資料を読みます。 復習: コースの内容を振り返りながらレポートを書きます。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A

留意点・予備知識 remarks	<p>Students will be required to pay for the materials used to make their own craftwork on fieldtrips. (Total estimated cost: approximately ¥4,000 depending on what each student chooses to make.)</p> <p>フィールドで体験する工芸制作の材料費は自己負担となります。(選ぶ作品によって¥4,000前後)</p>
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	<p>Wed (12:40-14:10) by appointment</p> <p>水曜日(12:40-14:10) 予約要</p>
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>This course will be taught in Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability to communicate with each other during class discussions and activities. 指導は日本語と英語で行われます。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。</p>
その他 other	<p>Class capacity:20 Lots will be drawn if enrollments exceed class capacity.</p> <p>定員：20名 定員を超えた場合くじ引きを行います。</p>

授業科目名 subject [英文名]	日本美術史 Japanese Art History
副題 subtitle	
対象学生	
単位 credit	2
学期 semester	Semester I
曜日 day 時限 period	Tuesday 7・8 Period
授業形式 class format	Lecture and Active Learning
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	諏訪 淳一郎 SUWA, Jun'ichiro (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	Students will develop insights into Japanese art by taking lectures and making presentation and project.
授業の概要 course description	Basic guidance about the topic will be given on lecture, followed by fieldwork and individual presentation.
授業の内容予定 schedule of the class	<p>This is a tentative schedule and is subject to change.</p> <p>April</p> <p>16 I. General guidance</p> <p>23 II-IV. Lecture in kominka (w/Fieldwork 2 class hours)</p> <p>30 V-VI. Paintings from scroll and ukiyo-e to manga & research / Deadline for Artwork proposal</p> <p>May</p> <p>7 VII. Presentation #2 (Manga and artwork)</p> <p>14 VIII. Presentation #1 (kominka)</p> <p>21 IX. The art of Kitaoji Rosanjin: A case study & Fieldwork in Tableware</p> <p>28 X. Presentation #3 (Tableware & Decor)</p> <p>June</p> <p>4 XI. Saved for Fieldwork No Class</p> <p>11 XII-XIII. Saved for Fieldwork No Class</p> <p>18 XIV. Presentation #4 (Cinema)</p> <p>25 XV. Presentation #5 (Art gallery)</p> <p>July</p> <p>2 XVI. Artwork exhibition *</p> <p>9 Spare</p> <p>23 Spare</p> <p>30 Spare</p> <p>*Equiv. to one exam hour</p>
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Discussion 20%, Presentations 60%, and Art project 20%.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Class assignments are to find an example of topic of the class. Prepare an example before class hour.
教材・教科書 text	None
参考文献 references	None
留意点・予備知識 remarks	

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Wed. 7・8 Period
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Entirely in English.
その他 other	

授業科目名 subject [英文名]	青森エクスカーシオン-Cultural anthropology of exhibitions-【教養】
副題 subtitle	
対象学生	
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	水曜日 5・6時限目
授業形式 class format	講義、発表、校外学習 Lecture, Presentation, Filed Study
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	諏訪淳一郎 (国際連携本部)、片岡太郎 (人文社会科学部) SUWA Jun'ichiro (DIEC), KATAOKA Taro (Humanities and Social Sciences)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○現地調査のノウハウを身につけること Acquire skills for field research. ○現地調査を通して、青森の地域社会や自然について、探求していくことができるようになること Acquire ability to deepen understanding about local society or nature through field research.
授業の概要 course description	○対象とした視聴覚的な側面についてフィールドワークし、考古/文化人類学的な学修を身に着けます。 Archaeological/Anthropological study based on the audiovisual aspects in field work will be conducted through observing archaeological sites. ○青森の地域性について考古学的遺跡のフィールドトリップから学習します。 Locality of Aomori will be explored through making field trips to archaeological sites and contemporary street landscape.
授業の内容予定 schedule of the class	(確定版は授業開始後にお知らせします。Schedulae will be finlized after the class starts.) 1. 授業テーマの概説と学習の要領について Introduction 2. 縄文時代とは何か About the Jomon Age 3. 収集と展示の文化史 Cultural history of collection and exhibition 4. 狩猟採集民とアニミズム Hunter-gatherers&Animism 5. 幻想としての縄文 The Jomon Imaginary 6. フィールドトリップの準備 Preparation of FT 7. 青森県内の縄文遺跡群と遺跡展示について Archaeological sites and display in Aomori 8～13. フィールドトリップ(終日)、是川遺跡および小牧野遺跡(授業5回分を使って青森と八戸まで行きます) Field study in exhibition: Korekawa and Komakino sites. 14～15. フィールドトリップ発表 Presentation on FT
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	発表80%、ペーパー20% Presentation 80%. Reflection papers 20%.
準備学習(予習・復習) 等の内容 preparation for class	授業内容に関する予備の知識とまとめに取り組む。Study of and reflection on in-class materials.
教材・教科書 text	None
参考文献 references	TBA

留意点・予備知識 remarks	発表を含む授業のすべてを英語で行います。 This course is taught in English. フィールドトリップ（授業9～13に相当）は週末の終日実施します。 Field trip takes a whole day and is scheduled in weedend. フィールドトリップが実施できない場合は、映像を視聴してもらいます。 In case if field tripis cancelled, a video of archaeological sites is viewed.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日9・10時限目 or Team
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	In English.
その他 other	

授業科目名 subject [英文名]	文学-日本の絵本の世界-【教養】 The world of Japanese picturebooks
副題 subtitle	文学-日本の絵本の世界-
対象学生	International students and Japanese students 留学生と日本人学生
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	Wednesday 水曜日 7・8 (14:20～15:50)
授業形式 class format	Lectures、discussions レクチャー、ディスカッション
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ Hannah Joy Sawada (国際連携本部 Dept. of Int. Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○文学ならびにその学問の近接領域についての学識を得ること ○上記学問の知識や技能に基づいて、文学と歴史・社会の関連を学びその意義を理解できるようにすること
授業の概要 course description	This course explores the world of Japanese picturebooks. It harnesses picturebook theory to examine how picturebooks convey meaning. It then traces the evolution of picturebooks in Japan and examines predominant themes which recur in widely-read works by contemporary picturebook makers. 絵本論を活用し、絵本の日本での展開をたどり、今日広く読まれている作品の主たるテーマを検証します。
授業の内容予定 schedule of the class	Sessions 1-2: Introduction and overview 概要 Sessions 3-5: How picturebooks make meaning 絵本と意義 Sessions 6-8: A history of Japanese picturebooks 日本の絵本の歴史 Sessions 9-13: Contemporary picturebook makers and their works 現代の絵本作家と作品 Sessions 14-15: Final reflections 振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluations will be based 100% on students' written work, completed in class. 評価は100%授業で完成させるレポートに基づいて行われます。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be assigned readings. テキストを予習します。
教材・教科書 text	Learning materials will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	This course will be taught in Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other during class discussions. 指導は日本語と英語で行います。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Wed (12:40-14:10) by appointment 水曜日 (12:40-14:10) 予約要 Wednesday 9・10 by appointment.

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Classes will be conducted in person. Teams will be used in the event of online instruction being required. メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。
その他 other	Class capacity:20 Lots will be drawn if enrollments exceed capacity. 定員:20名 定員を超えた場合はくじ引きを行います。

授業科目名 subject 〔英文名〕	文学 - 日本の戦争文学 - 【教養】 Japanese war literature
副題 subtitle	文学 - 日本の戦争文学 -
対象学生	International students and Japanese students 留学生と日本人学生
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	Thursday 木曜日 5・6 (12:40～14:10)
授業形式 class format	Lectures、discussions レクチャー、ディスカッション
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (Dept. of Int. Education and Collaboration 国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○文学ならびにその学問の近接領域についての学識を得ること ○上記学問の知識や技能に基づいて、文学と歴史・社会の関連を学びその意義を理解できるようにすること
授業の概要 course description	This course harnesses postwar literature as a means of gaining a deeper understanding of how WWII is remembered in Japan. We will read fiction, non-fiction, comics and picturebooks which portray war as well as watching their screen versions. 戦後の文学を活用し、第二次世界大戦が日本においてどのように記憶されているのか理解を深めることを目標とします。戦争に関連するフィクション、ノン・フィクション、漫画や絵本、映画により、検証します。
授業の内容予定 schedule of the class	Changes may be made to the following schedule if the need arises. 状況により下記の予定を変更する場合があります。 Session 1: Introduction 概要 Session 2: Historical background 歴史的背景 Session 3-4: Harp of Burma 『ビルマの竖琴』 Session 5: Bones 『骨』 Session 6-7: Unexpected muteness 『不意のおし』 Session 8-10: Barefoot Gen 『はだしのゲン』 Session 11-12: Picturebooks depicting the war years 戦争をテーマとする絵本 Session 13: Hiroshima no Pika and The Hiroshima Panels 『ひろしまのピカ』と『広島図』 Session 14-15: The Friends 『夏の庭』
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluation will be based 100% のwritten submissions. 評価は100%レポートによって行われます。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Students will be given reading assignments to prepare for classes. Review: They will be required to reflect on the content of classes to complete their written work. 予習: 授業にそなえて作品を読みます。 復習: コースの内容を振り返りながらレポートを書きます。
教材・教科書 text	Learning materials will be provided. 資料を配布します。
参考文献 references	N/A

留意点・予備知識 remarks	This course will be taught in Japanese and English. Japanese students and International students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other during class discussions. 指導は日本語と英語で行います。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Wed (12:40-14:10) by appointment 水曜日 (12:40-14:10) 予約要
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Classes will be held in person. Teams will be used in the event of online instruction being required. 授業は対面で行います。メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。
その他 other	Class capacity: 20 Lots will be drawn if enrollments exceed class capacity. 定員: 20名定員を超えた場合はくじ引きを行います。

授業科目名 subject [英文名]	芸術-茶室の美学-【教養】 The Aesthetics of the Japanese Tearoom
副題 subtitle	茶室の美学
対象学生	International Students and Japanese students
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	Thursday 木曜日9・10 (16:00~17:30)
授業形式 class format	Lectures, groupwork and fieldwork レクチャー、グループワーク、見学
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部) Tada Megumi 多田恵実 (教養教育開発実践センター) Katagiri Sanae 片桐早苗 (教養教育開発実践センター)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○芸術ならびにその近接領域についての学識を得ること ○上記学問の知識や技能に基づいて、演奏表現や作品制作の実践や鑑賞を理解すること
授業の概要 course description	This course introduces the aesthetics of Japanese tea ceremony and the room in which it takes place. We will watch portrayals of tea ceremony on screen and visit a tearoom to gain a basic understanding of this art before learning in more detail about the matcha, wagashi, flower arrangement, calligraphy, and traditional Japanese attire integral to its practice. この授業は茶道と茶室の美学の入門です。映画の鑑賞や茶室の訪問を通して茶道を紹介し、抹茶、和菓子、華道、書道、和装について理解を深めます。
授業の内容予定 schedule of the class	Sessions 1~4: An Introduction to the tearoom, utensils and philosophy central to Japanese tea ceremony. 茶道の茶室、道具や精神の基礎知識 Sessions 5~7: The practice of tea ceremony and a tea room visit 茶道の体験、茶室へ訪問 Session 8: Wagashi和菓子 Sessions 9~10: Calligraphy 書道 Sessions 11~12: Japanese clothing 和装 Sessions 13~14: Ikebana 生け花 Session 15: Final reflections
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluations will be based 100%on student's written work. 評価は100%レポートに基づいて行われます。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be asked to carry out group work to prepare for classes. They will be required to review the content of classes to submit their written work. 予習としてグループワークを行い、授業内容を復習してレポートを提出します。
教材・教科書 text	Learning materials will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	This course will be taught in Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other to complete group work. 指導は日本語と英語で行います。日本人学生と留学生がgroupワークを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Wed 12:40-14:10 by appointment 予約要

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Classes will be conducted in person, and Teams used if circumstances demand. 授業は対面で行い、メディア授業に移行した場合はTeams で行います。
その他 other	Class capacity:20 Lots will be drawn if enrollments exceed capacity. Students will be required to purchase materials estimated to cost approximately ¥3000. 定員:20名 定員を超えた場合はくじ引きを行います。材料費約¥3000は自己負担となります。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップA-リンゴ栽培、商品開発、マーケティング- Internship A-Apple cultivation, product development and marketing-
副題 subtitle	インターンシップA：リンゴ栽培、商品開発、マーケティング
対象学生	Exchange students who can converse in basic Japanese (Some English support available) 入国し、日本語で日常会話のできる交換留学生（英語のサポートあります）
必修・選択	選択
単位 credit	(2 Credits) 2単位
学期 semester	(I Semester) 前期
曜日 day 時限 period	Monday 月曜日 9・10 (16:00～17:30)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部) Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in Apple cultivation and related industries, for which Aomori prefecture has the largest share in Japan. このインターンシップでは 青森県が全国で最大のシェアを誇るリンゴ栽培と関連業界で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	It gives students first-hand experience of work in cultivation, product development and marketing. 学生に栽培、商品開発とマーケティングの実体験をさせるものです。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will work at an Apple Orchard, Ridun Co. Ltd. for 6 Saturdays during the first semester (Dates to be negotiated). They will be required to shadow and support a wide range of staff duties. 前期中の土曜日6回リンゴ農園株式会社リズンに勤務し各種の業務をサポートする(日程は交渉後確定)。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料の熟読をします。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポートオフィスへご連絡下さい。
授業形式・形態及び授業 方法 class format	After preliminary guidance, students will undertake tasks they are assigned at their workplace. They will submit a final report on completion. 事前指導を受けてからインターンシップ先で課題に取り組みます。終了時にレポートを提出します。

留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants. They will be required to take a short local train ride from a station close by the University in order to reach the orchard. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。大学の近くの駅から電車で通勤します。
オフィスアワー Office hour	Wednesday 12:40～14:10 by appointment.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	N/A

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップA-観光PR- Internship A-Tour Promotion-
副題 subtitle	インターンシップA: 観光PR
対象学生	International students with upper intermediate Japanese language proficiency or above 日本語中上級以上の語学力を有する交換留学生
単位 credit	2 Credits 2単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	Friday 金曜日 5・6 (12:40~14:10)
授業形式 class format	Internship (preparatory instruction/workplace experience/reflection) インターンシップ(事前指導/職場実習/振り返り)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in the Japanese or Japan-related tourist industry. このインターンシップ日本、又は日本に関係した観光産業で必要とされるスキルを身に付けることを目的とします。
授業の概要 course description	It offers first hand experience in working with the officials of Hirosaki City International Tourism Division. 弘前市観光部国際広域観光課のスタッフとともに働く機会を提供します。
授業の内容予定 schedule of the class	1: Preparatory instruction 事前指導 2: Work with city officials, including translating promotion materials, writing posts for the Tourism division's instagram account, and taking part in on-site training for Japanese guides. 市役所職員とともに作業し、資料の翻訳、観光部のインスタグラムの投稿、ガイド学校のフィールドワークに参加。 3: Final reflections and report. 振り返りと活動報告レポート。
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read resources before attending meetings. 打ち合わせに先立って資料の熟読が求められます。
教材・教科書 text	Resources will be provided. 関連資料を提供します。
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants. Upper intermediate Japanese language proficiency or above is required. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。中上級以上の日本語能力が必要となります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Wednesday 水曜日 12:40~14:10 by appointment.

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>Students will be required to go to the city office to attend staff meetings, which may end later than 14:10, so students who plan to take another class from the next period will not be able to participate in this internship. This internship will also involve a measure of weekend work. Dates to be announced.</p> <p>学生が弘前市役所で出席する会議は14:10以降に終了する場合があるため、14:20から別な授業を受ける予定の学生はこのインターンシップに参加できません。なお、一定の週末の勤務も含みます。日程は後日調整となります。</p>
その他 other	<p>Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this company is located by also enrolling in "Art and narrative of the Tsugaru region" (Tues. 12:40～14:10)</p> <p>このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽のアートとナラティブ」（火曜日12:40～14:10）をも履修することを強くお勧めします。</p>

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップA-シティ・プロモーション- Internship A-City Promotion-
副題 subtitle	インターンシップA：シティ・プロモーション
対象学生	Exchange students with upper-intermediate Japanese proficiency or above 日本語中上級以上の語学力を有する交換留学生
必修・選択	選択
単位 credit	(2 Credits) 2単位
学期 semester	(I Semester) 前 期
曜日 day 時限 period	Friday 金曜日 5・6 (12:40～14:10)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in Japan. 日本で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	It gives students who have arrived in Japan first-hand experience of work in municipal administration. このインターンシップは入国できた学生に地元自治体事務に関わる仕事の実体験をさせるものです。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will be required to work at the Hirosaki City Office during their free periods, and pre-arranged weekends when involving city events (Dates to be negotiated and confirmed). Duties will pertain to city promotion and are anticipated to involve gathering information and preparing promotion materials. A measure of remote work may be incorporated, depending on circumstances. 学生の空きコマやイベントと関わる場合はあらかじめ調整した週末、弘前市役所に勤務する。業務は、リソースが豊富な弘前市が近年戦略的に進めている国内外に向けた情報発信などのシティプロモーション事業に関わるもので、弘前市の情報の発掘、PR映像、チラシ等の編集、作成、効果的活用の補助などを行う。状況により、実習の一部をリモートで行うかもしれません。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students are required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料を熟読します。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
授業形式・形態及び授業 方法 class format	Preparatory sessions will be held before work at the city office begins. 勤務前に事前指導を行う。

留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants who should have upper intermediate level of Japanese or above. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。中上級以上の日本語能力が必要となります。
オフィスアワー Office hour	Wednesday 12:40～14:10 by appointment.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where Hirosaki City is located by also enrolling in "Art and narrative of the Tsugaru region" (Tues. 12:40～14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽のアートとナラティブ」（火曜日12:40～14:10）も履修することを強くお勧めします。

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップA-Webマーケティング- Internship A-Web marketing-
副題 subtitle	インターンシップA: Webマーケティング
対象学生	International exchange students with a high level of English and/or other languages. 英語や他の言語の高い能力を持った交換留学生
単位 credit	2 Credits 2 単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	Monday 月曜日 7・8 (14:20～15:50)
授業形式 class format	Internship (preparatory instruction/workplace experience/reflection) インターンシップ(事前指導/職場実習/振り返り)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire skills required for working in a Japanese workplace through first-hand experience under the supervision of Consis Co.Ltd. このインターンシップは 株式会社コンシスの指導下で、日本の職場で必要とされるスキルを身に着けることを目的とします。
授業の概要 course description	After initial preparatory instruction students will translate tourism-related websites operated by Consis Co. Ltd. into other languages and make this information available on the internet. They will conduct marketing analysis of the information they have posted and utilize this for further transmission of information and tour content development. They will also support consultation for prefectural businesses and organizations. 学生は株式会社コンシスが運営している観光関連情報サイトを多言語化することにより、当該言語が主なコミュニケーション手段とする人たちに情報発信を行う。また発信した情報のマーケティング分析や、情報発信や観光コンテンツの開発に活かす。県内企業・団体のコンサルティングサポートを実施する。
授業の内容予定 schedule of the class	<u>Changes may be made to the following schedule depending on circumstances:</u> Sessions 1～2: Preparatory instruction. (Writing a personal history, first meetings and manners, communications related to the workplace) Sessions 3～13: Weekly meetings with supervisors, and submission of tasks outlined above Sessions 14～15: Final reflections and report <u>状況によりスケジュールを変更する場合があります。</u> 1～2: 事前指導 (履歴書の書き方、会社訪問やマナー、職場に必要なコミュニケーション) 3～13: ミーティング・課題提出 14～15: 振り返り、最終レポート
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students are required to read and familiarize themselves with resources. 関連資料を熟読します。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料が配布されます。

参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Numbers of participants are strictly limited, and a high standard of conduct is required of all. Participants must attend all meetings, and submit all tasks. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。すべてのミーティングに出席し課題を完成させなければなりません。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Office hour Wed 5・6 (12:40-14:10) by appointment. オフィス・アワー水曜日5・6 (12:40～14:10) 予約要
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction will be mostly given in Japanese but English support will be available. Students will be required to go to the company office to attend staff meetings, which may end later than 15:50, so students who plan to take another class from the next period will not be able to participate in this internship. 指導は主に日本語で行いますが英語のサポートもあります。学生が会社で出席する会議は15:50以降に終了する場合があるため、16:00から別な授業を受ける予定の学生はこのインターンシップに参加できません。
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this company is located by also enrolling in "Art and narrative of the Tsugaru region" (Tues. 12:40～14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽のアートとナラティブ」(火曜日12:40～14:10)をも履修することを強くお勧めします。

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップA-地域ツーリズム- Internship A-Regional Tourism-
副題 subtitle	インターンシップA：地域ツーリズム
対象学生	Exchange students who have upper intermediate Japanese language proficiency OR a high level of English along with a minimum of intermediate level Japanese. 中上級以上の日本語能力あるいは高い英語能力と中級日本語能力を持つ交換留学生
必修・選択	選択
単位 credit	(2 Credits) 2単位
学期 semester	(I Semester) 前 期
曜日 day 時限 period	Wednesday 水曜日 9・10 (16:00～17:30)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部) Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in the tourist industry. このインターンシップは 観光業界で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	It gives students first-hand experience of work in regional tourism. 学生に地域ツーリズムの実体験をさせるものです。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will work at a tourist facility, Tsugaru Han Neputa Mura for 6 Saturdays spread out over the semester (Dates to be confirmed.) They will be required to support a wide range of staff duties in addition to translating printed materials and coaching staff in the pronunciation of their own language. A measure of remote work may be assigned, depending on circumstances. 6日間土曜日に津軽藩ねぶた村に勤務する(日程は後日確定)。翻訳やスタッフの発音指導を行い、各種の業務をサポートする。状況により、実習の一部をリモートで行うかもしれません。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料の熟読をします。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。

授業形式・形態及び授業方法 class format	After preliminary guidance, students will undertake tasks they are assigned at their workplace. They will submit a final report on completion. 事前指導を受けてからインターンシップ先で課題に取り組みます。終了時にレポートを提出します。
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。
オフィスアワー Office hour	Wednesday 12:40～14:10 by appointment.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this company is located by also enrolling in "Art and narrative of the Tsugaru region" (Tues. 12:40～14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽のアートとナラティブ」（火曜日12:40～14:10）をも履修することを強くお勧めします。

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップA-ホスピタリティ経営- Internship A-Hospitality management-
副題 subtitle	インターンシップA：ホスピタリティ経営
対象学生	International exchange students who have upper intermediate Japanese language proficiency OR a high level of English along with a minimum of intermediate level Japanese. 中上級以上の日本語能力あるいは高い英語能力と中級日本語能力を持つ交換留学生
単位 credit	2
学期 semester	I Semester (前期)
曜日 day 時限 period	Friday 金曜日 9・10 (16:00~17:30)
授業形式 class format	Instruction, internship, reflection 指導、インターンシップ、振り返り
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部) Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in the hospitality industry. このインターンシップはホスピタリティ業界で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	Students will work at a private lodging (Minpaku) facility, for 6 sessions on alternative weeks. (Dates to be confirmed.) They will be required to support a wide range of staff duties in addition to translating printed/ website promotion materials into their own languages. Remote tasks will be assigned, to be completed on the weeks they are not on duty. 6回(隔週)民泊に勤務する(日程は後日確定)。スタッフの各種の業務をサポートし資料やHPの翻訳を行う。勤務しない週はリモートで資料作成に取り組む。
授業の内容予定 schedule of the class	1. Preliminary instruction 事前指導 2. Internship インターンシップ 3. Reflection 振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料の熟読をします。
教材・教科書 text	N/A
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required. The six sessions which take place at the lodging facility will take up the entire Friday afternoon from 12:40~17:30. Students who intend to enroll in other classes on Friday afternoons cannot participate in this internship. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。6回の勤務は金曜日12:40~17:30に実施しますので、他の金曜日の午後の授業に履修している場合はこのインターンシップに参加できません。

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Wednesday 12:40～14:10 by appointment.
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	After preliminary guidance, students will undertake tasks they are assigned at their workplace. They will be required to submit a final report. 事前指導を受けてからインターンシップ先で課題に取り組みます。終了時にレポートを提出します。
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region by also enrolling in "Art and narrative of the Tsugaru region" (Tues. 12:40～14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽のアートとナラティブ」（火曜日12:40～14:10）をも履修することを強くお勧めします。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	TESOL-ティーチング・プラクティス I A TESOL-Teaching practice I A
副題 subtitle	
対象学生	International students who are native speakers of English , or have a high level of English language proficiency
単位 credit	2
学期 semester	Semester I 前期
曜日 day 時限 period	Tuesday 7・8 (14:20～15:50)
授業形式 class format	Instruction, preparation, teaching practice and reflection.
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Tatsuta Natsuko (Institute for Promotion of Higher Education), Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Ed and Collaboration)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	This class aims to provide instruction and practical training in teaching English to speakers of other languages.
授業の概要 course description	Participants will receive instruction and supervision regarding preparation of activities/exercises aimed to enhance English language acquisition. They will implement this content in classes held by the lecturer for Japanese students.
授業の内容予定 schedule of the class	1. Meetings (instruction, preparation and reflection) will be undertaken on Tuesdays 7・8. 2. Participants will practice teaching the content they have prepared at a number of English language classes for Japanese students which are held on the following days/times: Tuesday 1・2, Wednesday 1・2, Wednesday 3・4, or Thursday 1・2. (Days for practice will be negotiated, not to clash with other classes that participants are required to enroll in)
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	Reflection paper of teaching practice: 80% Final paper: 20%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Participants are required to attend meetings on Tuesdays 7・8 to prepare for their teaching practice, and will practice teaching at least once a week, for a total of 13 times at English language classes and complete a reflection paper after each teaching practice. (April 30-July 30).
教材・教科書 text	N/A
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Both a high level of English language proficiency and a basic level of Japanese language proficiency or above are required in addition to enthusiasm regarding education.
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	総合教育棟2F B206-4 Tuesdays 10:30-12:00 Thursdays 10:30-12:00
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	tatsuta*hirosaki-u.ac.jp (replace the @ with *)
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction, practice and reflection
その他 other	A certificate of completion will be issued to those who have earned credits.

授業科目名 subject 〔英文名〕	児童教育-ティーチング・プラクティスIB Childhood Education-Teaching practice IB
副題 subtitle	
対象学生	Exchange students who have upper intermediate Japanese language proficiency OR a high level of English along with a minimum of intermediate level Japanese. 中上級以上の日本語能力あるいは高い英語能力と中級日本語能力を持つ交換留学生
単位 credit	2
学期 semester	Semester I 前期
曜日 day 時限 period	Friday (金) 7・8 (14:20～)
授業形式 class format	Instruction, preparation, practice, reflection 指導、準備、実習、振り返り
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (Dept. of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This class aims to give students a deeper understanding of childhood education in Japan and an opportunity to practice teaching children multicultural understanding. 日本における児童教育について理解を深め、多文化理解を育む教育の実習を行う。
授業の概要 course description	Participants will be given initial instruction, and prepare activities to foster multicultural understanding for children, primarily of kindergarten and elementary school age. They will implement these activities in educational facilities, and reflect on their practice to improve outcomes. 事前指導後、保育園児や小学生向けに国際理解を育むアクティビティーを準備し、教育機関で実習を行う。実習後、振り返り、改善方法を考える。
授業の内容予定 schedule of the class	1. Initial Instruction and preparation 事前指導、準備 2. Core teaching practice at Kindergarten/after school facilities every other week 隔週、保育園や児童館で実習 (Additional visits to other facilities may also be undertaken, for further experience 他の施設を訪問する機会もあるかもしれません。) 3. Reflection on activities 実習の振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Participants grades will be based on evaluations of performance completed by staff of facilities visited, and their own reflections. 実習先の評価と振り返りレポートに基づいて採点を行います。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will prepare for teaching practice and reflect on their performance to consider possible improvements. 実習内容の準備をし、振り返りを通して改善を検討する。
教材・教科書 text	N/A
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required. On days that practice is undertaken at educational facilities, students will not be able to return to University until 17:30, so they must keep this time slot free. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。実習を実践する日は17:30まで大学に戻れませんので、この時間帯を開けておく必要があります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Wednesday 5・6 by appointment

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction/practice in person.
その他 other	Students who require certification that they have participated in teaching practice in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int.Education and Collaboration. 成績証明書に加え実習に参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。

授業科目名 subject [英文名]	地域観光と地域プロモーションA Tourism and Regional Promotion A
副題 subtitle	
対象学生	日本語もしくは英語が中級レベル以上の外国人留学生 International students who have at least intermediate proficiency either in Japanese or English
単位 credit	2 単位 (2 Credits)
学期 semester	前 期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	木 1・2 (1・2 Thursday)
授業形式 class format	講義、ディスカッション、校外学習、発表 Lectures, Discussions and Presentations
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	鹿嶋 彰 (非常勤講師) KASHIMA, Akira
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	津軽地域の具体的なイメージを作り、それをもとに観光を核にした地域プロモーションについて、外国人留学生の視点ならではの建設的な意見を持てるようになることを到達目標とします。 The goal is to create a concrete image of the Tsugaru region and, based on that image, be able to offer constructive opinions from the perspective of an international student regarding regional promotion centered on tourism.
授業の概要 course description	○観光を通じた地域プロモーションの話題を通して、弘前を中心とした津軽地域について学びます。前期は特に津軽の春、夏に関係した話題を中心に上げます。 Learn about the Tsugaru region centered on Hirosaki through the topic of regional promotion through tourism. The first half will focus on topics related to spring and summer in Tsugaru. ○津軽地域の多様な観光資源とその可能性について検討します。 Learn about the Tsugaru region centered on Hirosaki through the topic of regional promotion through tourism.
授業の内容予定 schedule of the class	○津軽の自然、歴史、食、農業、祭り等について検討し、皆さん自身の留学生の視点からの津軽地域プロモーションプランの作成に繋がります。 We will discuss Tsugaru's nature, history, food, agriculture, festivals, etc. and help you create your own Tsugaru region promotion plans from the perspective of an international student. ○「弘前を中心とした津軽の地理歴史」、「津軽の祭り（特に弘前の桜祭り、県内のねぶた、ねぶた祭り）」、「白神山地を中心とした津軽の自然」、「りんご」等に関連した話題について学び、これらの観光資源としての可能性の検討、これらを用いた地域プロモーションプランの作成を行います。具体的な授業プランは1回目の授業で説明します。 Learn about topics related to " Geography and history of Tsugaru centered on Hirosaki" , " Tsugaru's Festivals in Tsugaru (especially Hirosaki's cherry blossom festival, Neputa and Nebuta festivals in the prefecture)", "Nature of Tsugaru centered on the Shirakami Mountains", and "Apples" etc, and explore those tourist resources. We will examine the potential of those as tourism resources and create regional promotion plans using them. The specific lesson plan will be explained in the first meeting. ○2, 3回程度、フィールドトリップを実施する予定です。フィールドトリップは週末に行う可能性があります。 We plan to conduct field trips two or three times. Field trips may take place on weekends.
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	最終レポート50%, 授業参加（課題の達成度等を含む）50% Final written work 50%, Productive participation 50%

準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	<p>○資料がある場合は、事前によく読んでください。 Students are required to read carefully related resources.</p> <p>○扱うトピックに関連のあるフィールドワーク、インターンシップを経験している学生は、自分の経験、知識を言語化して、他の学生とシェアできるように準備をしてください。</p> <p>Students who have experience in fieldwork or internships related to the topics covered should be prepared to verbalize their experiences and knowledge and share them with other students.</p>
教材・教科書 text	資料を配ります。Handouts will be provided.
参考文献 references	TBA
留意点・予備知識 remarks	<p>○授業は日本語、英語の両方を使って行います。主に使用する言語は、一回目の授業で決めます。 Classes will be conducted in both Japanese and English. The main language to be used in the classroom will be decided during the first meeting.</p> <p>○参加者の人数は20名程度までとします。 The number of participants is limited to around 20 people.</p> <p>○参加学生は、地域のフィールドトリップを含む授業やインターンシップ関連授業を履修済みもしくは平行して履修することを強くお勧めします。 It is strongly recommended that participating students have already completed or taken concurrently courses that include local field trips and/ or internship-related courses.</p>
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	<p>質問は、授業の前後かemailでしてください。 Please ask questions before or after class or by email if you have any.</p>
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	latte098@gmail.com
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義、グループディスカッション、プレゼンテーションによる授業です。 Lectures, group discussions, presentations
その他 other	

授業科目名 subject [英文名]	自主研究 IA Seminar IA
副題 subtitle	
対象学生	授業担当教員が許可した学生または授業担当教員が管理するJASSOプログラムで奨学金を受けている学生 Sected students or the students under designated JASSO Scholarship
単位 credit	2
学期 semester	前期 Semester I
曜日 day 時限 period	木曜日7・8時限目または個別相談 Thursday by appointment
授業形式 class format	ゼミ Seminar
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	諏訪淳一郎 SUWA Jun'ichiro (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	それぞれの学修計画で志向する専門知識を深化させる。
授業の概要 course description	与えられたテーマに関する文献購読、討論、論文の作成。テーマや教材は原則として学生が選ぶ。 Readings, discussions and/or essay writing about the course materials. The materials are chosen by the student.
授業の内容予定 schedule of the class	授業担当教員と学生で適切な内容について話し合いながら進めていく。 Based upon discussion between the student and instructor
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	成果物によって採点する。 Based on assignments.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	その都度指示を出す。 TBA
教材・教科書 text	未定 TBA
参考文献 references	未定 TBA
留意点・予備知識 remarks	JASSOプログラムで指定している場合は必ず履修すること。 Requirement for designated JASSO programs absolutely.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 9・10 時限目 Wednesday 9・10 period
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	日本語または英語 JP or EN (student's choice)
その他 other	JASSOプログラムが不採択であった場合は学修計画の提出により開講を判断する。 When there is no JASSO scholarship, individual students might be able to enroll upon submitting a study plan.

授業科目名 subject 〔英文名〕	自主研究IB Seminar IB
副題 subtitle	
対象学生	授業担当教員が許可した学生 Students who have the approval of the lecturer
単位 credit	2
学期 semester	前期・I Semester
曜日 day 時限 period	個別相談 By appointment
授業形式 class format	自主研究 Independent research
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ Hannah Joy Sawada (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	学生がこの授業において志向する専門知識を深めること。To deepen the understanding of the student in their chosen field of knowlege.
授業の概要 course description	選ばれたテーマに関する日本語または英語の文献購読と対論や英文課題作成。Readings, discussions in Japanese or English and/or written assignments in English.
授業の内容予定 schedule of the class	授業担当教員と学生で適切な内容について話し合いながら進める。Based on discussion between the student and instructor.
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	成果物に基づいて採点する。Based on assignments.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	その都度指示を出す。TBA
教材・教科書 text	未定 TBA
参考文献 references	未定 TBA
留意点・予備知識 remarks	指導の可能な分野は近代の日本文学、特に津軽地方の文学やその文化的背景、女性による文学と歴史的背景、戦後に書かれた戦争文学や絵本です。指導について許可を求める際は具体的な学習計画を持参してください。Supervision can be requested for independent research in regional studies or modern Japanese literature, particularly literature of the Tsugaru region and/or its cultural background, women's literature and its history, war literature written in post war Japan and picture books. Students are asked to bring a concrete study plan when they come to request supervision.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜12:40～14:10 予約要 Wednesday 12:40～14:10 by appointment
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Readings and disscussions in Japanese and English, in accordance with students' needs. Written assignments to be submitted in English. 文献購読や対論は学生のニーズに合わせて日本語、あるいは英語で取り組みます。課題は英語で提出していただきます。
その他 other	

授業科目名 subject 〔英文名〕	自主研究IC Seminar IC
副題 subtitle	ピアサポートで学ぶ研究の方法 Peer Support learning for Research skills
対象学生	研究したいテーマのある学生（全レベル） The students with reserch topics (all levels of Japanese welcome)
単位 credit	2
学期 semester	前期 Semester I
曜日 day 時限 period	月曜午後（相談の上決めます） Monday afternoon(decide after meeting)
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	高橋千代枝（国際連携本部）、片桐早苗、ヤグノ・ライク（教育推進機構） Chiyoe, TAKAHASHI (D-IEC), Sanae Katagiri, Reik Jagno (Liberal Arts Ed. Center)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	<p>・アカデミックレベルで自ら関心のあるテーマについて「研究」をする方法がわかる ・世界に存在する課題について理解を深め、クリティカルシンキングの考え方を身につける ・文化背景が異なる人と協働するために必要な異文化理解能力や、自文化を客観的に見る力、世界を舞台に活躍するためのコミュニケーション能力等、多文化共生社会を構成する一員として必要とされる能力を身につける ・論理的・客観的な意見を構築し、自分の主張をわかりやすく世界に発信する方法を学ぶ</p> <p>-To be able to carry out an academic “research” on topics of your interest. - To deepen your understanding of global issues and think critically. -To develop communication skills and gain perspectives necessary for cooperation in a multicultural society. -To be able to present logical and objective arguments.</p>
授業の概要 course description	<p>各自のテーマについて、クラスメートとディスカッションしながら、アカデミックレベルの「研究」の方法について学びます。世界に存在する課題について批判的な視点からの分析・考察をし、自らの意見を客観的根拠を基に論理的に構築し、その主張をわかりやすく世界に発信する方法を学びます。</p> <p>Students will learn about academic research methods and discuss their own topics with classmates. Students will also learn to communicate their arguments clearly and concisely. The course will teach critical thinking skills, enabling students to analyse issues objectively and formulate logical opinions based on evidence.</p>
授業の内容予定 schedule of the class	<p>授業内で以下の内容をクラスメンバーとペア、またはグループで行う ①テーマ決め、②リサーチ、③ディスカッション、④主張をプレゼンテーションの形でまとめる、⑤発表、質疑応答 具体的な進度は相談の上決定する。学生だけで授業時間外に作業する場合もある。</p> <p>In pairs or groups, student will complete the following class activites. ① Choosing a topic, ② Conducting research, ③ Participating in a discussion, ④ Summarizing the argument in a presentation format, ⑤ Delivering a presentation and particilating in a Q&A session. The specific detail class content for this course will be determined accodring to the students needs in the orientation session. Students may work outside of class hours.</p>
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	<p>クラスメートとの協働作業への参加態度40%、最終発表60% Active participation in collaborative work with classmates 40%, Final presentation 60%</p>

準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	自分のテーマ、及びクラスメートのテーマに関する情報収集、最終発表に向けての準備 Collect information about your topic and your classmates' topics, and prepare for the final presentation.
教材・教科書 text	『留学生のための 考えを伝えあうプレゼンテーション』仁科浩美 くろしお出版
参考文献 references	なし
留意点・予備知識 remarks	N3以上の留学生は、最終発表を日本語で行うことが望ましい。難しい場合は、英語での発表を認める。教室内でディスカッションを行う場合は、日本語、もしくは英語を使用する。 If you are N3 or above, it is highly recommended that you present in Japanese. English is also acceptable. The class discussion and communication between classmates will be either in Japanese or English.
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。Make appointment by e-mail.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	演習、ピアラーニング、アクティブラーニング
その他 other	※本授業には、弘前大学はやぶさカレッジの日本人学生が参加する予定です。 *Hirosaki University Hayabusa College students will participate in this class as a part of their curriculum. (Hayabusa College is a special course to aim to foster a global leader.)

授業科目名 subject [英文名]	自主研究ID Seminar ID
副題 subtitle	
対象学生	授業担当教員が許可した留学生 International Students who have the approval of the lecturer
単位 credit	2
学期 semester	前期・Semester I
曜日 day 時限 period	金曜日 (Friday) 9・10(16:00~17:30)
授業形式 class format	自主研究 Independent research
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	澤田真一 Sawada Shinichi (人文社会科学部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	学生がこの授業において志向する専門知識を深めること。 To deepen the understanding of the student in their chosen field of knowledge.
授業の概要 course description	選ばれたテーマに関する日本語または英語の文献購読, 対論や課題作成。日本人学生とゼミに参加し、そこで研究成果を発表する。 Readings, discussions and written assignments in Japanese or English. Participation in seminar held with Japanese students, and presentations of findings there.
授業の内容予定 schedule of the class	授業担当教員と学生で適切な内容について話し合いながら進める。 Based on discussion between the student and instructor.
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	成果物に基づいて採点する。Based on assignments and presentations
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	その都度指示を出す。TBA
教材・教科書 text	未定 TBA
参考文献 references	未定 TBA
留意点・予備知識 remarks	指導の可能な分野は多文化共生、ケア、ジェンダー、セクシュアリティ、障害。指導について許可を求める際は具体的な研究計画を持参してください。 Supervision can be requested for independent research concerning multicultural interdependence, care, gender, sexuality or disability. Students are asked to bring a concrete study plan when they come to request supervision.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	By appointment
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	ssawada@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	文献購読や対論は主に日本語で行い学生のニーズに合わせて英語を活用する。課題は日本語か英語で提出していただきます。 Readings and discussions are conducted primarily in Japanese and where necessary, in English. Written assignments are to be submitted in either Japanese or English.
その他 other	人数制限があります。中級以上の日本語能力は必要となります。受講が認められた学生はゼミへの出席と研究への熱心な取り組みが求められます。There is a limit to the number of applicants who can be approved. Applicants should have intermediate level Japanese proficiency or above. Approved applicants are required to be consistent in their attendance and dedicated to their studies.

後期

(Ⅱ Semester)

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級1 (口頭表現) Basic Japanese 1 (Oral Expression)																				
副題 subtitle																					
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University																				
単位 credit	4単位 (4 credits)																				
学期 semester	後 期 (II Semester)																				
曜日 day 時限 period	月曜日 (Monday) : (10:20-11:50) 木曜日 (Thursday) : (14:20-15:50)																				
授業形式 class format	Lecture, Practice, Activity																				
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小山宣子 (国際連携本部) Nobuko, OYAMA (Department of International Education and Collaboration), 山崎達郎 (非常勤講師) Tatsuro, YAMAZAKI																				
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	<ul style="list-style-type: none"> • To be proficient on basic patterns/expressions of Japanese • To be proficient on basic Japanese conversation in daily settings (equivalent to A1 of JF standard) 																				
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for the Conversational Grammar section. Although the primary focus is on developing conversation skills, time is also devoted to studying grammar and vocabulary in order to ensure a smooth transition to the initial stages of the Intermediate Level.																				
授業の内容予定 schedule of the class	<p>The topics for each lesson in the textbook are as follows: The examinations will be held after Lessons 4 and 7.</p> <table> <tr> <td>October 2, 3, 7, 10, 15, 24</td><td>ひらがな</td></tr> <tr> <td>October 28, 31, November 8</td><td>LESSON 1 New Friends</td></tr> <tr> <td>November 11, 14, 18</td><td>LESSON 2 Shopping</td></tr> <tr> <td>November 21, 25, 28, December 2</td><td>LESSON 3 Making a Date</td></tr> <tr> <td>December 5, 9, 12, 16</td><td>LESSON 4 The First Date</td></tr> <tr> <td>December 19</td><td>Intermediate Exam</td></tr> <tr> <td>December 23, 26, January 6, 9</td><td>LESSON 5 A Trip to Okinawa</td></tr> <tr> <td>January 14, 16, 20, 23</td><td>LESSON 6 A Day in Robert's Life</td></tr> <tr> <td>January 27, 30</td><td>LESSON 7 Family Picture</td></tr> <tr> <td>February 6</td><td>Final Exam</td></tr> </table> <p>One lesson is finished in four sessions. (Each session is a 90-minutes class period.)</p> <p>Session 1-3:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Vocabulary • Grammar drills <p>Session 4:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Practice of conversational expressions and speaking • Listening comprehension exercises 	October 2, 3, 7, 10, 15, 24	ひらがな	October 28, 31, November 8	LESSON 1 New Friends	November 11, 14, 18	LESSON 2 Shopping	November 21, 25, 28, December 2	LESSON 3 Making a Date	December 5, 9, 12, 16	LESSON 4 The First Date	December 19	Intermediate Exam	December 23, 26, January 6, 9	LESSON 5 A Trip to Okinawa	January 14, 16, 20, 23	LESSON 6 A Day in Robert's Life	January 27, 30	LESSON 7 Family Picture	February 6	Final Exam
October 2, 3, 7, 10, 15, 24	ひらがな																				
October 28, 31, November 8	LESSON 1 New Friends																				
November 11, 14, 18	LESSON 2 Shopping																				
November 21, 25, 28, December 2	LESSON 3 Making a Date																				
December 5, 9, 12, 16	LESSON 4 The First Date																				
December 19	Intermediate Exam																				
December 23, 26, January 6, 9	LESSON 5 A Trip to Okinawa																				
January 14, 16, 20, 23	LESSON 6 A Day in Robert's Life																				
January 27, 30	LESSON 7 Family Picture																				
February 6	Final Exam																				
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	2 regular examinations ---- 60% Homework -----25% Quizzes -----15% The final grade will be determined by adding up the above results.																				
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Study and memorize vocabulary using a recommended app. It is required to read the textbook before attending class. Review: After each class, homework assignments will be given. These may include exercises from the textbook and workbook, recordings of role-plays, and other related tasks. Note: As this is a 6-credit course, it is expected that you will dedicate about 10 hours per week to studying outside of class.																				

教材・教科書 text	1. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500) 2. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II [Workbook] Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥1,800)
参考文献 references	References will be introduced in class as needed.
留意点・予備知識 remarks	The syllabus is written in English for convenience, but not all students can understand spoken English. Since there is often no common language that all students can understand, teachers try to explain everything in Japanese as much as possible during class. Students are also encouraged to use Japanese in the classroom as much as possible.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 (Wednesday) : 12:00-13:00
Eメールアドレス・HPア ドレス・E-mail address・HP address	nobuko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom. During class, students may write words or sentences on paper. Homework assignments may be submitted through online platforms, such as Microsoft Teams.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級1 (筆記表現) Basic Japanese 1 (Written Japanese)
副題 subtitle	
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University
単位 credit	2単位 (2 credits)
学期 semester	後 期 (II Semester)
曜日 day 時限 period	木曜日 (Thursday) : 10 : 20-11 : 50
授業形式 class format	Lecture, Practice, Activity
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	田中美由紀 (非常勤講師) Miyuki, TANAKA
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	・ To be proficient on reading and writing simple passage with Hiragana, Katakana and some basic Kanji.
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for the Reading and Writing section. Although the primary focus is on learning Kanjis and Reading, time is also devoted to Writing in order to ensure a smooth transition to the initial stages of the Intermediate Level.
授業の内容予定 schedule of the class	The topics and Kanjis for each lesson in the textbook are as follows October 3, 10 LESSON 2 カタカナ October 24, 31 LESSON 3 まいにちのせいかつ November 7, 14 LESSON 4 メアリーさんのしゅうまつ November 21, 28 LESSON 5 りょうこう December 5, 12 LESSON 6 私の好きなレストラン December 19, 26 LESSON 7 メアリーさんのてがみ January 9, 16 LESSON 8 日本の会社員 January 23 LESSON 9 ソラさんの日記 January 30 Final Exam
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Final examination --- 40% Homework ----- 30% Quizzes ----- 30% The final grade will be determined by adding up the above results.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Study and memorize Kanji using a recommended app. It is required to read the textbook before attending class. Review: After each class, homework assignments will be given. These may include exercises from the textbook and workbook, and other related tasks. Note: As this is a 2-credit course, it is expected that you will dedicate about 3 hours per week to studying outside of class.
教材-教科書 text	1. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500) 2. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II [Workbook] Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥1,800) 3. The compliant app of Kanji is recommended. (¥730)
参考文献 references	References will be introduced in class as needed.
留意点・予備知識 remarks	The syllabus is written in English for convenience, but not all students can understand spoken English. Since there is often no common language that all students can understand, teachers try to explain everything in Japanese as much as possible during class. Students are also encouraged to use Japanese in the classroom as much as possible.

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 (Wednesday) : 12:00-13:00
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom. During class, students may write Kanjis, words or sentences on paper. Homework assignments may be submitted through online platforms, such as Microsoft Teams.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級2 (口頭表現B) Basic Japanese 2 (Comprehensive B)																				
副題 subtitle																					
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University																				
単位 credit	4単位 (4 credits)																				
学期 semester	後 期 (II Semester)																				
曜日 day 時限 period	火曜日 (Tuesday) : 14:20-15:50 金曜日 (Friday) : 10:20-11:50																				
授業形式 class format	Lecture, Practice, Activity																				
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小山宣子 (国際連携本部) Nobuko, OYAMA (Department of International Education and Collaboration), 山崎達郎 (非常勤講師) Tatsuro, YAMAZAKI																				
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	<ul style="list-style-type: none"> • To be proficient on basic patterns/expressions of Japanese • To be proficient on basic Japanese conversation in daily settings (equivalent to A2-1 of JF standard) 																				
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for the Conversational Grammar section. Although the primary focus is on developing conversation skills, time is also devoted to studying grammar and vocabulary in order to ensure a smooth transition to the initial stages of the Intermediate Level.																				
授業の内容予定 schedule of the class	<p>The topics for each lesson in the textbook are as follows: The examinations will be held after Lessons 11 and .</p> <table> <tr> <td>October 1, 4, 8, 11</td><td>LESSON 9 Making a Date</td></tr> <tr> <td>October 17, 22, 26, 29</td><td>LESSON 10 The First Date</td></tr> <tr> <td>November 5, 8, 12, 15</td><td>LESSON 11 A Trip to Okinawa</td></tr> <tr> <td>November 19</td><td>Intermediate Exam:</td></tr> <tr> <td>November 22, 26, 29, December 3</td><td>LESSON 12 A Day in Robert's Life</td></tr> <tr> <td>December 6, 10, 13, 17</td><td>LESSON 13 Family Picture</td></tr> <tr> <td>December 20 24, January 7, 10</td><td>LESSON 14 Barbecue</td></tr> <tr> <td>January 15, 21, 24, 28</td><td>LESSON 15 Kabuki</td></tr> <tr> <td>January 31, February 4</td><td>Review</td></tr> <tr> <td>February 7</td><td>Final Exam</td></tr> </table> <p>(Lessons 9 through 12 are covered in Textbook I, and Lessons 13 and after are covered in Textbook II.)</p> <p>One lesson is finished in four sessions. (Each session is a 90-minutes class period.)</p> <p>Session 1-3:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Vocabulary • Grammar drills <p>Session 4:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Practice of conversational expressions and speaking • Listening comprehension exercises 	October 1, 4, 8, 11	LESSON 9 Making a Date	October 17, 22, 26, 29	LESSON 10 The First Date	November 5, 8, 12, 15	LESSON 11 A Trip to Okinawa	November 19	Intermediate Exam:	November 22, 26, 29, December 3	LESSON 12 A Day in Robert's Life	December 6, 10, 13, 17	LESSON 13 Family Picture	December 20 24, January 7, 10	LESSON 14 Barbecue	January 15, 21, 24, 28	LESSON 15 Kabuki	January 31, February 4	Review	February 7	Final Exam
October 1, 4, 8, 11	LESSON 9 Making a Date																				
October 17, 22, 26, 29	LESSON 10 The First Date																				
November 5, 8, 12, 15	LESSON 11 A Trip to Okinawa																				
November 19	Intermediate Exam:																				
November 22, 26, 29, December 3	LESSON 12 A Day in Robert's Life																				
December 6, 10, 13, 17	LESSON 13 Family Picture																				
December 20 24, January 7, 10	LESSON 14 Barbecue																				
January 15, 21, 24, 28	LESSON 15 Kabuki																				
January 31, February 4	Review																				
February 7	Final Exam																				
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	2 regular examinations ----- 60% Homework -----25% Quizzes -----15% The final grade will be determined by adding up the above results.																				

準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	Preparation: Study and memorize vocabulary using a recommended app. It is required to read the textbook before attending class. Review: After each class, homework assignments will be given. These may include exercises from the textbook and workbook, recordings of role-plays, and other related tasks. Note: As this is a 6-credit course, it is expected that you will dedicate about 10 hours per week to studying outside of class.
教材・教科書 text	1. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese I Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500) 2. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500) 3. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese I [Workbook] Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥1,800) 4. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500)
参考文献 references	References will be introduced in class as needed.
留意点・予備知識 remarks	The syllabus is written in English for convenience, but not all students can understand spoken English. Since there is often no common language that all students can understand, teachers try to explain everything in Japanese as much as possible during class. Students are also encouraged to use Japanese in the classroom as much as possible.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 (Wednesday) : 12:00-13:00
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	nobuko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom in principle. During class, Students are individually nominated and answer the questions. They may write words or sentences on paper. Homework assignments may be submitted through online platforms, such as Microsoft Teams.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級2 (筆記表現B) Basic Japanese 2 (Written Japanese B)
副題 subtitle	
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University
単位 credit	2単位 (2 credits)
学期 semester	後 期 (II Semester)
曜日 day 時限 period	火曜日 (Tuesday) : 10:20-11:50
授業形式 class format	Lecture, Practiced, Activity
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	田中美由紀 (非常勤講師) Miyuki, TANAKA
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	・ To be proficient on reading and writing simple passage with Hiragana, Katakana and some basic Kanji.
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for the Reading and Writing section. Although the primary focus is on learning Kanjis and Reading, time is also devoted to <u>Writing in order to ensure a smooth transition to the initial stages of the</u>
授業の内容予定 schedule of the class	The topics and Kanjis for each lesson in the textbook are as follows October 1 Guidance October 8, 22 LESSON 9 ソラさんの日記 October 29, November 5 LESSON 10 昔話「かさじぞう」 November 12, 19 LESSON 11 友だち・メンバー募集 November 26, December 3 LESSON 12 七夕 December 10, 17 LESSON 13 日本のおもしろい経験 December 24, January 7 LESSON 14 悩みの相談 January 21, 28 LESSON 15 私が好きな所 February 4 Final Exam (Lessons 9 through 12 are covered in Textbook I, and Lessons 13 and after are covered in Textbook II.)
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Final examination — 40% Homework ————— 30% Quizzes ————— 30% The final grade will be determined by adding up the above results.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Study and memorize Kanji. It is required to read the textbook before attending class. Review: After each class, homework assignments will be given. These may include exercises from the textbook and workbook, and other related tasks. Note: As this is a 2-credit course, it is expected that you will dedicate about 3 hours per week to studying outside of class.
教材-教科書 text	1. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese I Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500) 2. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500) 3. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese I [Workbook] Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥1,800) 4. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500)
参考文献 references	References will be introduced in class as needed.
留意点・予備知識 remarks	The syllabus is written in English for convenience, but not all students can understand spoken English. Since there is often no common language that all students can understand, teachers try to explain everything in Japanese as much as possible during class. Students are also encouraged to use Japanese in the classroom as much as possible.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Ask your teacher before or after class in the classroom.

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom. During class, students may write Kanjis, words or sentences on paper. Homework assignments may be submitted through online platforms, such as Microsoft Teams.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級3 (口頭表現B) Basic Japanese 3 (Comprehensive B)																				
副題 subtitle																					
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University																				
単位 credit	4単位 (4 credits)																				
学期 semester	後 期 (II Semester)																				
曜日 day 時限 period	月曜日 (Monday) : 12:40-14:10 木曜日 (Thursday) : 16:00-17:30																				
授業形式 class format	Lecture, Practice, Activity																				
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	志喜屋カロリーナ (非常勤講師) Carolina, SHIKIYA																				
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	<ul style="list-style-type: none"> • To be proficient on basic patterns/expressions of Japanese • To be proficient on basic Japanese conversation in daily settings (equivalent to A2-1 of JF standard) 																				
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for the Conversational Grammar section. Although the primary focus is on developing conversation skills, time is also devoted to studying grammar and vocabulary in order to ensure a smooth transition to the initial stages of the Intermediate Level.																				
授業の内容予定 schedule of the class	<p>The topics for each lesson in the textbook are as follows: The examinations will be held after Lessons 18 and 22.</p> <table border="0"> <tr> <td>October 2, 3, 7, 10</td> <td>LESSON 16 Lost and Found</td> </tr> <tr> <td>October 15, 24, 28, 31</td> <td>LESSON 17 Grumble and Gossip</td> </tr> <tr> <td>November 8, 11, 14, 18</td> <td>LESSON 18 John's Part-time Job</td> </tr> <tr> <td>November 21</td> <td>Intermediate Exam</td> </tr> <tr> <td>November 25, 28, December 2, 5</td> <td>LESSON 19 Meeting the Boss</td> </tr> <tr> <td>December 9, 12, 16, 19</td> <td>LESSON 20 Mary Goes Shopping</td> </tr> <tr> <td>December 23, 26, January 6, 9</td> <td>LESSON 21 Burglar</td> </tr> <tr> <td>January 14, 16, 20, 23</td> <td>LESSON 22 Education in Japan</td> </tr> <tr> <td>January 27, 30</td> <td>Review</td> </tr> <tr> <td>February 6</td> <td>Final Exam</td> </tr> </table> <p>One lesson is finished in four sessions. (Each session is a 90-minutes class period.)</p> <p>Session 1-3:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Vocabulary • Grammar drills <p>Session 4:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Practice of conversational expressions and speaking • Listening comprehension exercises 	October 2, 3, 7, 10	LESSON 16 Lost and Found	October 15, 24, 28, 31	LESSON 17 Grumble and Gossip	November 8, 11, 14, 18	LESSON 18 John's Part-time Job	November 21	Intermediate Exam	November 25, 28, December 2, 5	LESSON 19 Meeting the Boss	December 9, 12, 16, 19	LESSON 20 Mary Goes Shopping	December 23, 26, January 6, 9	LESSON 21 Burglar	January 14, 16, 20, 23	LESSON 22 Education in Japan	January 27, 30	Review	February 6	Final Exam
October 2, 3, 7, 10	LESSON 16 Lost and Found																				
October 15, 24, 28, 31	LESSON 17 Grumble and Gossip																				
November 8, 11, 14, 18	LESSON 18 John's Part-time Job																				
November 21	Intermediate Exam																				
November 25, 28, December 2, 5	LESSON 19 Meeting the Boss																				
December 9, 12, 16, 19	LESSON 20 Mary Goes Shopping																				
December 23, 26, January 6, 9	LESSON 21 Burglar																				
January 14, 16, 20, 23	LESSON 22 Education in Japan																				
January 27, 30	Review																				
February 6	Final Exam																				
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	<p>2 regular examinations ---- 60%</p> <p>Homework -----25%</p> <p>Quizzes -----15%</p> <p>The final grade will be determined by adding up the above results.</p>																				
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	<p>Preparation: Study and memorize vocabulary in advance. It is required to read the textbook before attending class.</p> <p>Review: After each class, homework assignments will be given. These may include exercises from the textbook and workbook, recordings of role-plays, and other related tasks.</p> <p>Note: As this is a 6-credit course, it is expected that you will dedicate about 10 hours per week to studying outside of class.</p>																				

教材・教科書 text	1. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500) 2. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II [Workbook] Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥1,800)
参考文献 references	References will be introduced in class as needed.
留意点・予備知識 remarks	The syllabus is written in English for convenience, but not all students can understand spoken English. Since there is often no common language that all students can understand, teachers try to explain everything in Japanese as much as possible during class. Students are also encouraged to use Japanese in the classroom as much as possible.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Ask your teacher in the classroom before or after class.
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom in principle. During class, Students are individually nominated and answer the questions. They may write words or sentences on paper. Homework assignments may be submitted through online platforms, such as Microsoft Teams.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級3 (筆記表現B) Basic Japanese 3 (Written Expression B)
副題 subtitle	
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University
単位 credit	2単位 (2 credits)
学期 semester	後 期 (II Semester)
曜日 day 時限 period	水曜日 (Wednesday) : 10:20-11:50
授業形式 class format	Lecture, Practice, Activity
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小山宣子 (国際連携本部) Nobuko, OYAMA (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	・ To be proficient on reading and writing simple passage with Hiragana, Katakana and some basic Kanji.
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for the Reading and Writing section. Although the primary focus is on learning Kanjis and Reading, time is also devoted to Writing in order to ensure a smooth transition to the initial stages of the Intermediate Level.
授業の内容予定 schedule of the class	The topics and Kanjis for each lesson in the textbook are as follows October 9 Guidance October 16, 23 LESSON 16 漫画「ドラえもん」 October 30, November 6 LESSON 17 オノ・ヨーコ November 13, 20 LESSON 18 大学生活 November 27, December 4 LESSON 19 手紙とメール December 11, 18 LESSON 20 猫の皿 December 25, January 8 LESSON 21 厄年 January 22, 29 LESSON 22 桜さんの日記 February 5 Final Exam
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Final examination -- 40% Homework ----- 30% Quizzes ----- 30% The final grade will be determined by adding up the above results.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Study and memorize Kanji using a recommended app. It is required to read the textbook before attending class. Review: After each class, homework assignments will be given. These may include exercises from the textbook and workbook, and other related tasks. Note: As this is a 2-credit course, it is expected that you will dedicate about 3 hours per week to studying outside of class.
教材-教科書 text	1. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500) 2. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II [Workbook] Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥1,800) 3. The compliant app of Kanji is recommended. (¥730)
参考文献 references	References will be introduced in class as needed.
留意点・予備知識 remarks	The syllabus is written in English for convenience, but not all students can understand spoken English. Since there is often no common language that all students can understand, teachers try to explain everything in Japanese as much as possible during class. Students are also encouraged to use Japanese in the classroom as much as possible.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 (Wednesday) : 12:00-13:00

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	nobuko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom. During class, students may write Kanjis, words or sentences on paper. Homework assignments may be submitted through online platforms, such as Microsoft Teams.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級1 (総合B) Intermediate Japanese 1 (Integrated Course B)
副題 subtitle	
対象学生	初級 (教室で200時間から250時間[1時間は60分]) を勉強し、内容を十分習得した学生。 日本語能力試験でN4程度の学生。CEFR A2に到達し、B1を目指す学生。
単位 credit	4単位 (4 Credits)
学期 semester	後期 (II semester)
曜日 day 時限 period	火曜日 3・4時限 (10:20～11:50) 木曜日 7・8時限 (14:20～15:50)
授業形式 class format	講義と活動 (Lecture & Activities)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGA0, Kazuko (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	あるテーマやトピックについて日本語で学ぶことを通して、日本語の力と、内容を理解して思考する力の二つの力をつける。
授業の概要 course description	日本語を使った様々なタスクを行うのに必要な言語知識 (語彙、文法・表現、漢字のことばなど) と言語スキル (メモの取り方、情報の集め方、発表の仕方など) を学ぶ。
授業の内容予定 schedule of the class	第1週/第2週/第3週 ガイダンス 第1課 習い事は役に立つ? (習い事の経験について自分の気持ちや考えを理由も織り交ぜながら、時系列で語ることができる) 第4週/第5週 第2課 漢字・ひらがな・カタカナ、どれで書く? (日本語の表記の歴史や使い分けについての説明文を読み、理解することができる) 第6週/第7週 第3課 昔話の世界を知ろう (昔話の流れを理解し、新しい結末を書く) 第8週 復習 中間テスト 第9週/第10週 第5課 違いについて考えてみよう (自分にとって身近な国・地域と日本を比べ、習慣や制度等を比較したまとまりある文章を書くことができる) 第11週/第12週 第6課 音楽の力 (ラジオなどのメディアで音楽の思い出について語られているのを聞き、その主要な点が理解できる) 第13週/第14週 第7課 日本から世界へ (点字ブロックの誕生や発展について事実に基づいた説明文を読み、主題を理解することができる) 第15週/第16週 プロジェクト 本コースのテーマの中から1つ選び、日本語でインタビューをする、その結果をまとめて発表し、レポートを書く。
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	出席・積極的な授業参加10%、中間テスト30%、課題提出20% プロジェクト発表20% プロジェクトレポート20%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	教科書付属の教材「漢字のことば」練習シート、メインタスクの課題の一部、「文型・表現」練習シートを課題として行う。
教材・教科書 text	国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程著 (2022) 『タスクベースで学ぶ日本語 中級1』スリーエーネットワーク

参考文献 references	仲山淳子（2021）『日本語文法ブラッシュアップトレーニング』アルク
留意点・予備知識 remarks	テーマは身近なものからやや社会的なものへ、タスクも単純なものからやや複雑なものへと なっています。言語の形式にも注意しながら、自分の経験や考えをまとめる、自分た ちで考えた計画を説明する、調べたことを発表するといったことを積極的に日本語を使っ て行うようにしましょう。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業中に質問するか、メールかTeamsで予約を取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	プレタスク（背景知識を活性化するタスク・聞くタスク・読むタスクによるインプット メインタスクをする準備）⇄メインタスク（「聞く」「読む」「話す」「書く」「やりと り」）⇄文型・表現⇄ポストタスク（創造的・発展的な活動）⇄漢字の言葉⇄質問文を 使ったやりとり⇄振り返り
その他 other	シラバスの内容は流動的です。学生の進度や興味によりシラバスが変更される場合があり ます。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級2 (総合B) Intermediate Japanese 2 (Integrated Course B)
副題 subtitle	
対象学生	本年度前期 (2024年度前期) に「日本語中級1」を受講した学生、または日本語能力試験のN3かCERFのB1程度のレベルにある学生。
単位 credit	4単位 (4 credits)
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	火曜日 3・4時限(10:20~11:50) と木曜日 3・4時限(10:20~11:50)
授業形式 class format	演習
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小笠原淑子 OGASAWARA, Yoshiko (非常勤講師)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	中上級に進むために必要な漢字と語彙〔ごい〕、文型と表現の習得に加え、読解力と作文力を高める。主体的に学んで行けるよう、情報収集能力と問題解決能力を身につける。
授業の概要 course description	1. プレタスクでお互いの考えを話したり、テーマに関する説明文を読む。 2. メインタスクで情報を検索し、調べて考えたことを説明する。 3. ポストタスクでテーマに関する聞き取り、作文、発表等を行う。 4. 定期的に漢字と語彙、文型・表現の小テストを行って定着を図る。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回: オリエンテーション 第2回: 第1課 なぜその言葉? ①プレタスク 第3回: 第1課 なぜその言葉? ②メインタスク 第4回: 第1課 なぜその言葉? ③ポストタスク 第5回: 第1課 なぜその言葉? ④復習 第6回: 第2課 ユニバーサルデザインとは? ①プレタスク 第7回: 第2課 ユニバーサルデザインとは? ②メインタスク 第8回: 第2課 ユニバーサルデザインとは? ③ポストタスク 第9回: 第2課 ユニバーサルデザインとは? ④復習 第10回: 第3課 公共施設を利用している? ①プレタスク 第11回: 第3課 公共施設を利用している? ②メインタスク 第12回: 第3課 公共施設を利用している? ③ポストタスク 第13回: 第3課 公共施設を利用している? ④復習 第14回: 第1課~第3課 復習 第15回: 第4課 違う自分になりたい? ①プレタスク 第16回: 第4課 違う自分になりたい? ②メインタスク 第17回: 第4課 違う自分になりたい? ③ポストタスク 第18回: 第4課 違う自分になりたい? ④復習 第19回: 第5課 災害に対して準備している? ①プレタスク 第20回: 第5課 災害に対して準備している? ②メインタスク 第21回: 第5課 災害に対して準備している? ③ポストタスク 第22回: 第5課 災害に対して準備している? ④復習 第23回: 第6課 地球の環境、大丈夫? ①プレタスク 第24回: 第6課 地球の環境、大丈夫? ②メインタスク 第25回: 第6課 地球の環境、大丈夫? ③ポストタスク 第26回: 第6課 地球の環境、大丈夫? ④復習 第27回: 第7課 なぜそう見える? どう見せる? ①プレタスク 第28回: 第7課 なぜそう見える? どう見せる? ②メインタスク 第29回: 第7課 なぜそう見える? どう見せる? ③ポストタスク 第30回: 第7課 なぜそう見える? どう見せる? ④復習 第31回: 第4課~第7課 復習、1学期のまとめ
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	漢字・語彙〔ごい〕の小テスト 30% 作文: 30% その他の活動 (文型・表現学習、発表など) : 40%

準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	1) 次の授業で扱う箇所〔かしよ〕を前もって読み、漢字や語句を調べてくる。 2) 宿題や課題は、次の授業の活動に関わるので、必ず完成させて来る。 3) 漢字と語彙や新しい文型・表現を復習する。
教材・教科書 text	国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程（2022）『タスクベースで学ぶ日本語 中級2』スリーエーネットワーク
参考文献 references	特になし
留意点・予備知識 remarks	間違いを恐〔おそ〕れずに、積極的に日本語を使うようにしてください。
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	授業の前後に質問を受けます。個人面談が必要な場合は時間を設けます。
Eメールアドレス・HP アドレス E-mail address・HP address	louloudi99@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 class form and method	講義・課題・活動
その他 other	1) 週2回の授業です。火曜日と木曜日、両方出席しなければなりません。 2) シラバスの内容に変更が生じる場合はプリントと口頭でお知らせします。 3) 単位が必要な場合は3分の2以上出席しなければなりません。 4) 遅刻や早退は3回で一回の欠席としてカウントされます。

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級（聴解B） [Intermediate Japanese (Listening B)]
副題 subtitle	一般日本語中級（前半・後半）
対象学生	初級（教室で200時間から250時間[1時間は60分]）を勉強し、内容を十分習得した学生。 日本語能力試験でN4またはN3程度の学生。CEFR A2に到達し、B1を目指す学生。または、 B1の学生。
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	後期 (Ⅱ semester)
曜日 day 時限 period	月曜日 (Mon) 5・6時限 (12:40～14:10)
授業形式 class format	講義・活動(Lecture & Activities)
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGAO, Kazuko (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースの構成や表現を意識しながら、ニュースのポイントを聞き取る力を養成する ・ニュースの内容についてクラスメートと意見交換ができる
授業の概要 course description	ニュース 全体を理解する、ポイントをつかむ、詳しく理解する、内容を確認する、発音を確認する ニュースの新出語彙や表現の確認をする ニュースに関してクラスメートと意見交換をする
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第1課「ペンギン、逃げ出す」 第2回 第2課「一足先に夏、ビアガーデンオープン」 第3回 第3課「眠い日本人」 第4回 第6課「北海道に雷雨」 第5回 第7課「アニメの聖地巡礼が人気」 第6回 第9課「ネットにいじめの動画、中学生を逮捕」 第7回 第15課「音楽で地方を元気に」 第8回 中間テスト（聴解・語彙テスト） 第9回 第19課「一夜で銅像19体に赤い服」 第10回 第24課「企業による学校向け出張授業」 第11回 第31課「世界初、紙のカミソリ発売」 第12回 第32課「ブラック校則、見直しへ」 第13回 第35課「ユニークな自動販売機」 第14回 第38課「ウーブン・シティ、建設始まる」 第15回 自分でニュースを選んで聞き、レポートを作成 小グループで共有 第16回 ニュースに関する発表と聴解ノートの作成
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業への積極的参加 20%、中間テスト 30% 自分で選んだニュースのレポート 20% 自分で選んだニュースの発表と聴解ノート 30%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習 テーマごとにコメントができるように準備しておく 復習 ニュースに出た新出語彙やニュース特有の表現の予習と復習をする
教材・教科書 text	瀬川由美・紙谷幸子（2022）『中級からはじめる ニュースの日本語 聴解40』 スリーエーネットワーク
参考文献 references	NHK New Web Easy https://www3.nhk.or.jp/news/easy/

留意点・予備知識 remarks	日本語能力試験N4以上の日本語能力が必要です。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業で質問するか、メールかTeamsで予約を取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義・課題・活動（グループディスカッション）
その他 other	シラバスの内容は流動的です。学生の進捗や興味によりシラバスが変更される場合があります。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級（口頭表現B） Intermediate Japanese (Oral Expression B)
副題 subtitle	
対象学生	クラス分けテストで、中級に分けられた学生。
単位 credit	2単位
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	金曜日 (Wed) 3・4時限 (10:20-11:50)
授業形式 class format	講義とグループ活動・個人活動
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	小山 宣子（国際連携本部） Nobuko, OYAMA (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介、友だちとのおしゃべりのスタイル（普通体の会話）、先生にお願いやお礼（敬語）、レストランの予約や変更ができるようになります。 自分の出身地等について、自分が特に言いたいことを、話の順序を考えながら1～3分くらい話せるようになります。 聞いてわかりやすい発音で話せるようになります。
授業の概要 course description	<ul style="list-style-type: none"> 教科書のパターンを見ながら、自分が日本で本当に使える会話や独話を準備します。 会話は教科書に沿って段階を追って練習します。 独話については、話しの順序や構成を意識しながら話せるように練習します。
授業の内容予定 schedule of the class	<p>10月04日 ガイダンス</p> <p>10月11日 会話1 自己紹介</p> <p>10月17日 会話2 友達とのおしゃべり</p> <p>11月08日 尊敬する人（独話）</p> <p>11月01日 会話3 先生へのお願い</p> <p>11月08日 会話4 先生へのお礼</p> <p>11月15日 会話5 予約の変更</p> <p>11月22日 おすすめのおみやげ[私のふるさと]（独話）</p> <p>11月29日 会話6 店での変更</p> <p>12月06日 会話7 悩み相談</p> <p>12月13日 会話8 遊びの約束</p> <p>12月20日 おすすめの裏技</p> <p>1月10日 会話9 店への行き方</p> <p>1月15日 会話10 迷惑なルームメイト</p> <p>1月24日 弘前のおすすめ[日本]（独話）</p> <p>（変更の可能性あります）</p>
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	<p>課題提出状況（スクリプトと録音した音声提出する） 50%</p> <p>期末試験 50%</p>

じゅんびめくしゅう よしゅう ふくしゅう 準備学習（予習・復習） とう ないよう 等の内容 preparation for class	よしゅう 予習 きょうかしょ み たんご ぶんけい しら 教科書を見て、単語や文型を調べる。 ふくしゅう 復習 じゅぎょう れんしゅう おんせい ろくおん ていしゅつ 授業で練習した音声を録音して提出する。
教材・教科書 text	『4技能でひろがる日本語カルテット I』 安井他著 ジャパンタイムズ3000円（税別） ぎのう にほんご やすい ほかちよ えん ぜいべつ
参考文献 references	なし
留意点・予備知識 remarks	ちゅうきゅう きょうしつ なか にほんご はな 中級では、教室の中では日本語を話すようにしましょう。日常生活で日本語を使うこと だいじ も大事です。
じゅぎょうないよう かん しつもん 授業内容に関する質問・ ぎぎ とう 疑義等 Office Hours	すいようび じ じ 水曜日12時～13時
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	nobuko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	こうぎ かつどう 講義と活動
た その他 other	ぜんき こうき なが 前期と後期は、流れはおなじですが、トピックは違います。 ちが シラバスの内容には変更があり得ます。 ないよう へんこう え

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中上級（読解B）【A2】 Upper Intermediate Japanese (Reading B)
副題 subtitle	
対象学生	中級以上の留学生
単位 credit	2
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	火曜日 (Tue) 5・6時限 (12:40～14:10)
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	新川 以智子(非常勤)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	大学・大学院進学に必要なレベルの日本語文を読む力、読んで発信する力を身に付ける。
授業の概要 course description	多彩なジャンルの読みものを読んで、まず全文の内容を大まかに理解し、文章内容の背景などを推測する。その上で、筆者の伝えたいメッセージを読み取る。また、課題を通して、筆者のメッセージや文章を読んで自分が感じたことを適切な形で表現する練習を積む。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第2回 10 高齢化の中で 第3回 新聞記事1 第4～5回 01 働かない働きアリ 第6～7回 02 血液型 第8回 新聞記事2 第9回 03 言葉の意味 第10回 国語辞典 第11～12回 04 IT社会 第13回 06 Kawaii 第14回 07 若者 第15回 応用読解 第16回 修了課題 ★進行状況によって予定を変更する可能性あり
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	毎回の授業参加度 30% 課題 50% 修了テスト 20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	全体課題や担当課題があれば、期限までに準備または提出する。
教材・教科書 text	『日本語学習者のための読解厳選テーマ10【中上級】』清水正幸/奥山貴之著 にほんごの凡人社
参考文献 references	授業時に提示
留意点・予備知識 remarks	授業内では読解に集中し、授業外では課題に積極的に取り組むことが望まれます。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業内容に関する質問は授業内もしくは終了後に直接してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中上級（作文B）【A4】 Upper Intermediate Japanese(Writing A)
副題 subtitle	
対象学生	中級以上の学習者
単位 credit	2
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	火曜日 (Tue) 3・4時限 (10:20～11:50)
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	新川以智子（非常勤）
授業としての具体的到達目標 goal of the class	中上級以上の語彙・表現を用いて、適切な場面でより正確で適切な日本語作文を作成できるよう、作文技術の向上を目指します。
授業の概要 course description	「弘前の魅力と課題」というテーマのもとで、作文の全体構成に沿って、各回のテーマごとに作文に必要な技術を習得し、各章を書き進めていって、最終的に一つのレポートを完成させる
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第2回 作文の技術「文末形式」 第3回 作文の技術「順序」 第4回 作文の技術「状況描写」 第5回 作文の技術「例示」「列挙」 第6回 作文の技術「手段・方法」 第7回 作文の技術「比較・対比」 第8～9回 作文の技術「情報分析」 第10～11回 作文の技術「伝聞」 第12～13回 作文の技術「問題提起」 第14回 作文の技術「意見・提案」 第15回 全体作文完成 第16回 作文発表とフィードバック ★進行状況などにより、変更する可能性あり
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	授業参加度 30% 課題 40% 最終作文 30%
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	予習課題、復習課題がある場合は、期限までに準備、提出すること
教材・教科書 text	購入する教科書はなし
参考文献 references	随時 提示
留意点・予備知識 remarks	話し合いや課題活動に積極的に取り組むことが望まれる。
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	授業内容に関する質問は、授業内もしくは授業終了後に直接質問するように
Eメールアドレス・HP アドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	

授業科目名 subject [英文名]	日本語中上級アカデミックジャパニーズ(聴解B) 【A6】 Upper Intermediate Academic Japanese (Listening B)
副題 subtitle	
対象学生	プレースメントテストで中上級(聴解)を指定された学生
単位 credit	2単位
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	月曜1・2時限
授業形式 class format	対面授業
担当教員(所属学部) lecturer (faculty)	山崎 達郎(非常勤講師)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	講義形式の発表を聞いて、理解できる。 聞いた講義について、ノートが取れる。 理解した内容を、説明できる。 理解した内容を、短い文章にまとめることができる。
授業の概要 course description	中上級レベルの聴解のクラスです。講義形式の教材を聞き、まとまりのある内容を理解するとともに、理解した内容をまとめる(話す、書く)練習を行います。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回: 授業案内、第9課「剣道」(1) 第2回: 第9課「剣道」(2) 第3回: 第10課「落語」(1) 第4回: 第10課「落語」(2) 第5回: 第11課「そばをすする音」(1) 第6回: 第11課「そばをすする音」(2) 第7回: 第12課「将棋」(1) 第8回: 第12課「将棋」(2) 第9回: 中間テスト、第13課「南極」(1) 第10回: 第13課「南極」(2) 第11回: 第14課「明治神宮の森」(1) 第12回: 第14課「明治神宮の森」(2) 第13回: 第15課「虚偽の自白」(1) 第14回: 第15課「虚偽の自白」(2)、 「三内丸山遺跡の特徴」(1) 第15回: 「三内丸山遺跡の特徴」(2) 第16回: 期末テスト、授業の振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	中間テスト: 30% 期末テスト: 30% クイズ: 20% 課題、授業時のパフォーマンス: 20%
準備学習(予習・復習) 等の内容 preparation for class	予習: 当日の授業範囲のCDを聞いてくること。 授業で行う発表の準備をすること。 復習課題: 聞き取った内容について、要約を作成すること。
教材・教科書 text	東京外国語大学 留学生日本語教育センター編著『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聴解 [中上級]』2014、スリーエーネットワーク
参考文献 references	必要があれば、授業時に紹介します。
留意点・予備知識 remarks	プレースメントテストの結果に従って、授業登録をしてください。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業に関する質問等は、授業時に質問してください。

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	t.yamazaki@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>対面授業 授業方法：授業は以下のように進める予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 教材の聞き取り (2) 問題への解答 (3) 内容のまとめ（ノートのとり方） (4) ノートをもとにした再話 (5) 内容の要約
その他 other	学生には、積極的に授業に参加し、発言をすることを求めます。

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中上級（文法B）【A8】 Upper Intermediate Japanese (Grammar B)
副題 subtitle	
対象学生	中級以上の留学生
単位 credit	2
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	木曜日 (Thu) 3・4時限 (10:20~11:50)
授業形式 class format	演習
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	新川 以智子 (非常勤)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日本語文法の様々な機能を理解し、適切な場面で適切な日本語表現が使えるようになること、また将来国で日本語教育に携わることができる知識を身につけることを目標とする。
授業の概要 course description	日本語文法の様々な機能を理解し、適切な場面で適切な日本語表現が使えるようになるよう導きます。中級までの文法事項を正確に理解し、適切に使用するために、項目ごとに練習問題や会話文作成を行う。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第2回 文末形式 1 第3回 表現機能 感覚 第4回 表現機能 確信・主張 第5回 表現機能 不可能 第6回 表現機能 判断・推量 第7回 表現機能 願望・感嘆 第8回 表現機能 伝聞 第9回 表現機能 提案・忠告 第10回 表現機能 状況評価 第11回 表現機能 依頼・懇願 第12回 表現機能 感謝・恩恵 第13回 敬語表現 1 第14回 敬語表現 2 第15回 まとめ 第16回 テスト ★進行の状況によって予定を変更する可能性あり。
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業時の参加度40%、各回の課題達成度40%、修了テスト20%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	各回の課題を期限までに提出し、授業で解説された後、誤答を訂正したものを再提出することとする。
教材・教科書 text	教科書はなし。資料はTeamsにファイルで提示
参考文献 references	中級日本語文法要点整理ポイント20 他 授業内でも提示
留意点・予備知識 remarks	自分で考えて、疑問点を解決しようとする姿勢が望まれる。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業に関しての質問があれば、なるべく授業中にしてください。課題作成時の質問などは、Teamsのチャットで質問してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面形式 課題提出などでTeamsを利用する。
その他 other	

授業科目名 subject [英文名]	日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーションB【A10】
副題 subtitle	Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-B
対象学生	留学生
単位 credit	2
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	水曜 3・4 時限
授業形式 class format	演習
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	高橋千代枝 (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	1. 日本の文化・生活にかかわる資料や文章を読み、日本についての理解を深める 2. 中上級～上級の日本語語彙・文法・表現能力を身に着け、場面によって適切な言葉遣いや態度で話せる「日本語使用者」となる 3. 自らテーマについて調べ、適切な日本語を用いてまとめ、ディスカッションやディベートの中で自分の意見を発表し、相手の意見を聞いて内容をまとめ、論理的に反論を述べたり、終着点を協働で見つけ出すことができる
授業の概要 course description	○日本文化や生活にかかわる文章や資料を見て、自らテーマを見つけ出しそれについて調べ、スライドを用いて発表する。 ○また、テーマによって授業中、ディスカッションやディベートをする場を設ける。その際、自分の意見を述べたり、相手の意見を聞いたりする態度や、冷静に分析する姿勢、異なる意見に耳を傾け互いに協力して問題解決の方法を考え出す方法を身につける。 ○グループディスカッションの内容を踏まえ、グループで決められたテーマについてスライド作成をし発表する。その際、日本語の発表で使用される言葉遣いや表現、発表の際の立ち振る舞い等について学ぶ
授業の内容予定 schedule of the class	第1, 2, 3回 オリエンテーション、Unit1 「日本ってどんな国？」地理・気候・風土について知る・調べる・まとめる 第4, 5回Unit2 「都市の暮らし・地方の暮らし」都市間の格差について日本の現状を知る・調べる・まとめる・意見を言う 第6, 7, 8回Unit4 「いただきます」日本の食文化について知る・調べる・まとめる 第9, 10, 11回Unit5 「季節を楽しむ年中行事」日本の年中行事について知る・宗教観との関わりを学ぶ・ディスカッション1 第12, 13回Unit6 「知っておきたい日本の歴史」日本の歴史について自ら調べる・知る・まとめる・発表する、日本の大学生が持っている歴史観などを知る・ディスカッションして意見を述べる 第14, 15回 グループで発表テーマを決め、調べ学習を行い、スライドを作成、授業内で発表する
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業参加度10% 提出・発表40% 最終レポート50%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	日本の文化や生活、社会についての資料を読み、日本社会についての理解を深めつつ、自国や他国・世界との比較を通して問題点を見つけ、それに対する解決法を提言できること、自分の意見を適切な日本語を用いて述べるようになることを目標とします。授業中のディスカッションや教師とのやり取りの中で、積極的に自分の意見や考えを述べ、適切な日本語とはどのようなものか、意見を述べ合う際にはどのようなふるまいをすべきなのか、社会・世界の中にはどのような問題があるのかなどに常に考えを巡らせてください。授業前に必ず教科書の該当部分を読み、授業で話したことから自分でテーマを見つけ、そのテーマについて授業後調べ、まとめて提出する、そのまとめをもとに発表する、ディスカッションするという訓練をしていきます。

教材・教科書 text	『クローズアップ日本事情 1 5 日本語で学ぶ社会と文化』佐々木瑞枝著 The Japan times
参考文献 references	『中級 日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』黒崎紀子編著石塚久代ほか著 凡人社 『日本語文型辞典 改訂版』グループ・ジャマシイ くろしお出版 『新訂版 どんな時どう使う日本語表現文型辞典』友松悦子他 アルク
留意点・予備知識 remarks	日本語能力試験N2以上の日本語能力があることが望ましいが、積極的にディスカッションができればN3程度でも参加可能。It is preferable to have Japanese language proficiency at or above N2 of the Japanese Language Proficiency Test, but it is possible to participate even at N3 level if you can actively participate in discussions and groupwork.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	演習、アクティブラーニング
その他 other	MSpower pointを使用して発表をします。日本語フォント（MS明朝やゴシックなど）をインストールしたPCを用意してください。

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語上級（読解B）【B2】 Advanced Japanese (Reading B)
副題 subtitle	
対象学生	プレースメントテストで、上級（読解）を指定された学生
単位 credit	2単位
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	金曜 1・2 時限
授業形式 class format	対面授業
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	山崎 達郎（非常勤講師）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	上級レベルの日本語の文章を、独力で読むことができるようになる。 上級レベルの語彙、文法、漢字を習得する。 読み取った内容をまとめ、自分のことばで説明できる。 日本社会の現状に対する認識を深める。
授業の概要 course description	上級レベルの読解の授業です。現代の日本社会に関する文章を読み、上級レベルの日本語能力を身につけるとともに、現代の日本社会についての理解を深めていきます。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回：授業案内、14. 日本型雇用システム（1）（1回目） 第2回：14. 日本型雇用システム（1）（2回目）、15. 日本型雇用システム（2）（1回目） 第3回：15. 日本型雇用システム（2）（2回目） 第4回：16. 日本的性別分業とM字型雇用カーブ（1回目） 第5回：16. 日本的性別分業とM字型雇用カーブ（2回目）、17. どうする？ 長時間労働（1回目） 第6回：17. どうする？ 長時間労働（2回目）、18. なぜコミュニケーション能力か（1回目） 第7回：18. なぜコミュニケーション能力か（2回目） 第8回：中間テスト、19. インターネットの隆盛（1回目） 第9回：19. インターネットの隆盛（2回目） 第10回：20. ロボットの活用（1回目） 第11回：20. ロボットの活用（2回目）、21. AIは人間の仕事を奪ってしまうのか（1回目） 第12回：21. AIは人間の仕事を奪ってしまうのか（2回目）、 第13回：22. 「ビッグデータ社会」（1回目） 第14回：22. 「ビッグデータ社会」（2回目）、23. 本当に「原発は安い」のか（1回目） 第15回：23. 本当に「原発は安い」のか（2回目） 第16回：期末テスト
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	中間テスト：40% 期末テスト：40% 小テスト、課題、授業時の発表：20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習：当日の学習範囲の文章を事前に読んでくること。読んだ内容を説明できるようにしておくこと。また、テキストの問題の答えを考えてくること。 復習、課題：次の回に小テストを行うので、学習範囲に出てきた、新出語彙、文法項目、漢字を復習すること。 テキストの文章課題を書いてくること。
教材・教科書 text	宮原 彬（編著）『留学生のための時代を読み解く上級日本語 第3版』2018、スリーエーネットワーク
参考文献 references	必要があれば、授業時に紹介します。
留意点・予備知識 remarks	プレースメントテストの結果に従って、授業登録をしてください。

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業に関する質問等は、授業時に質問してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	t.yamazaki@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>対面授業</p> <p>授業方法：授業は、以下のように進めることを予定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 当日の学習範囲の文章について、担当学生による内容の説明 (2) 発表内容に対する質疑応答 (3) 発表内容に関する検討 (4) 教師からの解説
その他 other	出席する学生には、最低1回発表の担当者となり、文章の内容について発表することを求めます。

授業科目名 subject [英文名]	日本語上級アカデミックジャパニーズ（講義の聴解・論文の書き方B）【B4】
副題 subtitle	Advanced Academic Japanese Writing/listening B
対象学生	留学生
単位 credit	2
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	木曜7・8時限
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	高橋千代枝（国際連携本部）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	<p>1) 適切に設計されたアカデミック場面における模擬講義を聞き、説得力のある論が展開されている文章構成とはどのようなものかを学ぶ</p> <p>2) 上級以上のアカデミック場面で使用される日本語の語彙・文法・表現を学び、段落と段落の関係やある程度の長さの文章の構造を分析的に見る能力を身につける</p> <p>3) 1)、2) で学んだアカデミック日本語を使い、日本語で大学のレポートや論文を書くために必要なライティングスキルを身につける</p> <p>4) 社会的、国際的なテーマについて、高度な日本語の表現を適切に使用して、大学の講義を聞いたり、議論をしたりでき、それらに基づいた論文やレポートが書けるようになる。</p>
授業の概要 course description	アカデミックレベルの日本語を使用した模擬講義を聞き、わからない語彙があっても前後の文脈から推測して大まかな内容をつかむ方法を身につけると同時に、大学の講義で使用される上級レベルの語彙・文法・表現を学びます。また、大学の講義のような、ある程度の長さがある長文を聞き、どのように論が展開されているか、段落と段落の関係はどうなっているかなどに着目して、長文の構成を分析的に見る視点を身につけます。以上のリスニングで学んだ長文の構成の仕方や、アカデミックレベルの日本語を使って、大学生に求められるレポート、論文の書き方を学びます。
授業の内容予定 schedule of the class	<p>第1回 オリエンテーション、【ライティング】ライティングの基礎Ⅰ（原稿用紙の使い方（縦書き・横書き）、文体、書きことば、段落の構成、「は」と「が」）</p> <p>第2回 【ラ】ライティングの基礎Ⅱ（文の基本、記号、引用）【リスニング】第2課「天神様」①</p> <p>第3回 【リ】第2課「天神様」②【ラ】－説明・紹介する－「自分の好きなもの」</p> <p>第4回 【リ】第14課「防災教育」①【ラ】－仕組みの説明－</p> <p>第5回 【リ】第14課「防災教育」②【ラ】－因果関係－</p> <p>第6回 【リ】第5課「開発途上国支援」①【ラ】－理由・経過を述べる－「before/after」の文</p> <p>第7回 【リ】第5課「開発途上国支援」②【ラ】－比較する－「意見文」</p> <p>第8回 中間テスト</p> <p>第9回 【リ】第8課「渋滞学」①【ラ】－判明していることを述べる－</p> <p>第10回 【リ】第8課「渋滞学」②【ラ】－定義する－</p> <p>第11回 【ラ】－問題点を述べる－「現状の把握と問題点、解決策の提案」</p> <p>第12回 【リ】第12課「ガラスの天井」①</p> <p>第13回 【リ】第12課「ガラスの天井」②</p> <p>第14回 【ラ】－引用する－（データの利用、資料の引用）「論説文」</p> <p>第15回 期末テスト</p>
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業態度10%、提出物30%、最終レポート60%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	授業内で指示します

教材・教科書 text	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解[上級]』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著
参考文献 references	『大学生のための文章表現練習帳』坂東実子 国書刊行会 『改訂版 留学生のための 論理的な文章の書き方』二通信子他 スリーエーネットワーク 『新訂版 どんなときどう使う日本語表現文型辞典』友松悦子他 アルク 『日本語文型辞典 改訂版』グループジャマシイ くろしお出版
留意点・予備知識 remarks	※プレースメントテストで中上級以上、またはN2以上の日本語能力が必要です。 ※研究生や院生で、日本語で論文を書く予定がある人は受講を強くおすすめします。 ※受講生の日本語レベルや進度、興味関心によって内容を変更する可能性があります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	

授業科目名 subject 〔英文名〕	サークル活動に見る日本社会② Insights into Japanese Society through Circle Activity ②
副題 subtitle	
対象学生	Exchange Students
単位 credit	2
学期 semester	後期 Semester II
曜日 day 時限 period	月曜日 Monday 7・8時限目
授業形式 class format	講義・演習 Lecture and Action Research
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	諏訪 淳一郎 SUWA Jun'ichiro
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	サークル活動への参加を通じて日本の学生の暮らしと社会について深く理解していきます。 Through participant observation in student circles, students will deepen understanding about Japanese student life and social interactions.
授業の概要 course description	自分で選んだ弘前大学内のサークルなどの学生団体に所属し、活動の記録と考察をまとめたレポートを定期的に提出し、教員からのフィードバックを受けます。 Students will participate in a student circle activity of choice and submit reports and receive feedbacks.
授業の内容予定 schedule of the class	1. 日本の学生社会について Lecture: Social interaction of Japanese students 2. 所属サークルの発表 Present student circles 3. フィールド学習① Field Study 1 4. フィールド学習② 5. フィールド学習③ 6. 中間報告① Intermediary Report 1 7. フィールド学習④ 8. フィールド学習⑤ 9. フィールド学習⑥ 10. 中間報告② 11. フィールド学習⑦ 12. フィールド学習⑧ 13. フィールド学習⑨ 14. 最終報告 Final presentation 15. まとめ Conclusion
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	サークル活動レポート Reports 60%、発表 Presentations 40%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	授業中に指示します。 To be instructed in class.
教材・教科書 text	
参考文献 references	
留意点・予備知識 remarks	参加するサークルは第2回目の授業までに各自で見つけてください。 Student circle should be selected by the second week of course. サークル活動を途中でやめる時は必ず諏訪に相談してください。 Consult J. Suwa before you are thinking about quitting circle activity.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	日本語と英語 Japanese and English
その他 other	

授業科目名 subject [英文名]	国際地域・社会・文化-トランスナショナリズムの音楽-【教養】 Music and Transnationalism
副題 subtitle	
対象学生	
単位 credit	2
学期 semester	後期 Semester II
曜日 day 時限 period	月曜日 9・10 時限目 Monday Period 9・10
授業形式 class format	講義 Lecture
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	諏訪淳一郎 (国際連携本部) SUWA Jun'ichiro (D-IEC)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	異なる国の地域・社会・文化などを理解することを通して、多元的な知性・知恵・実践的教養能力を身につけること Student will acquire the knowledge with multifaceted aspect through understanding cultures of the world.
授業の概要 course description	音楽を聴く(あるいは演奏・創作する)ことは、人間として存在することの重要な条件である。しかし、世界の音楽文化は多様であって、その背景には複雑な事情が存在している。この授業では、多元的な知性を育みながら世界の中の一地域で暮らすことの特異性と、人間の音楽による営みの普遍性という二つの側面を有する音楽がもつ文化的な力について理解を深める。 Music listening (and making) is an indispensable condition of humanity. However, musical culture is globally various and behind it there are complex backgrounds. This class will deepen understanding about particularity of regional lives as well as universality of life with music.
授業の内容予定 schedule of the class	1. 序論「近い体験・遠い体験」Introduction "near and far experience" 2. P0序:「語りえぬもの」のエスノグラフィー Introduction 3. 『扉をたたく人』視聴 The Visitor 4. 『扉をたたく人』リフレクション The Visitor reflection 5. P01:「いま-ここ」の神話論理 Chapter 1 6. P02:呼びかけと振り向き Chapter 2 7. アフリカン・ディアスポラ① African diaspora 8. アフリカン・ディアスポラ② ditto 9. P03: テリトリーを生み出す「切り分け」(前) Chapter 3 10. P03: テリトリーを生み出す「切り分け」(後) Chapter 3 (cont'd) 11. 南アジア・西アジア・マグリブ South Asia, Western Asia and Magrib 12. ポストコロニアリズム Postcolonialism 13. P04:「あいだ」の感覚(前) Chapter 4 14. P04:「あいだ」の感覚(後) Chapter 4 (cont'd) 15. P05:メラネシアのポップ Chapter 5 16. P06:トゥバのホームメイ Chapter 6 ※P0=『パフォーマンスの音楽人類学』Performance no Ongaku-jinruigaku
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	リフレクションペーパー 90% Reflection paper 授業参加 10% Participation
準備学習(予習・復習) 等の内容 preparation for class	予習:教科書を読み次回の導入を理解する。Have an idea about next lecture's topic 復習:リフレクションペーパーの振り返り。Review reflection paper
教材・教科書 text	『パフォーマンスの音楽人類学』(勁草書房 2012年)
参考文献 references	
留意点・予備知識 remarks	世界の音楽文化に興味をもって授業に臨んでください。Students are expected to share a deep interest in music.

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 9・10 時限目 Teams
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	<u>suwa@hirosaki-u.ac.jp (スペース空ける)</u>
授業形態及び授業方法 Class form and method	Reflection paper in English is accepted but the class is entirely in Japanese. Interest in music with intellectual scope helps. You are also encouraged to get a copy of text book.
その他 other	

授業科目名 subject [英文名]	現代日本学-日本文学とアイデンティティの形成-【教養】 Modern Japanese literature and the formation of identity
副題 subtitle	現代日本学-日本文学とアイデンティティの形成-
対象学生	Japanese students and International students 日本人学生と留学生
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	Tuesday 火曜日 5・6 (12:40~14:10)
授業形式 class format	Lectures and discussions レクチャー、ディスカッション
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (Dept of Int. Education and Collaboration 国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日本の社会と文化を世界の国々と比較の観点から考察し、現代日本学に関する深い知識を獲得すること
授業の概要 course description	In this course we will examine the lives and works of modern Japanese authors whose writings illuminate the formation of Japanese identity. In addition to discussing assigned texts and examining related resources, we will view screen versions of selected works. 近代文学に反映されている日本人のアイデンティティの形成を考察します。テキストに関するディスカッション、関連資料の解説に加え映画を鑑賞することを通して作品の理解を深めます。
授業の内容予定 schedule of the class	Session 1: Introduction Session 2~4: The broken commandment 『破戒』 Session 5~6: Foreign studies 『留学』 Session 7~9: No longer human 『人間失格』 Session 10~11: A personal matter 『個人的体験』 Session 12~14: Deep river 『深い河』 Session 15: Final reflections 振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluation will be based on written work completed in class (100%). 評価は授業で完成するレポート (100%)に基づいて行なわれます。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Students will be required to read literary works and prepare for the discussions which will be held at each session. Review: They will be required to reflect on the content of classes in order to complete their written work. 予習: 学生は作品を読み、毎回行なわれるディスカッションの準備をします。 復習: コースの内容を振り返りながらレポートに取り組みます。
教材・教科書 text	Learning materials will be provided. 資料は配布されます。
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	This course will be taught in Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other during class discussions. 指導は日本語と英語で行います。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Office hour Thursday /4 (14:20～15:50) by appointment. オフィス・アワー木曜日/4 (14:20～15:50) 予約要
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Classes will be held in person. Teams will be used in the event of online instruction being required. 授業は対面で行います。メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。
その他 other	Class capacity: 20 Lots will be drawn if enrollments exceed class capacity. 定員：20名 定員を超えた場合はくじ引きを行います。

授業科目名 subject [英文名]	地域プロジェクト演習 - 津軽地域文化国際共修 - 【教養】 Regional Project Seminar - Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru -
副題 subtitle	津軽地域文化国際共修(つがるちいきぶんかこくさいきょうしゅう) [Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru]
対象学生	留学生、日本人学生2, 3, 4年生(医学部1年生) International students, Japanese students
単位 credit	2
学期 semester	後期/Second Semester
曜日 day 時限 period	火曜7・8 Tue. 7・8
授業形式 class format	グループワーク、レクチャー、演習 Group work, Lecture, Exercise
担当教員(所属学部) lecturer (faculty)	高橋千代枝(国際連携本部) Chiyoe, TAKAHASHI(D-IEC)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	<p>①青森県津軽地方に残る日本文化的な歴史遺産や伝統文化等についての理解を深める ②地方に残る歴史・文化的資源を教材として学ぶことを通して、他国の文化と比較してどのような特徴があるかを客観的に見る視点を身につける ③異文化を背景に持つクラスメートと一緒に活動することによって、国・言語・文化を超えて相手のことを理解する異文化コミュニケーションの能力を身につけ、自分の身の回りにある社会的な問題に気づき、柔軟な発想で解決する方法を提言することができるようになる</p> <p>①Deepen student's understanding about the Japanese culture, history, and traditional culture, etc. especially which left in Aomori-ken Tsugaru area. ②By studying the history and culture of the region, students can objectively see the characteristics of your own culture compared to the culture of other countries. ③By working with classmates who have different cultures, you can acquire the ability of cross-cultural communication to understand the other person regardless of country, language, and culture, and become aware of social problems around you, and will be able to propose solutions with flexible ideas.</p>

<p>授業の概要 course description</p>	<p>青森県津軽地方の観光地や日本の伝統文化、伝統工芸等について留学生と日本人学生の混成メンバーのグループを作り調査、まとめ、発表、ディスカッションを行う。また、津軽の歴史文化専門の教授や伝統工芸の職人さん、伝統文化の伝承に関わる方をゲストスピーカーとして授業に招き講演、ワークショップを行い、実際にこぎん刺しをしたり、こけしの絵付けをしたり、ねぶた絵を描くなどの体験を行う。その後、グループに分かれ、津軽文化の中から一つテーマを決め、グループワークで調べ学習・ディスカッションを行い、津軽地方の歴史・文化を世界に発信するためのPR動画を複言語で作成する。本動画は、伝統工芸の工房を訪ねたり、そこの職員の方にインタビューをするなどして大学外で学生自身が情報収集、撮影を行い編集までをおこなう。「津軽地方を世界にPRする」ことを目的とし、日本人学生と留学生が協働で本プロジェクトに取り組み、日本文化の基礎知識と地方の豊かな文化資源の普遍的価値を再発見し、大学から地方活性化に寄与する方法を考え世界に津軽文化を発信する機会とする。</p> <p>In order to learn about the Japanese culture, especially those traditional culture, crafts, etc. which is left in the Tsugaru region of Aomori prefecture where Hirosaki University is located, students will do groupwork to make research and presentation about the regional culture in Tsugaru. We invite special guests to make special lectures and workshops. The special guest, one is a Japanese culture(Tsugaru regional history and culture) experts professor, three of them are the professional craftsman or teacher of traditional crafts in Tsugaru(Kokeshi, Koginzashi embroidery, Neputa picture drawing). And We will have three workshops which we actually make an crafts and visit to Kokeshi-museum in Kuroishi-city by bus as a field trip. After all the lectures and workshops, you pick up one traditional culture in Tsugaru region as a theme of PR video making in multilingual. Students themselves go visit to traditional craft factory or sightseeing spots to shoot video and gather the materials for it. Through these activities outside of the university, such as interviewing local staff, Japanese students and international students collaborate on the project work to "promote the Tsugaru region to the world". Finally, It will be an opportunity to rediscover the basic knowledge of Japanese culture and the rich cultural resources of the region, and to think about ways to contribute to regional revitalization from the university and disseminate it to the world.</p>
<p>授業の内容予定 schedule of the class</p>	<p>第1回 オリエンテーションと他己紹介 以降、以下の内容について授業内でスケジュールを立てます： 1. 津軽地方の文化や伝統工芸について、グループ発表（5つのテーマから選ぶ：ねぶたまつり、こけし、こぎん刺し、青森の文化、文化と社会の結びつき） 2. ゲストスピーカー、プロの職人さん、伝統工芸に係る人による講演、ワークショップ（テーマ：こぎん刺し、こけし、ねぶた絵他） 3. 黒石市こけし館へバスツアー（見学と絵付け体験）（土曜日に行きます） 4. グループワーク テーマ決め、ディスカッション、動画作成案の企画立案、動画撮影、編集、発表準備 第15回 動画発表会、総括 ※こけし館訪問と、ねぶた絵ワークショップは11月～12月の土曜日に行います。 ※1月中は授業を行いません（8時間4コマ分を振り替え）。その間にグループワークでビデオ作製をしていただきます。 ※最後に作成する津軽文化のPRビデオは多言語で作成してください。作成されたビデオは、大学や地域のPR活動に使用される場合があります。 Contents of this class: 1. Group presentation to prepare to research of regional traditional culture as a group mixed by international students and Japanese students for 4~5 themes(About the features of Aomori , Tsugaru cultures, Neputa-festival, Kokeshi doll, Koginzashi embroidery, The connection of the culture and the society). 2.The special lecture from the professor major in Tsugaru historical culture. 3.Lectures and workshops by guest professional craftsmen (Theme:Koginzashi embroidery, Kokeshi doll, Neputa picture, or other 4. Field tour to the Kokeshi museum in Kuroishi city by bus. 5. Making PR multilingual video(choose the theme, research and discussion, planning of video creation, video shooting, editing, presentation preparation) as a final task. 6. Final presentation of your PR Video in multilingual. ※We will arrange the date of those lectures, workshops, and field trip(2 times on Saturday in November or December) ※From week11 to week14 we have no class, but creating video by groupwork. ※The first class is for orientation and peer-introduction activity.</p>

成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	授業参加態度10%、グループワークにおける活動（ポートフォリオ、相互評価による）40%、作成動画・発表の内容と最終レポート50% Class participation attitude10%、Activities in group work (self and peer evaluation)40%、Contents of the created video and presentation and the Final Report 50%
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	授業内で指示します。 It will be given in class.
教材・教科書 text	教科書なし Information paper will be distributed as appropriate.
参考文献 references	
留意点・予備知識 remarks	<p>この授業は留学生と日本人学生が共に学ぶ「国際共修」授業です。使用言語は日本語ですが、日本語能力が十分でない学生も参加できるよう英語での通訳ややさしい日本語に直して解説する等します（できればN3以上。N4の人でも可）。最終的に作成してもらう動画は、多言語を使用したものを想定していますので、日本人学生もグループワークにおいては、留学生のメンバーとコミュニケーションを取ってこのプロジェクトを行っていただきます。このため、英語を使うのみでなく、易しい日本語を使ったり、ジェスチャーや漢字を使ったりして、学生間のコミュニケーションを積極的にを行い、意思疎通を図ってください。</p> <p>また、動画撮影に必要な機材は国際連携本部から貸し出しが可能ですが台数に限りがあるので要相談です。スマホ等を使用していただいてもかまいません。できれば動画編集ソフトの知識等があると良いですが、なくてもメンバーと協力して勉強して身につけていきましょう。</p> <p>This class is an "international co-education" class that both international students and Japanese students learn together. The language used is basically Japanese, but English translations or easy Japanese will be provided (desirely more than N3, but N4 level students can participate). The final PR video must be created in multiple languages, so students who take this class will be asked to communicate with classmates from all over the world to carry out this project in group work. For this reason, please not only use Japanese or English, but also use easy Japanese, gestures or Chinese characters to actively communicate with each other.</p> <p>The equipment required for video recording can be rented from the D-IEC in Hirodai, but consultation is required as the number is limited. You can use your smartphone etc. If possible, it would be nice if you had knowledge of video editing, but even if you don't have it, let's study and acquire it in cooperation with the members.</p>
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。 Please make an appointment by email.
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	プロジェクトワーク、講演、グループワーク Project work, lectures, group work
その他 other	<p>社会情勢やゲストスピーカーの都合により授業の内容が変更になる場合があります。</p> <p>*This syllabus is subject to change based on the needs of the class.</p> <p>*The schedule or theme of the lectures by guest speakers is subject to change.</p>

授業科目名 subject 〔英文名〕	現代日本学-日本の表象文化-【教養】 Japanese Culture and Representation
副題 subtitle	日本の表象文化: Japanese Representation Culture
対象学生	
単位 credit	2
学期 semester	後期Second Semester
曜日 day 時限 period	火曜日9・10時限目 Tuesday, Period 5
授業形式 class format	講義Lecture
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	諏訪淳一郎 (国際連携本部) SUWA Jun'ichiro (DIEC)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○日本の文明・文化に関する見識を深めること To deepen understanding about Japanese culture and civilization. ○日本の文明・文化に関する知識を活用して、日本および諸外国の歴史や現状、展望について理解すること To understand the past, present and future of Japan and other areas of the world through the knowledge about Japanese culture and civilization.
授業の概要 course description	教科書を参考にしながら『鬼滅の刃』を読解し、そこに現れる表象について比較文化的な理解を深める。 By referring to the textbook, the text of anga Daemon Slayer is analyzed to deepen understanding aboutn the representations expressed in the text cross-culturally.
授業の内容予定 schedule of the class	1. 序論 Introduction 2. 『鬼滅の妖異学』① Kimetsu no Yoigaku 1 (to be continued below) 3. 『鬼滅の妖異学』② 4. 『鬼滅の妖異学』③ 5. 『鬼滅の妖異学』④ 6. 『鬼滅の妖異学』⑤ 7. 『鬼滅の妖異学』⑥ 8. 『鬼滅の妖異学』⑦ 9. 『鬼滅の妖異学』⑧ 10. 『鬼滅の妖異学』⑨ 11. 『鬼滅の妖異学』⑩ 12. 『鬼滅の妖異学』⑪ 13. 『鬼滅の妖異学』⑫ 14. 『鬼滅の妖異学』⑬ 15. まとめ
成績評価方法及び採点基 準 method of evaluation	リフレクションペーパー Reflection Papers 90% 授業参加 Participation 10%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	予習: 教科書を読む。『鬼滅の刃』のストーリーを十分に理解しておく。Read the textbook and grasp the storyline of Daemon Slayer. 復習: リフレクションペーパーの振り返り。Reflection on returned reflection papers.
教材・教科書 text	『鬼滅の妖異学』 (勁草書房 2022年) Kimetsu no Yoigaku, Keiso Shobo, 2022.
参考文献 references	吾峠呼世晴『鬼滅の刃』 (集英社 2019年) English Translation: Daemon Slayer: Kimetsu no Yaiba, VIZ Media, 2019. その他、授業で紹介する。Other references will be introduced in class.

留意点・予備知識 remarks	<p>授業中にキャラクターやあらすじなどの説明はしないので、吾峠呼世晴『鬼滅の刃』（集英社 2019年）を全巻読んでおくこと。</p> <p>Lecture will be in Japanese. Students are expected to familiar with the story, setting, and characters of Daemon Slayer beforehand. If your reading skill is inadequate but still wishes to take this course, see the instructor to discuss about substitution.</p> <p>漫画のあらすじやキャラクターを紹介するサイトを利用する際には安全性に十分に配慮すること。Beware security when visiting websites.</p>
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	<p>水曜日 9・10 時限目</p> <p>Teams</p>
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	<p>suwa@hirosaki-u.ac.jp</p>
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>講義の後でリフレクションペーパーを書いてもらいます。</p> <p>Lecture and reflection paper.</p>
その他 other	<p>講義は日本語で行いますが、パワーポイント資料は英語を使用します。提出物は英語でも可能です。</p> <p>Lecture is in Japanese entirely. PowerPoint presentation is in English. Submission in English is welcome.</p>

授業科目名 subject [英文名]	地域の社会・文化－津軽の近代文化史－【教養】 Survey of the modern cultural history of Tsugaru
副題 subtitle	地域の社会・文化－津軽の近代文化史－
対象学生	Japanese students and International students 日本人学生と留学生
単位 credit	2 credits 2 単位
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	Wednesday 水曜日 5・6 (12:40～14:10)
授業形式 class format	Lectures and fieldtrips レクチャー・フィールドワーク
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (Dept. of Int. Education and Collaboration, Sugiyama Yuko 杉山祐子 and Yamada Itsuko 山田巖子 (Humanities and Life Sciences 人文社会科学部))
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	地域の社会と文化を人間の生活の営みとの関連で考察し、その仕組みを理解すること
授業の概要 course description	This course is an introduction to the modern cultural history of the Tsugaru region. It guides students on a historical journey from the Jomon era to the present. この授業は津軽近代文化史の入門です。縄文時代から近代にいたるまでの津軽文化の変動を追います。
授業の内容予定 schedule of the class	Changes may be made to the following schedule if the need arises. 状況により、下記の予定を変更する場合があります。 1. Introduction/概要 2. Field trip to Samurai dwellings 武家屋敷 3. Preparation for visit to Hirosaki castle 弘前城 4. Hirosaki castle visit 弘前城見学 5. Visit to kenjutsu dojo 剣術道場訪問 6. Oishi bugakuryu gardens 大石武学流庭園 7. Zazen 座禅 8. Itako and Jizo イタコと地蔵 9. The Tsugaru shamisen 津軽三味線① 10. The Tsugaru shamisen 津軽三味線② 11. Mt Iwaki 岩木山① 12. Mt Iwaki 岩木山② 13. Mt Iwaki 岩木山③ 14. Modern authors of Tsugaru 津軽の近代文学 15. The Modernization of Tsugaru 津軽の近代化 16. Final reflections 振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluation will be based on written work completed in class. (100%) 評価は授業で完成させるレポートに基づいて行います。 (100%)
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Readings will be assigned to prepare for lectures. Review: Students will reflect on the content of classes in order to complete their reports. 予習: 資料を読み、授業の予習を行います。 復習: 授業の内容を振り返り、レポートを書きます。
教材・教科書 text	Reading materials will be provided. 資料を配ります。
参考文献 references	N/A

留意点・予備知識 remarks	<p>This course will be taught in both Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other during class discussions.</p> <p>指導は日本語と英語で行います。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いてコミュニケーションをはかります。</p>
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	<p>Office Hour: Thurs (14:20~15:50) by appointment.</p> <p>オフィス・アワー 木曜日 (14:20~15:50) 予約要</p>
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	<p>hannah@hirosaki-u.ac.jp</p>
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>Classes will be held in person. Teams will be used in the event of online instruction.</p> <p>授業は対面で行います。メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。</p>
その他 other	<p>Class capacity: 20 Lots will be drawn if enrollments exceed capacity.</p> <p>定員: 20名 定員を超えた場合はくじ引きを行います。</p>

授業科目名 subject [英文名]	地域の食と産業化 - Cultural anthropology of local food and dietary practices - 【教養】
副題 subtitle	
対象学生	
単位 credit	2
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	水曜日 5・6時限目
授業形式 class format	講義、発表、校外学習 Lecture, Presentation and Field Study
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	諏訪淳一郎 (国際連携本部)、近藤史 (人文社会科学部)、杉山祐子 (非常勤) SUWA Jun'ichiro (DIEC), SUGIYAMA Yuko (Humanities and Social Sciences), KONDO Fumi (Humanities and Social Sciences)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○青森の食の多様性について特に食文化の観点から学びます。 Diversity of Food in Aomori from a cultural point of view will be explored. ○文化資源として青森の食が持っている潜在性について、フィールドトリップの体験から学びます。 Through excursions, potential of cultural resource in Aomori local food will be explored.
授業の概要 course description	○青森の食の多様性について特に食文化の観点から学びます。 Diversity of Food in Aomori from a cultural point of view will be explored. ○文化資源として青森の食が持っている潜在性について、フィールドトリップの体験から学びます。 Through excursions, potential of cultural resource in Aomori local food will be explored.
授業の内容予定 schedule of the class	1. General guidance [Suwa], Instruction for field trips (Buy insurance) 2. Outline of Aomori food culture [Suwa] 3. Preliminary research for Presentation 1 4. Presentation 1: 'My/Our Local Food' (1 photo in PPT) 5. Preliminary research for Presentation 2 6. Presentation 2: 'Japanese Home Cooking That I Want to Try/Eat' (1 photo in PPT) 7. 'Season, taste for homemade, cooking method, preservation' [Sugiyama] 8. Presentation 3: 'What Interests Me about Tsugaru Akatsuki no Kai' 9. Assignment: 'To Do List in Aomori' (With in-class instruction) 10-11. FT at Tsugaru Akatsuki no Kai (Equiv. 2 class hours) Pay your own meal. 12. Presentation 4: 'Tsugaru Akatsuki no Kai' 13-14. Field trip in Aomori 15. Presentation 5: 'Aomori Food Report'
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	発表80%、授業参加20% Presentation (80) and productive participation (20).
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	授業内容と発表に関する予備知識を得、それらに関するまとめを行うこと。 preparation for class materials (upon announcement), and preparation and reflection on assignments.
教材・教科書 text	TBA
参考文献 references	TBA

留意点・予備知識 remarks	<p>発表を含む授業のすべてを英語で行います。English is the standard regardless of number of Japanese natives. 履修制限あります)。 フィールドトリップは休日に実施します。The Field Trips are scheduled in weekend.</p> <p>食文化体験学習の食事代は個人負担です(1回1,500円程度)。Pay your own meal. 授業の順番は暫定のものです。確定版は第1回目の授業にお知らせする予定です。 Finalized schedule is planned to be announced in the first day of class.</p>
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	<p>水曜日9・10時限目(諏訪淳一郎) Teams</p>
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	発表と講義は英語で行います。In English.
その他 other	<p>サークル活動などを理由に校外学習を欠席することは認めません。 The field trips are absolute requirement.</p>

授業科目名 subject [英文名]	現代日本学-現代日本文化論-【教養】 Contemporary Japanese Culture
副題 subtitle	現代日本文化論 Contemporary Japanese Culture
対象学生	
単位 credit	2
学期 semester	Second Semester
曜日 day 時限 period	Thursday Period 5・6
授業形式 class format	講義Lecture
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	SUWA Jun'ichiro (DIEC)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日本の社会と文化を世界の国々と比較の観点から考察し、現代日本学に関する深い知識を獲得すること Through crosscultural analysis about Japanese and other cultures of the world, students will deepen understanding about Japanology//
授業の概要 course description	アニメ『千と千尋の神隠し』の視聴しながら、日本と世界の文化の比較を行い、それぞれに関する知識を深める。 Cross-cultural analysis will take cases from Spirited Away (2000).
授業の内容予定 schedule of the class	1. 序論 introduction 2. 『千と千尋の神隠し』視聴① Spirited Away 3. 『千と千尋の神隠し』視聴② 4. 『千と千尋の神隠し』視聴③ 5. 『千と千尋の神隠し』視聴④ 6. 神話的現実について Mythical reality 7. 「ねじ式」Nejishiki 8. 「銀河鉄道の夜」Galaxy Express 9. 湯立神楽と来訪神 kagura and visiting gods 10. 血と不浄 blood and profenity 11. カオナシの場所性 No Face 12. ヘテロトピア heterotopia 13. オルフェウスとヤヌス Orpheus and Janus 14. 正統的周辺参加 Legitimate peripheral participation 15. まとめ conclusion ※順序や内容が変わることがあります。
成績評価方法及び採点基 準 method of evaluation	リフレクションペーパー Reflection Paper 90% 授業参加Participation 10%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	予習: 作品の内容を理解しておく。Understand contents of the anime. 復習: リフレクションペーパーによる学修 Reflection on reflection papers.
教材・教科書 text	なし
参考文献 references	授業中に紹介する。TBA
留意点・予備知識 remarks	パワーポイントは英語で表示し、講義は日本語で行う。 English projector, lecture in Japanese.

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 9・10 時限目 Teams
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義の後でリフレクションペーパーを書いてもらいます。 Reflection paper after lecture in each class.
その他 other	

授業科目名 subject [英文名]	国際地域・社会・文化 - 異文化間コミュニケーション - 【教養】 Intercultural communication
副題 subtitle	
対象学生	日本人学生・留学生（中上級以上の学習者：JLPT N2を取得済み、または取得を目指す人）
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	後期 (II semester)
曜日 day 時限 period	水曜日 (Wed) 9・10時限 (16:00～17:30)
授業形式 class format	講義・演習
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGA0, Kazuko (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○異なる国の地域・社会・文化などを理解することを通して、多元的な知性・知恵・実践的教養能力を身につけること ○国内の地域差も含めた文化の違いを考える際に参考となる基本的な考え方を知る ○ケーススタディやクラスメートとの対話を通して、様々な立場からある状況について見ることができる ○タンデムパートナーやその文化について知る
授業の概要 course description	異文化間コミュニケーションについての講義を聞き、各回のテーマに関して、留学生と日本人学生による小グループでの意見交換と考察を行います。各回のテーマに出てくる概念を元にして、自分や相手の体験を語り合い、ケーススタディを分析していく中で、今後、起こりうる異なる背景を持つ相手とのコミュニケーションを円滑に行えるような知見を養います。 授業外活動として、テレタンデム（言語交換 ＊ペアにより日本語中心、日本語と英語、日本語と学習している言語、など異なります。）
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション BEVIについて 第2回 文化とは？ 見える文化と見えない文化 第3回 コミュニケーションスタイルの違い 第4回 ステレオタイプ 第5回 カルチャーショック 第三者返答 第6回 自分の方言と若者ことばを教え合おう 第7回 カルチャーマップ① ケーススタディ 留学編 第8回 カルチャーマップ② ケーススタディ 職場編 第9回 ドキュメンタリー『ハーフ』①最も印象に残った人物 第10回 ドキュメンタリー『ハーフ』②将来への展望 第11回 自分史 ライフチャート やさしい日本語 第12回 価値観 自分の文化で大切にされていること 第13回 異文化感受性発達モデル (DMIS) / 異文化理解力の自己評価 (Value Rubric) 第14回 相互文化的能力 (Byram) 第15回 ふりかえりマップ作り これからしていきたいこと BEVI 第16回 最終レポート提出
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	出席・授業での積極的参加 20% 毎回のテーマについてのコメント 20% テレタンデムとふりかえり 20% 最終レポート 40%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	毎回のテーマについてコメントを書き込むこと テレタンデムについてのふりかえりをFormsに書き込むこと

教材・教科書 text	西田ひろ子 (2000) 『異文化コミュニケーション入門』 創元社 エリン・メイヤー (2015) 『異文化理解力 The Culture Map』 英知出版 ※教科書を購入する必要はありません。
参考文献 references	庵功雄・岩田一成・佐藤琢三・柳田直美 (2019) 『<やさしい日本語>と多文化共生』 ココ出版 オーサ・イエークストロム (2015) 『北欧女子オーサが見つけた日本の不思議』 KADOKAWA 近藤彩・金孝卿・ムグダ ヤルディー・福永由佳・池田玲子 (2013) 『ビジネスコミュニケーションのためのケース学習』 ココ出版 マイケル・バイラム (2015) 『相互文化的能力を育む外国語教育 グローバル時代の市民性形成をめざして』 大修館書店 宮崎七湖 (編著) 江後千香子・武一美・田中敦子・中山由香・村上まさみ (2016) 『留学生のためのケースで学ぶ日本語 問題発見解決能力を伸ばす』 ココ出版 「外国につながる子供たちの物語」編集委員会 (2020) 『まんが クラスメイトは外国人 課題編 ―私たちが向き合う多文化共生の現実―』 明石書店 山本志都・石黒武人・Milton Bennett・岡部大祐 (2022) 『異文化コミュニケーション・トレーニング―「異」とともに成長する』 三修社 吉開章 (2023) 『増補版 入門・やさしい日本語 外国人と日本語で話そう』 アスク出版 Bennett, M. J. (2004). Becoming interculturally competent. In J.S. Wurzel (Ed.) Toward multiculturalism: A reader in multicultural education. Newton, MA: Intercultural Resource Corporation. http://www.idrinstitute.org/allegati/IDRI_t_Pubblicazioni/1/FILE_Documento.pdf その他、適宜お知らせいたします。
留意点・予備知識 remarks	留学生の場合は、日本語での講義が理解できること（日本語能力試験N2以上が望ましい） テーマに関する体験や自分の考えについて話し合う時間があります。 計6回ほどのテレタンデムでは日本語のほかに英語や他の学習中の言語で意思疎通する場合があります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業中に質問するか、メールかTeamsで予約を取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義・テーマに関する対話・テレタンデム
その他 other	シラバスの内容は流動的です。学生の進度や興味によりシラバスが変更される場合があります。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	国際学生フォーラム【人文】 International Student Forum: Borderless dialogue
副題 subtitle	国際学生フォーラム:国境なき対話
対象学生	International students and Japanese students 留学生と日本人学生
単位 credit	2 credits
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	Wednesday 9・10 (16:00～17:30)
授業形式 class format	Lectures, group discussion, service learning レクチャー、グループ・ディスカッション、サービス・ラーニング
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Sawada Shinichi 澤田真一 (Humanities) Hannah Joy Sawada (Dept.of International Education and collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	To improve communication skills for the purpose of fostering intercultural collaboration.
授業の概要 course description	This class is taught bilingually in Japanese and English, for the mutual understanding of International and Japanese students. An initial introduction will be given to the practice of dialogue and the topics we will be considering in this course. Classes will consist of talks given by visitors, discussions, presentations of findings, service learning and reflection.
授業の内容予定 schedule of the class	Session 1～3 Introduction Session 4～8 Discussion Topic: Reponding to poverty in our communities Session 9～11 Discussion Topic: Gender and sexuality Session 12～15 Discussion topic:Difference and discrimination Session 16 Final reflections : What changes can we bring about?
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Group service learning:40% Oral presentations: 20% Reflective written work: 40%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation will be required for discussions. Review will be required for reflections
教材・教科書 text	Handouts will be provided.
参考文献 references	Helpful references will be introduced in class.
留意点・予備知識 remarks	Class capacity: 10 International students and 10 Japanese students.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Hannah Sawada: Thursdays 14:20-15:50 by appointment
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction is given in Japanese and English. Students are expected to make effort to use both languages to the best of their ability in order understand and learn from each other.
その他 other	

授業科目名 subject [英文名]	現代日本学-日本の女性による文学-【教養】 Japanese women writers and their literature
副題 subtitle	現代日本学-日本の女性による文学-
対象学生	Japanese students and International students 日本人学生と留学生
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	Thursday 木曜日 5・6 (12:40~14:10)
授業形式 class format	Lectures and discussions レクチャー・ディスカッション
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (Dept. of Int. Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日本の社会と文化を世界の国々と比較の観点から考察し、現代日本学に関する深い知識を獲得する。
授業の概要 course description	In this course we will read works by Japanese women writers that reflect the evolution of gender roles from the Meiji era to the present. We will discuss the works under consideration, examine related resources and watch screen versions in order to gain a deeper understanding of what they convey. ○明治時代から今日までジェンダーロールを取り上げた日本の女性作家による文学作品について学びます。 ○作品についてディスカッションをし、関連資料の解説に加え映画を見ながら内容を考察します。
授業の内容予定 schedule of the class	1: Introduction 概要 2: House of the Sleeping Beauties 『眠れる美女』 3: House of the Sleeping Beauties 『眠れる美女』 4: Sandakan Brothel No.8 『サンダカン八番娼館』 5: Sandakan Brothel No.8 『サンダカン八番娼館』 6: Sandakan Brothel No.8 『サンダカン八番娼館』 7: The Waiting Years 『女坂』 8: The Waiting Years 『女坂』 9: The Twilight Years 『恍惚の人』 10: The Twilight Years 『恍惚の人』 11: The Twilight Years 『恍惚の人』 12: Woman on the Other Shore 『対岸の彼女』 13: Woman on the Other Shore 『対岸の彼女』 14: Woman on the Other Shore 『対岸の彼女』 15: Final reflections 振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluation will be based on written work completed in class(100%). 評価は授業で完成させるレポート(100%)に基づき、行われます。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Students are required to read materials and prepare for discussions held in each session. Review: They are required to reflect on the content of the course in order to complete their written work. 予習: 学生は作品を読み、授業で行なうディスカッションの準備をします。復習: 学習内容を振り返り、レポートに取り組む。
教材・教科書 text	Reading materials will be provided. 資料を配布します。
参考文献 references	N/A

留意点・予備知識 remarks	Classes will be conducted in Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other during class discussions. 授業は日本語と英語の両方で行ないます。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Thursday (14:20～15:50) by appointment. 木曜日 (14:20～15:50) 予約要
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Classes will be held in person. Teams will be used in the event of online instruction being required. 授業は対面で行います。メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。
その他 other	Class capacity: 20 Lots will be drawn if enrollments exceed class capacity. 定員：20名 定員を超えた場合はくじ引きを行います。

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップB-リンゴ栽培、商品開発、マーケティング- Internship B-Apple cultivation, product development and marketing-
副題 subtitle	インターンシップ B: リンゴ栽培、商品開発、マーケティング
対象学生	Exchange students who have arrived in Japan and can converse in basic Japanese (English support available) 入国し、日本語で日常会話のできる交換留学生 (英語のサポートあります)
必修・選択	選択
単位 credit	(2 Credits) 2単位
学期 semester	(II Semester) 後期
曜日 day 時限 period	Monday 月曜日 9・10 (16:00~17:30)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in Apple cultivation and related industries, of which Aomori prefecture has the largest share in Japan. このインターンシップでは 青森県が全国で最大のシェアを誇るリンゴ栽培と関連業界で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	It gives students first-hand experience of work in cultivation, product development and marketing. 学生に栽培、商品開発とマーケティングの実体験をさせるものです。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will work at an Apple Orchard, Ridun Co. Ltd. for 6 days during the second semester (Dates to be negotiated). They will be required to shadow and support a wide range of staff duties. 後期中の6日間リンゴ農園株式会社リズンに勤務し各種の業務をサポートする(日程は交渉後確定)。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料の熟読をします。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。

授業形式・形態及び授業方法 class format	After preliminary guidance, students will undertake tasks they are assigned at their workplace. They will submit a final report on completion. 事前指導を受けてからインターンシップ先で課題に取り組みます。終了時にレポートを提出します。
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants. They will be required to take a short local train ride from a station close by Hirosaki University in order to reach the orchard. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。弘前大学の近くの駅から電車で通勤します。
オフィスアワー Office hour	Thursday 14:20～15:50 by appointment.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	N/A

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	インターンシップB-観光PR- Internship B-Tour Promotion-
副題 subtitle	インターンシップ B: 観光PR
対象学生	International students with upper intermediate Japanese language proficiency or above 日本語中上級以上の語学力を有する交換留学生
単位 credit	2 Credits 2 単位
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	Friday 金曜日5・6時限 (12:40～14:10)
授業形式 class format	Internship (preparatory instruction/workplace experience/reflection) インターンシップ(事前指導/職場実習/振り返り)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in the Japanese or Japan-related tourist industry. このインターンシップ日本、又は日本に関係した観光産業で必要とされるスキルを身に着けることを目的とします。
授業の概要 course description	It offers first hand experience in working with the officials of Hirosaki City International Tourism Division. 弘前市観光部国際広域観光課のスタッフとともに働く機会を提供します。
授業の内容予定 schedule of the class	1: Preparatory instruction 事前指導 2: Work with city officials, including translating promotion materials, writing posts for the Tourism division's instagram account, and taking part in on-site training for Japanese guides. 市役所職員とともに作業し、資料の翻訳、観光部のインスタグラムの投稿、ガイド学校のフィールドワークに参加。 3: Final reflections and report. 振り返りと活動報告レポート。
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read resources before attending meetings. 打ち合わせに先立って資料の熟読が求められます。
教材・教科書 text	Resources will be provided. 関連資料を提供します。
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants. Upper intermediate Japanese language proficiency or above is required. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。中上級以上の日本語能力が必要となります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Wednesday 水曜日12:40～14:10 by appointment.

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>Students will be required to go to the city office to attend staff meetings, which may end later than 14:10, so students who plan to take another class from the next period will not be able to participate in this internship. This internship will also involve a measure of weekend work. Dates to be announced.</p> <p>学生が弘前市役所で出席する会議は14:10以降に終了する場合があるため、14:20から別な授業を受ける予定の学生はこのインターンシップに参加できません。なお、一定の週末の勤務も含みます。日程は後日調整となります。</p>
その他 other	<p>Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this company is located by also enrolling in "Survey of the cultural history of the Tsugaru region" (Wednesday 12:40~14:10)</p> <p>このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽の近代文化史」（水曜日12:40~14:10）をも履修することを強くお勧めします。</p>

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップB-シティ・プロモーション- Internship B-City Promotion-
副題 subtitle	インターンシップB: シティ・プロモーション
対象学生	Exchange students with upper-intermediate Japanese proficiency or above who have arrived in Japan 日本語中上級以上の語学力を有し、入国した交換留学生
必修・選択	選択
単位 credit	(2 Credits) 2単位
学期 semester	(II Semester) 後期
曜日 day 時限 period	Friday 金曜日 5・6 (12:40~14:10)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in Japan. 日本で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	It gives students who have arrived in Japan first-hand experience of work in municipal administration. このインターンシップは入国できた学生に地元自治体事務に関わる仕事の実体験をさせるものです。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will be required to work at the Hirosaki City Office during their free periods, and pre-arranged weekends when involving city events (Dates to be negotiated and confirmed). Duties will pertain to city promotion and are anticipated to involve gathering information and preparing promotion materials. A measure of remote work may be incorporated, depending on circumstances. 学生の空きコマやイベントと関わる場合はあらかじめ調整した週末、弘前市役所に勤務する。業務は、リソースが豊富な弘前市が近年戦略的に進めている国内外に向けた情報発信などのシティプロモーション事業に関わるもので、弘前市の情報の発掘、PR映像、チラシ等の編集、作成、効果的活用の補助などを行う。状況により、実習の一部をリモートで行うかもしれません。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students are required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料を熟読します。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
授業形式・形態及び授業 方法 class format	Preparatory sessions will be held before work at the city office begins. 勤務前に事前指導を行う。

留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants who should have upper intermediate level of Japanese or above. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。中上級以上の日本語能力が必要となります。
オフィスアワー Office hour	Thursday 14:20～15:50 by appointment.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where Hirosaki city is located by also enrolling in "Survey of the cultural history of the Tsugaru region" (Wednesday 12:40～14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽の近代文化史」（水曜日12:40～14:10）をも履修することを強くお勧めします。

授業科目名 subject 〔英文名〕	インターンシップB-Webマーケティング- Internship B-Web marketing-
副題 subtitle	インターンシップ B: Webマーケティング
対象学生	International exchange students with a high level of proficiency in English or other languages 英語、あるいは他の言語の高い能力を持った交換留学生
単位 credit	2 Credits 2 単位
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	Monday 月曜日 7・8 (14:20～15:50)
授業形式 class format	Internship (preparatory instruction/workplace experience/reflection) インターンシップ(事前指導/職場実習/振り返り)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire skills required for working in a Japanese workplace through first-hand experience under the supervision of Consis Co.Ltd. このインターンシップは 株式会社コンシスの指導下で、日本の職場で必要とされるスキルを身に着けることを目的とします。
授業の概要 course description	After initial preparatory instruction students will translate tourism-related websites operated by Consis Co. Ltd. into other languages and make this information available on the internet. They will conduct marketing analysis of the information they have posted and utilize this for further transmission of information and tour content development. They will also support consultation for prefectural businesses and organizations. 学生は株式会社コンシスが運営している観光関連情報サイトを多言語化することにより、当該言語が主なコミュニケーション手段とする人たちに情報発信を行う。また発信した情報のマーケティング分析を行い、情報発信や観光コンテンツの開発に活かす。県内企業・団体のコンサルティングサポートを実施する。
授業の内容予定 schedule of the class	Changes may be made to the following schedule depending on circumstances : Sessions 1～2 : Preparatory instruction. (Writing a personal history, first meetings and manners, communications related to the workplace) Sessions 3～13 : Weekly online meetings with supervisors, and submission of tasks outlined above Session 14～15 : Final reflections and report 状況によりスケジュールを変更する場合があります。 1～2 : 事前指導 (履歴書の書き方、会社訪問やマナー、職場に必要なコミュニケーション) 3～13 : ミーティング・課題提出 14～15 : 振り返り、最終レポート
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students are required to read and familiarize themselves with resources. 関連資料を熟読します。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料が配布されます。
参考文献 references	N/A

留意点・予備知識 remarks	Numbers of participants are strictly limited, and a high standard of conduct is required of all. Participants must attend all meetings, and submit all tasks. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。すべてのミーティングに出席し課題を完成させなければなりません。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Office hour Thurs 5・6 (14:20-15:50) by appointment. オフィス・アワー水曜日5・6 (14:20-15:50) 予約要
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction will be mostly given in Japanese but English support will be available. Students will be required to go to the company office to attend staff meetings, which may end later than 15:50, so students who plan to take another class from the next period will not be able to participate in this internship. 指導は主に日本語で行いますが英語のサポートもあります。学生が会社で出席する会議は15:50以降に終了する場合があるため、16:00から別な授業を受ける予定の学生はこのインターンシップに参加できません。
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this company is located by also enrolling in "Survey of the cultural history of the Tsugaru region" (Wednesday 12:40~14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽の近代文化史」(水曜日12:40~14:10)をも履修することを強くお勧めします。

授業科目名 subject 〔英文名〕	インターンシップB-地域ツーリズム- Internship B-Regional Tourism-
副題 subtitle	インターンシップB：地域ツーリズム
対象学生	Exchange students who have upper intermediate Japanese language proficiency OR a high level of English along with a minimum of intermediate level Japanese. 中上級以上の日本語能力あるいは高い英語能力と中級日本語能力を持つ交換留学生
必修・選択	選択
単位 credit	(2 Credits) 2単位
学期 semester	(II Semester) 後期
曜日 day 時限 period	Thursday 木曜日 9・10 (16:00～17:30)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in the tourist industry. このインターンシップは 観光業界で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	It gives students first-hand experience of work in regional tourism. 学生に地域ツーリズムの実体験をさせるものです。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will work at a tourist facility, Tsugaru Han Neputa Mura for 6 Saturdays spread out over the semester (Dates to be confirmed.) They will be required to support a wide range of staff duties in addition to translating printed materials and coaching staff in the pronunciation of their own language. A measure of remote work may be assigned, depending on circumstances. 6日間学期中の土曜日に津軽藩ねぶた村に勤務する(日程は後日確定)。翻訳やスタッフの発音指導を行い、各種の業務をサポートする。状況により、実習の一部をリモートで行うかもしれません。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料の熟読をします。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
授業形式・形態及び授業 方法 class format	After preliminary guidance, students will undertake tasks they are assigned at their workplace. They will be required to submit a final report. 事前指導を受けてからインターンシップ先で課題に取り組みます。終了時にレポートを提出します。

留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。
オフィスアワー Office hour	Thursday 14:20～15:50 by appointment.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this company is located by also enrolling in "Survey of the cultural history of the Tsugaru region" (Wednesday 12:40～14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽の近代文化史」（水曜日12:40～14:10）をも履修することを強くお勧めします。

授業科目名 subject 〔英文名〕	インターンシップB-ホスピタリティ経営- Internship B-Hospitality management-
副題 subtitle	インターンシップB：ホスピタリティ経営
対象学生	International exchange students who have upper intermediate Japanese language proficiency OR a high level of English along with a minimum of intermediate level Japanese. 中上級以上の日本語能力あるいは高い英語能力と中級日本語能力を持つ交換留学生
単位 credit	2
学期 semester	Semester II（後期）
曜日 day 時限 period	Friday 金曜日 9・10（16：00～17：30）
授業形式 class format	Instruction, internship, reflection 指導、インターンシップ、振り返り
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ（国際連携本部） Hannah Joy Sawada（Dept. of Int. Education and Collaboration）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in the hospitality industry. このインターンシップは ホスピタリティ業界で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	Students will work at a Minpaku (private lodging) facility, for 6 sessions on alternative weeks. (Dates to be confirmed.) They will be required to support a wide range of staff duties in addition to translating printed/ website promotion materials into their own languages. Remote tasks will be assigned, to be completed on the weeks they are not on duty. 6回（隔週）民泊に勤務する（日程は後日確定）。スタッフの各種の業務をサポートし資料やHPの翻訳を行う。勤務しない週はリモートで資料作成に取り組む。
授業の内容予定 schedule of the class	1. Preliminary instruction 事前指導 2. Internship インターンシップ 3. Reflection 振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポートオフィスへご連絡下さい。
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料の熟読をします。
教材・教科書 text	N/A
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required. The six sessions which take place at the lodging facility will take up the entire Friday afternoon from 12:40～17:30. Students who intend to enroll in other classes on Friday afternoons cannot participate in this internship. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。6回の勤務は金曜日12:40～17:30に実施しますので、他の金曜日の午後の授業に履修している場合はこのインターンシップに参加できません。

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Thursday 14:20～15:50 by appointment.
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	After preliminary guidance, students will undertake tasks they are assigned at their workplace. They will be required to submit a final report. 事前指導を受けてからインターンシップ先で課題に取り組みます。終了時にレポートを提出します。
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region by also enrolling in "Survey of the cultural history of the Tsugaru region" (Wednesday 12:40～14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽の近代文化史」(水曜日12:40～14:10)をも履修することを強くお勧めします。

授業科目名 subject 〔英文名〕	TESOL-ティーチング・プラクティスⅡA TESOL-Teaching practiceⅡA
副題 subtitle	
対象学生	International students who are native speakers of English , or have a high level of English language proficiency
単位 credit	2
学期 semester	Semester Ⅱ 後期
曜日 day 時限 period	Tuesday 9・10 (16:00~17:30)
授業形式 class format	Instruction, preparation, teaching practice and reflection.
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Natsuko Tatsuta (Institute for Promotion of Higher Education), Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Ed and Collaboration), Tsuyoshi Sato (Faculty of Education)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	This class aims to provide instruction and practical training in teaching English to speakers of other languages.
授業の概要 course description	Participants will receive instruction and supervision regarding preparation of activities/exercises aimed to enhance English language acquisition. They will implement this content in classes held by the lecturer for Japanese students.
授業の内容予定 schedule of the class	1. Meeting (instruction, preparation and reflection) will be undertaken on Tuesdays 9・10. 2. Participants will practice teaching the content they have prepared at a number of English language classes for Japanese students held on the following days/times: Tuesday 1・2, Tuesday 5-6, Thursday 1・2., Friday 1-2, or Friday 5-6. (Days for practice will be negotiated, not to clash with other classes that participants are required to enroll in.)
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	Reflection paper of teaching practice: 80% Final paper: 20%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Participants are required to attend meetings on Tuesdays 7・8 to prepare for teaching practice, and will practice teaching at least once a week, for a total of 13 times at English language classes and complete a reflection paper after each teaching practice. (October 16-January 31).
教材・教科書 text	N/A
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Both a high level of English language proficiency and a basic level of Japanese language proficiency or above are required in addition to enthusiasm regarding education.
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	総合教育棟2F B206-4 Tuesdays 10:30-12:00 Thursdays 10:30-12:00
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	tatsuta*hirosaki-u.ac.jp (replace the @ with *)
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction, practice and reflection
その他 other	A certificate of completion will be issued to those who have earned credits.

授業科目名 subject 〔英文名〕	児童教育-ティーチング・プラクティスⅡB Childhood Education - Teaching practiceⅡB
副題 subtitle	
対象学生	Exchange students who have upper intermediate Japanese language proficiency OR a high level of English along with a minimum of intermediate level Japanese. 中上級以上の日本語能力あるいは高い英語能力と中級日本語能力を持つ交換留学生
単位 credit	2
学期 semester	ⅡSemester 後期
曜日 day 時限 period	Friday (金) 7・8 (14:20～)
授業形式 class format	Instruction, preparation, practice, reflection 指導、準備、実習、振り返り
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This class aims to give students a deeper understanding of childhood education in Japan and an opportunity to practice teaching children multicultural understanding. 日本における児童教育について理解を深め、多文化理解を育む教育の実習を行う。
授業の概要 course description	Participants will be given initial instruction, and prepare activities to foster multicultural understanding for children, primarily of kindergarten and elementary school age. They will implement these activities in educational facilities, and reflect on their practice to improve outcomes. 事前指導後、保育園児や小学生向けに国際理解を育むアクティビティを準備し、教育機関で実習を行う。実習後、振り返り、改善方法を考える。
授業の内容予定 schedule of the class	1. Initial Instruction and preparation 事前指導、準備 2. Core teaching practice at Kindergarten/after school facilities every other week 隔週、保育園や児童館で実習 (Additional visits to other facilities may also be undertaken, for further experience 他の施設を訪問する機会もあるかもしれません) 3. Reflection on activities 実習の振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Participants grades will be based on evaluations of performance completed by staff of facilities visited, and their own reflections. 実習先の評価と振り返りレポートに基づいて採点を行います。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will prepare for teaching practice and reflect on their performance to consider possible improvements. 実習内容の準備をし、振り返りを通して改善を検討する。
教材・教科書 text	N/A
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required. On days that practice is undertaken at educational facilities, students will not be able to return to University until 17:30, so they must keep this time slot free. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。実習を実践する日は17:30まで大学に戻れませんので、この時間帯を開けておく必要があります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Wednesday 5・6 by appointment

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction/practice in person.
その他 other	Students who require certification that they have participated in teaching practice in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. 成績証明書に加え実習に参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。

授業科目名 subject [英文名]	地域観光と地域プロモーションB Tourism and Regional Promotion B
副題 subtitle	
対象学生	日本語もしくは英語が中級レベル以上の外国人留学生 International students who have at least intermediate proficiency either in Japanese or English
単位 credit	2 単位 (2 Credits)
学期 semester	後 期 (II Semester)
曜日 day 時限 period	木 1・2 (1・2 Thursday)
授業形式 class format	講義、ディスカッション、発表 Lectures, Discussions and Presentations
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	鹿嶋 彰 (非常勤講師) KASHIMA, Akira
授業としての具体的到達目標 goal of the class	津軽地域の具体的なイメージを作り、それをもとに観光を核にした地域プロモーションについて、外国人留学生の視点ならではの建設的な意見を持てるようになることを到達目標とします。 The goal is to create a concrete image of the Tsugaru region and, based on that image, be able to offer constructive opinions from the perspective of an international student regarding regional promotion centered on tourism.
授業の概要 course description	○観光を通じた地域プロモーションの話題を通して、弘前を中心とした津軽地域について学びます。後期は特に津軽の秋、冬に関係した話題を中心に取り上げます。 Learn about the Tsugaru region centered on Hirosaki through the topic of regional promotion through tourism. The first half will focus on topics related to spring and summer in Tsugaru. ○津軽地域の多様な観光資源とその可能性について検討します。 Learn about the Tsugaru region centered on Hirosaki through the topic of regional promotion through tourism.
授業の内容予定 schedule of the class	○津軽の自然、歴史、食、農業、祭り等について検討し、皆さん自身の留学生の視点からの津軽地域プロモーションプランの作成に繋がります。 We will discuss Tsugaru's nature, history, food, agriculture, festivals, etc. and help you create your own Tsugaru region promotion plans from the perspective of an international student. ○「弘前を中心とした津軽の地理歴史」、「紅葉や温泉を中心とした津軽の自然」、「津軽の工芸」、「津軽の世界遺産」「津軽の雪事情」等に関連した話題について学び、これらの観光資源としての可能性の検討、これらを用いた地域プロモーションプランの作成を行います。具体的な授業プランは1回目の授業で説明します。 Learn about topics related to "Geography and history of Tsugaru centered on Hirosaki", "Nature of Tsugaru centered on autumn leaves and hot springs", "Crafts of Tsugaru", "World Heritage Sites in Tsugaru" and "Snow conditions in Tsugaru", etc, and explore those tourist resources. We will examine the possibilities as well as create a regional promotion plan using them. The specific lesson plan will be explained in the first class. ○2, 3回程度、フィールドトリップを実施する予定です。フィールドトリップは週末に行う可能性があります。 We plan to conduct field trips two or three times. Field trips may take place on weekends.
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	最終レポート50%, 授業参加 (課題の達成度等を含む) 50% Final written work 50%, Productive participation 50%

準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	<p>○資料がある場合は、事前によく読んでください。 Students are required to read carefully related resources.</p> <p>○扱うトピックに関連のあるフィールドワーク、インターンシップを経験している学生は、自分の経験、知識を言語化して、他の学生とシェアできるように準備をしてください。 Students who have experience in fieldwork or internships related to the topics covered should be prepared to verbalize their experiences and knowledge and share them with other students.</p>
教材・教科書 text	資料を配ります。Handouts will be provided.
参考文献 references	TBA
留意点・予備知識 remarks	<p>○授業は日本語、英語の両方を使って行います。主に使用する言語は、一回目の授業で決めます。 Classes will be conducted in both Japanese and English. The main language to be used in the classroom will be decided during the first meeting.</p> <p>○参加者の人数は20名程度までとします。 The number of participants is limited to around 20 people.</p> <p>○参加学生は、地域のフィールドトリップを含む授業やインターンシップ関連授業を履修済みもしくは平行して履修することを強くお勧めします。 It is strongly recommended that participating students have already completed or taken concurrently courses that include local field trips and/ or internship-related courses.</p>
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	<p>質問は、授業の前後かemailでしてください。 Please ask questions before or after class or by email if you have any.</p>
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	latte098@gmail.com
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義、グループディスカッション、プレゼンテーションによる授業です。 Lectures, group discussions, presentations
その他 other	

授業科目名 subject 〔英文名〕	自主研究 II A Seminar II A
副題 subtitle	
対象学生	授業担当教員が許可した学生または授業担当教員が管理するJASSOプログラムで奨学金を受けている学生
単位 credit	2
学期 semester	後期 Semester II
曜日 day 時限 period	個別相談 By appointment
授業形式 class format	ゼミ Seminar
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	諏訪淳一郎 SUWA Jun'ichiro (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	それぞれの学修計画で志向する専門知識を深化させる。 To deepen understanding of the study materials.
授業の概要 course description	与えられたテーマに関する文献購読、討論、論文の作成。テーマや教材は原則として学生が選ぶ。 Readings, discussions and/or essay writing about the course materials. The materials are chosen by the student.
授業の内容予定 schedule of the class	授業担当教員と学生で適切な内容について話し合いながら進めていく。 Based upon discussion between the student and instructor
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	成果物によって採点する。 Based on assignments.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	その都度指示を出す。 TBA
教材・教科書 text	未定 TBA
参考文献 references	未定 TBA
留意点・予備知識 remarks	JASSOプログラムで指定している場合は必ず履修すること。 Requirement for designated JASSO programs absolutely.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 9・10 時限目 Wednesday 9・10 period
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	日本語または英語 JP or EN (student's choice)
その他 other	JASSOプログラムが不採択であった場合は学修計画の提出により開講を判断する。 When there is no JASSO scholarship, individual students might be able to enroll upon submitting a study plan.

授業科目名 subject [英文名]	自主研究 IIB Seminar IIB
副題 subtitle	
対象学生	授業担当教員が許可した学生 Students who have the approval of the lecturer
単位 credit	2
学期 semester	後期・Semester II
曜日 day 時限 period	個別相談 By appointment
授業形式 class format	自主研究 Independent research
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ Hannah Joy Sawada (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	学生がこの授業において志向する専門知識を深めること。To deepen the understanding of the student in their chosen field of knowledge.
授業の概要 course description	選ばれたテーマに関する日本語または英語の文献購読と対論や英文課題作成。Readings, discussions in Japanese or English and/or written assignments in English.
授業の内容予定 schedule of the class	授業担当教員と学生で適切な内容について話し合いながら進める。Based on discussion between the student and instructor.
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	成果物に基づいて採点する。Based on assignments.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	その都度指示を出す。TBA
教材・教科書 text	未定 TBA
参考文献 references	未定 TBA
留意点・予備知識 remarks	指導の可能な分野は近代の日本文学、特に津軽地方の文学やその文化的背景、女性による文学と歴史的背景、戦後に書かれた戦争文学や絵本です。指導について許可を求める際は具体的な学習計画を持参してください。Supervision can be requested for independent research in regional studies or modern Japanese literature, particularly literature of the Tsugaru region and/or its cultural background, women's literature and its history, war literature written in post war Japan and picture books. Students are asked to bring a concrete study plan when they come to request supervision.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜12:40~14:10 予約要 Wednesday 12:40~14:10 by appointment
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Readings and discussions in Japanese and English, in accordance with students' needs. Written assignments to be submitted in English. 文献購読や対論は学生のニーズに合わせて日本語、あるいは英語で取り組みます。課題は英語で提出していただきます。
その他 other	

授業科目名 subject [英文名]	自主研究ⅡC Seminar ⅡC
副題 subtitle	ピアサポートで学ぶ研究の方法 Peer Support learning for Research skills
対象学生	研究したいテーマのある学生 (全レベル) The students with reserch topics (all levels of Japanese welcome)
単位 credit	2
学期 semester	前期 SemesterⅡ
曜日 day 時限 period	相談の上決めますdecide after meeting
授業形式 class format	演習
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	高橋千代枝 (国際連携本部)、片桐早苗、ヤグノ・ライク (教育推進機構) Chiyo, TAKAHASHI (D-IEC), Sanae Katagiri, Reik Jagno (Liberal Arts Ed. Center)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	<ul style="list-style-type: none"> ・アカデミックレベルで自ら関心のあるテーマについて「研究」をする方法がわかる ・世界に存在する課題について理解を深め、クリティカルシンキングの考え方を身につける ・文化背景が異なる人と協働するために必要な異文化理解能力や、自文化を客観的に見る力、世界を舞台に活躍するためのコミュニケーション能力等、多文化共生社会を構成する一員として必要とされる能力を身につける ・論理的・客観的な意見を構築し、自分の主張をわかりやすく世界に発信する方法を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> -To be able to carry out an academic "research" on topics of your interest. - To deepen your understanding of global issues and think critically. -To develop communication skills and gain perspectives necessary for cooperation in a multicultural society. -To be able to present logical and objective arguments.
授業の概要 course description	<p>各自のテーマについて、クラスメートとディスカッションしながら、アカデミックレベルの「研究」の方法について学びます。世界に存在する課題について批判的な視点からの分析・考察をし、自らの意見を客観的根拠を基に論理的に構築し、その主張をわかりやすく世界に発信する方法を学びます。</p> <p>Students will learn about academic research methods and discuss their own topics with classmates. Students will also learn to communicate their arguments clearly and concisely. The course will teach critical thinking skills, enabling students to analyse issues objectively and formulate logical opinions based on evidence.</p>
授業の内容予定 schedule of the class	<p>授業内で以下の内容をクラスメンバーとペア、またはグループで行う ①テーマ決め、②リサーチ、③ディスカッション、④主張をプレゼンテーションの形でまとめる、⑤発表、質疑応答 具体的な進度は相談の上決定する。学生だけで授業時間外に作業する場合もある。</p> <p>In pairs or groups, student will complete the following class activites. ① Choosing a topic, ② Conducting research, ③ Participating in a discussion, ④ Summarizing the argument in a presentation format, ⑤ Delivering a presentation and particilating in a Q&A session. The specific detail class content for this course will be determined accodring to the students needs in the orientation session. Students may work outside of class hours.</p>
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	<p>クラスメートとの協働作業への参加態度40%、最終発表60%</p> <p>Active participation in collaborative work with classmates 40%, Final presentation 60%</p>
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	<p>自分のテーマ、及びクラスメートのテーマに関する情報収集、最終発表に向けての準備</p> <p>Collect information about your topic and your classmates' topics, and prepare for the final presentation.</p>

教材・教科書 text	『留学生のための 考えを伝えあうプレゼンテーション』 仁科浩美 くろしお出版
参考文献 references	なし
留意点・予備知識 remarks	<p>N3以上の留学生は、最終発表を日本語で行うことが望ましい。難しい場合は、英語での発表を認める。教室内でディスカッションを行う場合は、日本語、もしくは英語を使用する。</p> <p>If you are N3 or above, it is highly recommended that you present in Japanese. English is also acceptable. The class discussion and communication between classmates will be either in Japanese or English.</p>
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。Make appointment by e-mail.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	演習、ピアラーニング、アクティブラーニング
その他 other	<p>※本授業に参加したい日本人学生を募集する予定です。日本人学生が参加するかどうかは未定です。*We are planning to recruit Japanese students volunteer who would like to participate in this class. It has not yet been decided whether Japanese students will participate.</p>

授業科目名 subject [英文名]	自主研究IID Seminar IID
副題 subtitle	
対象学生	授業担当教員が許可した留学生 International Students who have the approval of the lecturer
単位 credit	2
学期 semester	後期・Semester II
曜日 day 時限 period	月曜日 (Monday) 7・8(14:20～15:50)
授業形式 class format	自主研究 Independent research
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	澤田真一 Sawada Shinichi (人文社会科学部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	学生がこの授業において志向する専門知識を深めること。To deepen the understanding of the student in their chosen field of knowledge.
授業の概要 course description	選ばれたテーマに関する日本語または英語の文献購読、対論や課題作成。日本人学生とゼミに参加し、そこで研究成果を発表する。 Readings, discussions and/or written assignments in Japanese or English Participation in seminar meetings held with Japanese students, and presentations of findings there.
授業の内容予定 schedule of the class	授業担当教員と学生で適切な内容について話し合いながら進める。Based on discussion between the student and instructor.
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	成果物に基づいて採点する。Based on assignments and presentations
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	その都度指示を出す。TBA
教材・教科書 text	未定 TBA
参考文献 references	未定 TBA
留意点・予備知識 remarks	指導の可能な分野は多文化共生、ケア、ジェンダー、セクシュアリティ、障害。指導について許可を求める際は具体的な研究計画を持参してください。Supervision can be requested for independent research in multi-cultural interdependence, care, gender, sexuality, or disability. Students are asked to bring a concrete study plan when they come to request supervision.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	By appointment
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	ssawada@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Readings and discussions are conducted primarily in Japanese and where necessary, in English. Written assignments are to be submitted in either Japanese or English. 文献購読や対論は主に日本語、そして必要に応じて英語で取り組みます。課題は日本語か英語で提出していただきます。
その他 other	人数に制限があります。中級以上の日本語能力が必要となります。履修が認められた学生はゼミへの出席と研究への熱心な取り組みが求められます。There is a limit to the number of applicants who can be approved. Applicants should have intermediate level Japanese proficiency or above. Approved applicants are required to be consistent in their attendance and dedicated to their studies.

授業科目名 subject [英文名]	国際共修ゼミナール Introductory fieldwork on livelihoods in Aomori
副題 subtitle	
対象学生	Foreign students (will work with six undergraduate students belonging to Division of International Agriculture and Horticulture, Faculty of Agriculture and Life Sciences) 留学生 (6名限定) ※国際園芸農学科3年生 (6名) と合同
単位 credit	2 credits
学期 semester	後期/second semester
曜日 day 時限 period	Wednesday 3 and 4 毎週水曜日3-4コマ (12:40~14:10、14:20~15:50)
授業形式 class format	Group and team discussion, fieldwork ゼミ形式、フィールドワーク
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	佐藤孝宏、石本雄大 (農学生命科学部) SATO TAKAHIRO, ISHIMOTO YUDAI (Faculty of Agriculture and Life Science)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	<ol style="list-style-type: none"> 1. To learn the methodology of research and analysis based on the fieldwork. 2. To understand the reality of the regional society based on the fieldwork and literature review. 3. To understand the regional problem internationally and interdisciplinary, through the collaborative work with Japanese students <ol style="list-style-type: none"> 1. フィールドワーク (現地調査) をベースとした調査・分析方法を習得する。 2. フィールドワーク・文献調査を通し、地域社会の実状を多様な側面から理解する。 3. 日本人学生と留学生の共修を通じ、地域課題を国際的・学際的な視点とらえることができるようになる。
授業の概要 course description	<ul style="list-style-type: none"> ・With the cooperation of the Nishimeya Village Office in Nakatsugaru-gun, you will conduct fieldwork on a specific theme in the village, compile the results of the research with literature information, and present your findings to local government officials and media representatives. ・The research will be conducted in groups of two Japanese students and two international students, and the research will be carried out jointly. You will also work together to prepare for presentations and present the results of your research. ・Japanese students have been collecting and analyzing information on Nishimeya Village since the spring semester to get an overall overview and to set up a general theme. <p>The international students will listen to the English explanations of the Japanese students and decide with which Japanese student they will collaborate in their research activities.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・In order to discuss the selected theme from an international perspective with Japanese students and other international students, international students are required to explain the situation in your home countries with regard to the selected theme in Japanese so that you can understand the situation in various regions. <ul style="list-style-type: none"> ・中津軽郡西目屋村役場の協力の下、同村の特定のテーマに関してフィールドワークを行い、文献情報も合わせた調査結果をまとめ、自治体関係者・メディア関係者にその成果を発表する。 ・日本人学生2名と留学生2名でグループを作り、共同で調査研究を進める。発表準備や調査結果の発表なども共同で進める。 ・日本人学生は前期から西目屋村に関する情報収集と分析を行い、全体の概要把握とともに大まかなテーマ設定を行っている。 <p>留学生は日本人学生の英語説明を聞いたうえで、どの日本人学生と共同で研究活動を行うか決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択したテーマに関して日本人学生や他の留学生と国際的な視点で議論を行うために、様々な地域の状況を把握できるよう留学生は選択したテーマに関して自身の出身地の状況を日本語で説明する。

授業の内容予定 schedule of the class	<p>Week 1: Based on the introduction of Nishimeya Village by Japanese students, international students will decide which students will form groups.</p> <p>Week 2: The groups will set up survey items and discuss the survey policy.</p> <p>Weeks 3-6: Two groups that have set similar survey items will form a group and jointly conduct the following practical training.</p> <p>①Preparation for fieldwork, ②Fieldwork, ③Presentation of survey results, ④Comments on presentations by other groups</p> <p>Weeks 7-9: Two international students from each of the three groups will explain the status of the survey items in their home countries, discuss as a whole, and prepare for the second fieldwork session based on the discussions.</p> <p>Weeks 10-13: Two groups with similar survey items will form a team and jointly conduct the following practical training.</p> <p>①Preparation for fieldwork, ②Fieldwork, ③Presentation of survey results, ④Comments on presentations by other groups</p> <p>Week 14: Preparation for the presentation scheduled for Week 15.</p> <p>Week 15: Presentation for local government and media representatives.</p> <p>1週目：日本人学生による西目屋村の紹介を踏まえ、留学生がグループを作る学生を決定する。</p> <p>2週目：グループで調査内容を設定するとともに、調査方針について打ち合わせを行う。</p> <p>3～6週目：類似した調査項目を設定している2つのグループが班を構成し、合同で以下の実習を行う。</p> <p>①フィールドワークの準備、②現地フィールドワーク、③調査結果の発表、④他の班の発表に対するコメント</p> <p>7～9週目：3つの班の留学生2名が出身地における調査項目の状況について説明し、全体で議論を行うとともに、議論内容を踏まえて第2回目のフィールドワークの準備を行う。</p> <p>10～13週目：類似した調査項目を設定している2つのグループが班を構成し、合同で以下の実習を行う。</p> <p>①フィールドワークの準備、②現地フィールドワーク、③調査結果の発表、④他の班の発表に対するコメント</p> <p>14週目：15週目に予定している発表会の準備を行う。</p> <p>15週目：自治体・メディア関係者向け発表会を実施する。</p>
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	<p>Evaluations will be based 100% on students' final presentation.</p> <p>評価は100% 最終発表会の結果に基づいて行われます</p>
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	<p>Preparation 1: students will be expected to collect appropriate information before conducting fieldwork.</p> <p>Preparation 2: group work will be required to prepare for the final presentation.</p> <p>Review: they will be required to summarize short report to be shared with group member after fieldwork.</p> <p>予習:①フィールドワークを行う前は、自身が設定したテーマに関する各種文献を収集してその内容を理解します。</p> <p>②最終発表会前には、グループで協力して発表資料を作成します。</p> <p>復習:フィールドワークを行った後、聞き取り内容を整理してレポートを作成します。</p>
教材・教科書 text	N/A 特になし
参考文献 references	N/A 特になし
留意点・予備知識 remarks	<p>Class capacity: Six students from different continent (Asia, Europe, Africa, Oceania, North & South America) are expected to enhance worldwide discussion. However, this shall not be applied in case a number of applicants are small.</p> <p>定員:6名 国際的な視点から議論を行うために、異なる地域（アジア、ヨーロッパ、アフリカ、オセアニア、南北アメリカ）の出身者の履修が望ましいが、希望者の少ない場合はその限りではない。</p>
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	<p>Office hour: Wednesday 11:50-12:40 by appointment</p> <p>オフィス・アワー: 水曜日 11:50-12:40 予約要</p>

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	Takahiro Sato (佐藤孝宏) : t.sato@hirosaki-u.ac.jp Yudai Ishimoto (石本雄大) : yishimoto0308@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course will be taught in Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability to communicate with each other during class discussions. 指導は日本語と英語で行われます。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。
その他 other	

授業科目名 subject [英文名]	地球温暖化と防災 Global warming and disaster prevention
副題 subtitle	アジアと東北の極端降水 Extreme precipitation in Asia and Tohoku region
対象学生	Undergraduate
単位 credit	2 credits
学期 semester	後期 (second semester)
曜日 day 時限 period	火曜5コマ(9,10時限) (Tuesday 9,10)
授業形式 class format	Lecture 講義
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	谷田貝 亜紀代 (理工学研究科) Akiyo YATAGAI (Science and Technology)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	環境問題の解決とエネルギーの確保について、自然科学と社会科学の両面にわたって学ぶことにより、地球規模の環境・気候問題についてグローバルな観点から理解を深め、考察すること To deepen understanding and consider global environmental and climate issues from a global perspective by studying both the natural and social sciences in relation to solving environmental problems and securing energy.
授業の概要 course description	顕在化する地球温暖化により、誰もが実感するように降雪日数や積雪に覆われる期間は減少しています。湿潤アジア地域では豪雨が頻発すると予測されており、中近東などの乾燥・半乾燥地域はより乾燥するとも予測されています。しかし、気候システムに内在するエル・ニーニョ現象などの大規模循環はどう変わるのか、台風は、より日本に、弘前に来るようになるのか？などは確かな予報が難しいのが現状です。 そこで本講義では、気象学の基礎を踏まえ、全球的な地球温暖化の概要の説明と、地域の環境変化について両面からアプローチします。防災気象や雪氷防災について、教養教育の同名授業ではゲストスピーカーの方にお話をいただいております。本授業ではそれを踏まえて、大雨の予報や避難、大雪や雪崩災害について実際の講義を行う予定です。 The number of days of snowfall and the duration of snow cover is decreasing, as we all realise, due to the emerging global warming. Asian wet regions are predicted to experience more frequent heavy rainfall, while arid and semi-arid regions such as the Middle East are predicted to become drier. However, how will large-scale cycles such as the El Niño phenomenon inherent in the climate system change, and will typhoons come more frequently to Japan and Hirosaki? etc. are difficult to forecast with certainty. Therefore, in this lecture, based on the basics of meteorology, we will approach the subject from both sides: an overview of global warming and changes in the local environment. This class will also give practical lectures based on the lecture notes by operational scientists.

授業の内容予定 schedule of the class	第1回 Introduction・地球温暖化とは: Introduction, what is global warming? 第2回 気象学の基礎 (熱力学的見方): Basic meteorology (thermodynamics) 第3回 気象学の基礎 (高層大気): Basic meteorology (upper atmosphere) 第4回 数値天気予報: Numerical weather prediction 第5回 気象庁から出される防災情報: Information and alerts of meteorological disasters 第6回 気象庁から出される防災情報: Information and alerts issued by JMA 第7回 気象庁による温暖化情報: Fact of global warming issued by JMA 第8回 これまでのまとめ、小テスト: Summary and interim test 第9回 雪氷圏の変動と防災: 大雪: Variation and disaster prevention over Cryosphere: Heavy snowfall 第10回 雪氷圏の防災: 雪崩: Variation and disaster prevention over Cryosphere: Snow avalanche 第11回 地球温暖化により予測される環境変化 (AR6から): Environmental changes by global warming (from IPCC AR6 reports) 第12回 アジア降水極端現象: Extreme precipitation over Asia 第13回 メソ対流システム・線状降水帯: Meso-scale convection system 第14回 北東北の水循環と夏の災害: Hydrological circulation over northern Tohoku and precipitation disasters in summertime 第15回 北東北の水循環と冬の災害: Hydrological circulation over northern Tohoku and precipitation disasters in wintertime 第16回 期末テスト: Term-end examination
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	2回のテストの平均により決めます. Based on the interim and final tests
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	・各回のキーワードについてWeb検索や関連書籍で調べておきましょう。 ・高校数学、物理を履修していない場合、気象学の基礎 (第2、3回) は、復習することが望まれます。 ・Research the key words in each session using web searches and related books. If you have not taken high school mathematics or physics, it is advisable to review the basics of meteorology (2nd and 3rd sessions).
教材・教科書 text	特に指定しません。:N/A
参考文献 references	特に指定しません。ほとんどがWeb上にある情報です。:N/A, most of staffs are available on line.
留意点・予備知識 remarks	特にありません。:N/A
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	谷田貝のオフィスアワーの時間 (後期は火曜14:20-15:50) にいらしてください。(理工1号館511室) 前後に授業があるので、アポイントメントをとってからが望ましいです。 Come to Yatagai's lab. (1st Bldg. of Science and Technology) during office hour (Tuesday 14:20-15:50), after getting appointment is preferable.
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	yatagai[at]hirosaki-u.ac.jp http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/~yatagai/
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義形式: Lectures
その他 other	

授業科目名 subject [英文名]	日本の歌と文化 Japanese Songs and Culture
副題 subtitle	歌って、遊んで、考える Singing, Playing and Thinking
対象学生	留学生
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	後期 (II Semester)
曜日 day 時限 period	水曜日 (Wednesday) 7・8時限 (14:20~15:50)
授業形式 class format	演習 (Activities)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小田 直弥 (教育学部) ODA, Naoya (Faculty of Education)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○日本の言語や文化の理解を、歌うことや遊ぶこと、また箏を演奏する活動を通して深める。 Understanding of Japanese language and culture through singing, playing, and <i>koto</i> playing activities.
授業の概要 course description	現在、日本の歌はJ-POPやアニメソング等を通して、広く世界に知られ、愛されている。一方で、それは日本の歌文化の一部である。本授業では、日本人ならば誰もが知っている「歌い継がれる歌」や「遊び歌」、「地方の歌」を取り上げ、また箏 (Koto) という日本の伝統楽器を演奏する活動を通して、日本語や日本の文化のより深い理解を目指す。 Today, Japanese songs are widely known and loved around the world through J-POP and anime songs. On the other hand, it is only a part of Japanese song culture. This class aims for a deeper understanding of the Japanese language and culture through activities involving traditional songs known to all Japanese people and playing the <i>koto</i> , a traditional Japanese musical instrument.
授業の内容予定 schedule of the class	第1回：イントロダクション、自己紹介 Introduction 第2回：遊び歌：あんたがたどこさ ※ボールを使用します もしもしかめよ ※けん玉を使用します Singing and Playing: Antagata Dokosa (Where are you from?), Usagi to Kame (The Rabbit and the Turtle) 第3回：遊び歌：こんぴらふねふね Singing and Playing: Konpira fune fune 第4回：歌い継がれる歌：赤とんぼ、ふるさと Singing: Akatombo (Dragonflies), Furusato 第5回：地方の歌：会津磐梯山 (福島) ※身体を動かします Singing and Dancing: Aizu Bandaisan (Fukushima region) 第6回：地方の歌：五木の子守唄 (熊本) Singing: Itsuki no komoriuta (Kumamoto region) 第7回：地方の歌：ていんさぐぬ花 (沖縄) Singing: Tinsagu nu Hana (Okinawa region) 第8回：世界の歌：あなたの出身地域の歌を紹介しよう ※発表をしてもらいます Presentation: Introduce a song from your area of origin 第9回～第15回：箏 (Koto) を学ぶ Playing: Learn to play the koto ※集中講義として実施します。予定している時期は12月のいずれかの土日です。 The course will be conducted as an intensive course. The schedule is one of the Saturdays and Sundays in December. レポート課題：授業で扱った日本の歌や文化とあなたの出身地域の歌や文化の比較を通して、双方の歌や文化に関する「違い」と「共通点」を整理してまとめてください。またその整理から、あなたが日本について考えたことを書いてください。レポート課題は英語でも日本語でも、どちらでも構いません。 Report Assignment: Through a comparison of Japanese songs and culture covered in the class and those of your home region, organize and summarize the "differences" and "similarities" between the songs and cultures of the two countries. Also, write what you think about Japan based on the comparison. The report assignment can be written in either English or Japanese.

成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	授業態度 (Participation) 10% 提出物 (Reflection paper) 30% レポート (Report Assignment) 60%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	授業内で指示します It will be given in class.
教材・教科書 text	特に無し Nothing
参考文献 references	特に無し Nothing
留意点・予備知識 remarks	授業で扱う歌には、古い日本語や方言が含まれることから、授業内容を十分に理解するためにはN3以上の日本語能力が望ましい。 Because the songs covered in class include old Japanese and dialects, N3 or higher Japanese proficiency is desirable to fully understand the class content.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールもしくはTeamsで連絡してください。 Please contact me by email or Teams.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	n.oda7@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業 In person classes
その他 other	定員：8名定員を超えた場合は抽選を行います。 授業中、ボールやけん玉、箏を使いますが、受講者は持参する必要はありません。 第9回～第15回における集中講義の講師は、箏の奏者です。 Capacity: 8 people If the number of participants exceeds the limit, a drawing will be held. Balls, kendama, and <i>koto</i> will be used during the class, but students do not need to bring their own. The lecturers for the intensive lectures in the 9th through 15th sessions will be <i>koto</i> players.

